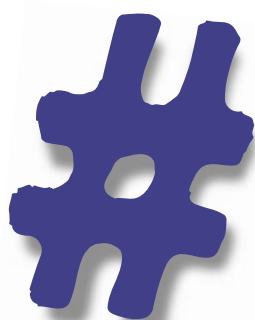


中上級ユーザーのための、パソコン百科

コンピュータ



PC98-NX SERIES

VALUE STAR NX

マニュアルを

読む順序

1

まずこれ!



2

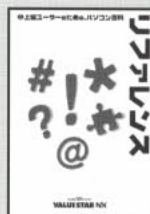
次にこれ!



各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

3

目的に合ったマニュアルを選んで読む



パソコンの画面で見る
マニュアル「パソコン
探検箱」にもアプリ
ケーションの説明、マ
ニュアルの紹介などの
便利な情報が
あります。



添付の「安全にお使いいただくために」は
常に手元に置き、各マニュアルと合わせて
必ずお読みください。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1 接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2 入門
キーボードで文字を打ってみたい	STEP 2 入門
ワープロを使いたい	STEP 2 入門
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	STEP 2 入門、パソコン探検箱
インターネットを利用したい	インターネット入門
インターネットに便利なソフトを使いたい	リファレンス、インターネット入門
FAX を送受信したい	パソコン探検箱
年賀状を作りたい	パソコン探検箱
プリンタをつなぎたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 98 について知りたい	STEP 3 活用
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A
パソコン用語の意味を知りたい	困ったときの Q&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときの Q&A
再セットアップしたい	困ったときの Q&A



はじめに

この本は、『STEP 1 接続と準備』、『STEP 2 入門』、『STEP 3 活用』を読み終えた方を対象にしています。

この本には、あなたのパソコンの設定を変更したり、内蔵されたアプリケーションの使い方を調べたりするときに役に立つ情報が満載されています。

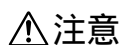
はじめてパソコンを使う方にとっては、他の本に比べると少し難しい所もあるかもしれませんが、この本があなたのパソコンのすべてを知るための道案内をしてくれます。この本を利用して思う存分にパソコンを使いこなしてください。

1998 年 11 月 初版

1998 年 11 月 2 版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

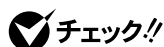


注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています
表をご覧ください、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

本機	表の各モデル(機種)を指します。
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ディスプレイなし モデル	ディスプレイが別売となっているモデルです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎9、花子9、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC40D/5GC1	PC-VC40D5GC1	コンパクトタイプ	CD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VC40D/5GD1	PC-VC40D5GD1				Wordモデル
VC35D/5YC1	PC-VC35D5YC1			液晶ディスプレイセットモデル (14インチ液晶)	一太郎モデル
VC35D/5YD1	PC-VC35D5YD1				Wordモデル
VC35D/5YC2	PC-VC35D5YC2				一太郎モデル
VC35D/5YD2	PC-VC35D5YD2				Wordモデル
VC33H/5XC1	PC-VC33H5XC1				一太郎モデル
VC33H/5XD1	PC-VC33H5XD1				Wordモデル
VC33H/5XC2	PC-VC33H5XC2				一太郎モデル
VC33H/5XD2	PC-VC33H5XD2				Wordモデル
VC30H/5XC1	PC-VC30H5XC1				一太郎モデル
VC30H/5XD1	PC-VC30H5XD1				Wordモデル
VC30H/5XC2	PC-VC30H5XC2				一太郎モデル
VC30H/5XD2	PC-VC30H5XD2				Wordモデル

型 名	型 番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VE40D/57C	PC-VE40D57C	コンパクトタイプ	CD-ROMモデル	CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VE40D/57D	PC-VE40D57D				Wordモデル
VE35D/57C	PC-VE35D57C				一太郎モデル
VE35D/57D	PC-VE35D57D				Wordモデル
VE30H/57C	PC-VE30H57C				一太郎モデル
VE30H/57D	PC-VE30H57D				Wordモデル
VE30H/55C	PC-VE30H55C			CRTディスプレイセットモデル (15インチCRT)	一太郎モデル
VE30H/55D	PC-VE30H55D				Wordモデル
VM45D/5GC	PC-VM45D5GC	ミニタワータイプ	DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VM45D/5GD	PC-VM45D5GD				Wordモデル
VM45D/5ZC	PC-VM45D5ZC			ディスプレイなしモデル	一太郎モデル
VM45D/5ZD	PC-VM45D5ZD				Wordモデル
VM40D/57C	PC-VM40D57C			CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VM40D/57D	PC-VM40D57D				Wordモデル

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
一太郎	一太郎9
一太郎9バック	一太郎9バック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2U with ATOK12)
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

■ 技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

・コンパクトタイプの場合

認定機器名：SF-BUQ-ST

認定番号

電話回線：S98-2422-0

導入にあたっては、「MDMNBUEQ.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。

使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

・モニタータイプの場合

認定機器名：SF-BEBB-ST

認定番号

電話回線：S98-2344-0

導入にあたっては、「MDMNBEBB.INF」または「MDMBEBBT.INF」のファイルを含む専用ドライバを必ず使用してください。

使用されない場合は、この技術基準を遵守できない場合がありますので、十分にご注意ください。

■ 高調波電流規制について

この装置の本体およびCRTディスプレイは、高調波ガイドライン適合品です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Active Movie、NetMeeting、Encarta、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Celeronは、Intel Corporationの商標です。

「一太郎」「花子」「FullBand」「ATOK」「JustNet」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9バック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9バック」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

パソコン大学は、テラ・コーポレーションの登録商標です。

NIFTY MANAGER、NIFTY SERVE、ニフティサーブは、ニフティ(株)の登録商標です。

「ANGEL LINE」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

Hatchは、ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社の登録商標です。

Hatch insideは、ディ・アンド・アイ・システムズ株式会社の商標です。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

SEGA、SEGAPC、バーチャファイター2、VIRTUA FIGHTER2は、(株)セガ・エンタープライゼスの商標です。

インターネットカラオケキングは、(株)ミュージックネットワークの登録商標です。

"GLOBAL HEXCITE" is a trademark of GAJIN and SHIPS Inc.

Solitaire Deluxeは、Interplay Productionsの商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

RIVA128は、STMicroelectronics, Inc.の登録商標です。

YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

RAGE IICは、ATI Technologies Inc.の商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとRockwell Internationalの商標です。

パソコン探検箱、BIGLOBEインターネット無料体験、BIGLOBEインターネット接続ツール、BIGLOBEサインアップナビ、BIGLOBEかんたん設定ナビは、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。



PART

1

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

パソコンを守るアプリケーション 1

パソコンを守るアプリケーション 2

本機のシステムを守る	2
Windows 98 の利用環境を変更する (CyberTrio-NX)	2
Windows 98 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX)	2
ウイルスを検査、駆除する (VirusScan)	3
Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX	4
モードの種類	4
モードの変更	4
ベーシックモード	5
キッズモード	6
Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX	9
起動と終了	9
警告メッセージ	9
バックアップファイル	10
ウイルスの検査と駆除 VirusScan	12
概要	12
常に検査する (VShield)	12
スクリーンセーバ実行中に検査する (ScreenScan)	13
定期的に検査する (VirusScan コンソール)	13
すぐに検査する (VirusScan)	14
ウイルスを駆除する	14

PART

2

インターネット&パソコン通信 15

ホームページを探す ジェットサーファ 16

概要	16
使用する前に	17
ホームページを分析して結果を表示する	18
文字列を検索したページをブラウザに表示する	20
分析したページからファイルをダウンロードする	21

オートパイロットと料金管理 インターネットアクセスマネージャ ...	23
概要	23
利用環境を設定する	24
オートパイロット機能	27
オフラインホームページシアター	32
リアルタイム料金計算	33
接続時間・料金管理	34
複数人で利用する	34
ホームページの URL を簡単に入力する Hatch inside	35
概要	35
使用する前に	35
URL を数字で入力する	35
インターネット番号を調べる	36
短縮記号を登録する	36
短縮記号を変更する	37
短縮記号を削除する	37
サブメニューについて	37
ホームページの整理 ホームページスクラップブック	39
概要	39
使用する前に	40
ホームページを切り取って保存する	40
スクラップページを最新情報に更新する	42
ホームページを作成する FrontPage Express	43
概要	43
ホームページの作成	43
リンクを張る	46
ホームページを公開する	49
さまざまな通信サービス	51
概要	51
AOL を利用する	51
NIFTY SERVE を利用する	51
ダイヤルアップネットワーク	53
既存のダイヤルアップネットワークの確認	53
新しいダイヤルアップネットワークの作成	54

PART

3

テレフォニー	57
--------------	----

所在地情報の設定	57
----------------	----

アプリケーションの追加と削除 59

セットアップされていないアプリケーションの追加	60
-------------------------------	----

セットアップが必要なアプリケーションや機能	60
-----------------------------	----

セットアップする前に	60
------------------	----

セットアップする	61
----------------	----

Excel&Word&Outlook の機能をフルに使う (Word モデルのみ)	65
--	----

一太郎 9 バックの機能をフルに使う(一太郎モデルのみ)	66
------------------------------------	----

アプリケーションの削除	67
-------------------	----

概要	67
----------	----

「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する	69
--------------------------------	----

CD-ROM を使って削除する	83
-----------------------	----

アンインストール機能を使って削除する	85
--------------------------	----

削除したアプリケーションの再追加	87
------------------------	----

概要	87
----------	----

アプリケーション CD-ROM を使って追加する	87
--------------------------------	----

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する	98
---------------------------------	----

一太郎バックアップ CD-ROM を使って追加する (一太郎モデルのみ)	99
---	----

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM を 使って追加する(Word モデルのみ)	100
---	-----

Microsoft Encarta 98 マルチメディア百科事典 DVD-ROM を使って追加する(DVD-ROM モデルのみ)	102
---	-----

PART

4

ハードウェア 103

マウス	104
-----------	-----

スクロールボタンを使う	104
-------------------	-----

「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定	105
----------------------------	-----

キーボード	107
-------------	-----

キーの役割	107
-------------	-----

キーの名称	107
「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定	109
PC-9800 シリーズのキーボードとのキーの違い	111
ハードディスク	112
概要	112
スキャンディスク	112
デフラグ	114
その他のツール	114
フロッピーディスク	117
使用できるフロッピーディスクの種類	117
フロッピーディスクのバックアップ	117
Windows 起動ディスク	118
ディスプレイ	121
概要	121
別売のディスプレイを使う場合	122
解像度と表示色の変更	123
ディスプレイの省電力機能について	124
ディスプレイに合わせて設定する	125
液晶ディスプレイの画面調整 (液晶ディスプレイセットモデルのみ)	127
省電力機能(スタンバイ)	128
概要	128
スタンバイ状態にする	128
スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する	130
電源の管理のプロパティで設定する	130
スタンバイ状態にするときの注意	132
サウンド機能	134
概要	134
スピーカ	134
ボリュームコントロール	135
ヤマハ DS-XG 設定	137
サウンド全般についての注意	137

PART

5

FAX モデムボード	139
概要	139
FAX モデムボードを使用するときの注意	140
シリアルコネクタ	142
概要	142
シリアルコネクタの名称の違い	142
シリアルコネクタ(チャンネル2)を使用する (ミニタワータイプの場合)	142
デバイスマネージャ	144
起動	144
デバイスドライバの変更	144
デバイスのリソース設定の変更	146
PCI が使用する割り込みを変更する	147
CD-ROM などの取り扱い	148
概要	148
非常時のメディアの出し方	149
エラーメッセージについて	150
本機の設定を変更する	151
BIOS セットアップメニュー	152
BIOS セットアップメニューを使ってできること	152
BIOS セットアップメニューを使う	152
パスワードの設定と入力	158
パスワードの解除	159
割り込みレベルと DMA チャンネル	162
概要	162
リソースの競合	163
本機を拡張するときの注意	164
電源管理モードについて	165
ACPI モードと APM モード	165
モードの切り替え	166
APM モードでタイマー機能を利用する場合の注意	168
その他の注意	168

付 録 169

Windows 98 で MS-DOS モードを利用する 170

MS-DOS モードを利用する 170

CD-ROM ドライバ(本機内蔵 CD-ROM ドライブ)..... 170

Windows NT 4.0 の利用 172

Windows NT 4.0 をセットアップする前に 172

Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード 172

本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意 177

本体の各部の名称(コンパクトタイプ)..... 178

本体の各部の名称(ミニタワータイプ)..... 182

機能仕様 187

FAX モデムボード機能仕様(コンパクトタイプの場合)..... 193

FAX モデムボード機能仕様(ミニタワータイプの場合)..... 195

AT コマンド(コンパクトタイプの場合) 197

コマンドの構成 197

コマンド一覧 197

AT コマンド(ミニタワータイプの場合) 206

コマンドの構成 206

コマンド一覧 206

索 引 213

画面で見るマニュアル「パソコン探検箱」では、このマニュアルで説明しているアプリケーションのほかにも多くのアプリケーションの説明をしています。合わせてご覧ください。



「パソコン探検箱」の「VALUESTARを楽しもう」

はじめての人でもパソコンを楽しく使えるように、わかりやすく丁寧に説明しています。

- ・PictureStudio Light
- ・駅すばあと
- ・筆ぐるめ
- ・てきばき家計簿マム
- ・FAX-NX



「パソコン探検箱」の「使いこなそうVALUESTAR」

本機に添付/インストールされているアプリケーションについて紹介しています。次のアプリケーションについては簡単な使い方の説明などもしています。

- ・Microsoft Word
- ・一太郎9
- ・Bookshelf Basic
- ・JUSTSYSTEM電子辞書ライブラリ
- ・Microsoft Excel
- ・三四郎8
- ・バーチャファイター2
- ・AI将棋
- ・ソリティアデラックス
- ・グローカル ヘキサイト
- ・競馬道3
- ・カラオケキング
- ・プレーヤ-NX
- ・MapPlayer-NX
- ・DVDプレーヤ
- ・大自然の驚異～南米・パタゴニア～
- ・宇宙戦艦ヤマト
- ・Encarta 98(DVD版)
- ・アルバム工房Light
- ・花子9
- ・ThumbsStudio
- ・Angel Line
- ・CyberCoach-NX
- ・パソコン大学一年生
- ・MAGIC FLIGHT
- ・ランチ -NX
- ・Timer-NX
- ・CD ランチ
- ・英語モードフォント
- ・デジタルブックビューワ
- ・テキストリーダー

P A R T

1

パソコンを守るアプリケーション

-
- **パソコンを守るアプリケーション**
 - **Windows 98 の利用環境の変更** CyberTrio-NX
 - **Windows 98 の動作の監視** CyberWarner-NX
 - **ウイルスの検査と駆除** VirusScan

パソコンを守る アプリケーション

本機のシステムを、コンピュータウイルスや、誤操作による設定の変更から守るためのアプリケーションについて説明します。

本機のシステムを守る

本機には、Windows 98 の利用環境を変更することにより、システムに影響を与えないようにする機能や、万一コンピュータウイルスに感染した場合でも、ウイルスを発見し、駆除する機能があります。

ただし、購入時には常に使えるようには設定されていない機能もあります。利用状況に合わせて設定してください。なお、設定すると、システムに常駐して、ファイルを監視し続けたりするため、アプリケーションの動作が多少遅く感じることがあります。

Windows 98 の利用環境を変更する (CyberTrio-NX)

「CyberTrio-NX」は、Windows 98 の利用環境を、利用者のレベルに合わせて「ベーシックモード」「キッズモード」「アドバンストモード」の3つのモードを切り替えることができます。

購入時は、「ベーシックモード」に設定されています(タスクバー右隅のアイコンが黄色になっています)。 「ベーシックモード」はシステムに影響を与える機能を制限して、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。通常は、このモードで本機をお使いください。他のモードに変更することもできます。

 参照

・他のモードへの変更方法 → PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

ほかに、次のモードがあります。

キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。例えば、子どもが操作してもよいアプリケーションを限定できます。また、子どもが「キッズモード」を簡単にほかのモードへ変更できないような設定にすることもできます。保護者の方が、子ども用に使用するアプリケーションを「キッズモードのデスクトップ」に登録してあげてください。

 参照

・キッズモードでの設定 → PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

アドバンストモード

Windows 98 へのフルアクセスが可能です。利用環境を限定しません。システムの設定が必要な場合は、「アドバンストモード」に切り替えてから設定を行ってください。

 参照

・「CyberTrio-NX」の使い方 → PART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

Windows 98 の動作環境を監視する (CyberWarner-NX)

「CyberWarner-NX」は、Windows 98 の動作に影響を与えるファイルを監視して、操作中にそれらのファイルを削除、または変更しようすると、警告を発します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

システムの変更を行うときや、アプリケーションの追加や削除、ファイルの削除、変更をするときに起動して使用してください。誤って操作することを防ぐことができます。

 チェック!!

購入時には起動されていません。起動してから使用してください。

 参照

・「CyberWarner-NX」の起動方法 → PART1「Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX」

ウイルスを検査、駆除する (VirusScan)

「VirusScan」は、ディスクのシステム、データ領域、メモリをチェックしてコンピュータウイルス(以降、ウイルス)に感染していないかを調べたり、万一、感染していた場合でも、ウイルスを駆除して、プログラムやシステム領域が元の状態になるまで修復することができます。

チェック!

購入時は起動されていません。起動してから使用してください。

参照

- ・「VirusScan」の起動方法、設定方法→PART1「ウイルスの検査と駆除 VirusScan」

Windows 98 の利用環境の 変更 CyberTrio-NX

このアプリケーションでは、Windows 98 を利用するレベルに合わせたモードの変更ができます。

モードの種類

「CyberTrio-NX」では、次の3種類のレベルのモードから選ぶことができます。

ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぎます。

キッズモード

「マイプログラム」または「キッズモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみが使用できます。

アドバンスモード

Windows 98へのフルアクセスが可能です。

✓チェック!!

購入時は「ベーシックモード」に設定されています。デバイスマネージャで周辺機器の設定をしたり、プリンタの削除をしたり、システムの設定が必要になったときは、「アドバンスモード」に切り替えてください。

モードの変更

Windows 98 の利用するレベルは、購入時は「ベーシックモード」に設定されていますが、自由に変更できます。モードに合わせて、タスクバーに表示されている「CyberTrio-NX」のインジケータの色がモードに応じて次のように変わります。

- 「キッズモード」 : 緑色
- 「ベーシックモード」 : 黄色
- 「アドバンスモード」 : 赤色

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモード変更を行う前に、ほかの起動中のアプリケーションを必ず終了させてください。また、編集中の必要なデータなどは保存してください。

ベーシックモードからアドバンスモードへの変更

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To アドバンスモード」をクリック。
「アドバンスモード」へ変更されます。

✓チェック!!

・「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX (利用者モード)」→「CyberTrio-NX (利用者モード変更メニュー)」→「アドバンスモード」をクリック。

ベーシックモード(またはアドバンスモード)からキッズモードへの変更

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To キッズモード」をクリック。
「キッズモード」へ変更されます。

✓チェック!!

・「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX (利用者モード)」→「CyberTrio-NX (利用者モード変更メニュー)」→「キッズモード」



キッズモードからほかのモードへの変更

「スタート」→「プログラム」→「Go To ベーシックモード」または「Go To アドバンスモード」をクリック。

「ベーシックモード」または「アドバンスモード」へ変更されます。

起動時のモードの設定

本機の電源を入れたときに起動するモードを設定できます。購入時は「前回終了した時のモード」が設定されています。

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。
次のメニューが表示されます。



「前回終了した時のモード」では、前回に本機の電源を切ったときに使われていたモードで起動します。

「起動時にモードを選択」を選ぶと、本機の電源を入れて起動したときに、「CyberTrio-NX」メニューが表示され、モードを選ぶことができます。

モードの変更時の注意

Windows 98で「ユーザー別の設定」を行っている場合、「CyberTrio-NX」のモードを変更することはできません。「CyberTrio-NX」のモードを変更場合は、次の手順で「ユーザー別の設定」を解除してください。

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が表示されます。

「パスワード」をダブルクリック。
「パスワードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「ユーザー別の設定」タブをクリック。
「ユーザー別の設定」タブのウィンドウが表示されます。

「このコンピュータでは、すべてのユーザーが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」をクリック。

「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
「ユーザー別の設定」が解除できました。

ベーシックモード

「ベーシックモード」では、「アドバンスモード」に比べて、ユーザーがシステム環境を誤って変更しないように、システムへ影響を与える動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぐことを目的としています。通常は、このモードを使うことをおすすめします。

ベーシックモードでの制約

「ベーシックモード」では次の点で制約があります。これらの機能を使う場合は、「アドバンスモード」に変更してください。

参照

・モードの変更→この項の「モードの変更」

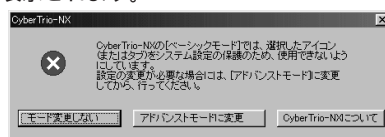
コントロールパネル

「コントロールパネル」に関して次のような制約があります。

使用できないアイコン(アイコンを起動しようするとメッセージが表示されます)

- ・「ネットワーク」
- ・「マルチメディア」
- ・「システム」

これらのアイコンを起動しようすると、次の画面が表示されます。



この画面のボタンをクリックすると、次のようになります。

・「モード変更しない」

「ベーシックモード」に戻ります。

・「アドバンスモードに変更」

自動的に「アドバンスモード」に変更します。

・「CyberTrio-NX について」

ヘルプが表示されます。

「ベーシックモード」では使用できないアイコンを起動する場合は、「アドバンスモードに変更」をクリックしてください。「アドバンスモード」に変更されたら、その後、「コントロールパネル」から、必要なアイコンを起動してください。

また、「ベーシックモード」では「プリンタ」で「プリンタの削除」はできません。

■ タスクバーの設定

変更できません。(再起動すると元の設定に戻ります。)

■ レジストリエディタとシステムエディタ

使用できません。

■ CyberWarner-NX の使用

起動時に「警告あり」のモードになります。起動後に、「警告なし」のモードへの変更は可能です。



・「CyberWarner-NX」→ PART1「Windows 98の動作の監視 CyberWarner-NX」

ベーシックモードでの注意

「ベーシックモード」では、次の点に注意してください。

■ 設定変更時の注意

「ベーシックモード」では、タスクバーの設定は、ご購入時の状態で使用してください。タスクバーの設定を変更して使用する場合は、「アドバンスモード」で使用してください。

■ Safe モードで起動した場合の注意

本機に問題があり、Windows 98がSafeモードで起動した場合、「CyberTrio-NX」が「ベーシックモード」になっていると、ハードウェアの設定を変更できません。

このような場合は、次の手順で設定の変更を行ってください。

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

「名前」に次のように入力する。

c:\¥cybertrio¥kiddos c:\¥cybertrio¥script¥normal.dtc

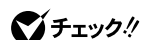
「OK」をクリック。

これでハードウェアの設定を変更することができます。「デバイスマネージャ」などで、変更が必要なハードウェアの設定を行ってください。

キッズモード

本機を、子どもといっしょに使いたいときは、子どもが使えるアプリケーションを限定し、子ども専用のパソコンとして設定できます。

使いたいアプリケーションの設定や、「キッズモード」の動作設定などは、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」からできます。



「キッズモード」では次の制約があります。

・「スタート」メニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。

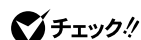
・マウスの右クリックは動作しません。

・タスクバーには CyberTrio-NX)のインジケータだけが表示されます。

・「CyberWarner-NX」がインストールされているときは、「キッズモード」は「警告あり」のモードで起動されます。このとき、アイコンは表示されません。

使いたいアプリケーションの設定

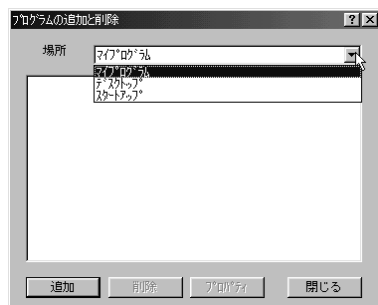
「キッズモード」で使用できるアプリケーションは、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」のときに次の手順で設定します。保護者の方が、設定してあげてください。



購入時には「デスクトップ」に「CyberTrio-NX メニュー」が追加されています。

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「プログラムの追加と削除」をクリック。

アプリケーションの追加先に「マイプログラム」,「デスクトップ」,「スタートアップ」を指定する。



「追加」をクリック。
メニューが表示されます。

✓チェック!!

- ・アプリケーションのショートカットを追加するときは、「プログラム」メニューを選んでショートカットを選んでください。
- ・アプリケーションのファイル名を追加するときは、「参照」メニューを選んで、「ファイルを開く」ウィンドウの中でファイル名を選んでください。
- ・使用できるアプリケーションを確認するには、「プロパティ」をクリックします。
- ・アプリケーションを削除するときは、「削除」をクリックします。
- ・アプリケーションの追加先を「スタートアップ」に設定するとキッズモードでパソコンを起動したとき、自動的に、追加したアプリケーションを起動することができます。

「閉じる」をクリック。

キッズモードの動作設定

パスワード、デスクトップの背景、サウンドなどの設定ができます。

■ パスワードの設定

子どもが「キッズモード」からほかのモードに変更できないように、パスワードを設定できます。パスワードは最大8文字までの英数字で、「ベーシックモード」または「アドバンスモード」から設定します。

✓チェック!!

購入時には、パスワードは設定されていません。

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「パスワードの設定」タブをクリック。



「パスワードを設定する」にチェックマークをつける。

「パスワード」にパスワードを入力する。

「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。

「OK」をクリック。

✓チェック!!

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急用パスワード」を入力して、ほかのモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

「緊急用パスワード」: 71709981

■ 背景の設定

「キッズモード」で使用する背景を設定できます。子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「背景」タブをクリック。



「壁紙」リストボックスから、壁紙を選ぶ。

✓チェック!

画面の解像度を 640 × 480 にして「キッズモード」を使用される場合、壁紙は画面からはみ出して表示されます。壁紙が画面からはみださないようにするには、壁紙を(LowRes)と表記されているものに変更してください。

また、1024 × 768 以上の解像度では、壁紙は並べて表示されます。

「OK」をクリック。

■ サウンドの設定

「キッズモード」で使用するサウンドを設定できます。子どもの好みに合わせて選ぶことができます。

「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作設定」をクリック。
「CyberTrio-NX のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「サウンド」タブをクリック。



各イベントに対して、サウンドを指定する。

「OK」をクリック。

Windows 98 の動作の監視 CyberWarner-NX

Windows 98の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルを操作中に削除または変更しようすると警告を表示します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

起動と終了

本機の購入時には、「CyberWarner-NX」は起動されていません。

起動する手順は次の通りです。

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「スタートアップ」タブをクリック。

「開始」をクリック。

オプションの説明

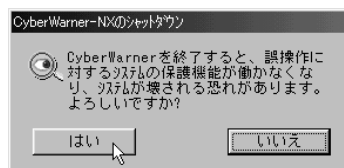
- ・「起動時に CyberWarner-NX を実行する」
次回から、本機を起動するときは、「CyberWarner-NX」が常駐プログラムとして実行されます。
購入時の状態では、チェックが外されています。
- ・「タスクバーに CyberWarner-NX アイコンを表示する」
「CyberWarner-NX」の実行中は、タスクバーに「CyberWarner-NX」アイコンを表示します。
購入時の状態では、チェックが付けられています。

「OK」をクリック。

終了の方法

タスクバーの右隅にある  (CyberWarner-NX) をクリック。

「終了」をクリック。
次の画面が表示されます。



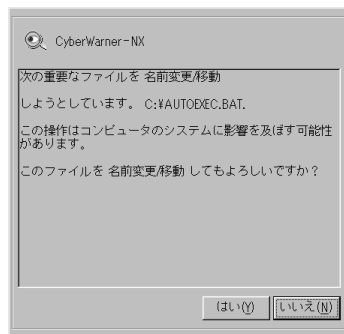
「はい」をクリック。

警告メッセージ

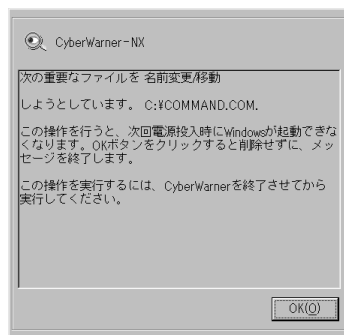
Windows 98 の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルに対して、削除または変更しようすると、警告メッセージを表示します。

メッセージには操作の確認用メッセージと警告用メッセージがあります。

確認用メッセージ



警告用メッセージ



警告メッセージの表示 / 非表示

警告メッセージを表示するかどうかを設定できます。「警告なし」を選ぶと、警告メッセージを表示せずに処理されます。確認メッセージは警告メッセージの表示 / 非表示にかかわらず表示されます。

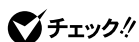
「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「一般」タブをクリック。

「警告あり」または「警告なし」をクリック。

「OK」をクリック。



購入時は、「CyberTrio-NX」を「ベーシックモード」に設定すると、自動的に「警告あり」に、「アドバンスモード」にすると自動的に「警告なし」に設定されるようになっています。

バックアップファイル

ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更など)した場合、その操作前のファイルが保存されます。

バックアップファイルの設定

バックアップファイルの収集に関する設定ができます。

コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「バックアップ」タブをクリック。
スライダを移動するとバックアップファイルの最大サイズを変更することができます。



バックアップ

ログと一緒に収集するバックアップデータを保存しておく場所の容量を設定できます。

ログ対象ファイルの説明

■ ログファイルの説明

Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の警告メッセージが表示され、変更しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻ること)されます。

¥command.com
¥io.sys
¥windows¥himem.sys
¥windows¥win.com
¥windows¥notepad.exe
¥windows¥regedit.exe
¥windows¥explore.exe
¥windows¥system¥vmm32¥.*
¥windows¥command.com
¥windows¥system¥sysedit.exe
¥windows¥system¥iosubsys¥.*
¥windows¥rundll.exe
¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥progman.exe
¥windows¥control.exe
¥windows¥winfile.exe
¥windows¥taskman.exe
¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥winsock.dll

Non Critical File

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥.*
¥windows¥system¥dll
¥windows¥system¥vxd

Special

次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。また、他のアプリケーションをインストールしたときに次のファイルが変更されると、自動的に変更前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini

■ ファイルの削除についての注意

「CyberWarner-NX」で保護されているファイルを削除する場合、「ごみ箱」の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。

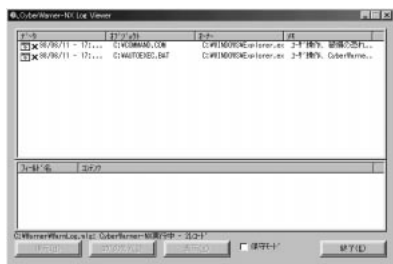
このような場合には、次の手順で「ごみ箱」の中身の状態と表示を合わせてください。

デスクトップの「ごみ箱」を右クリック。
メニューが表示されます。

「ごみ箱のプロパティ」をクリック。
「ごみ箱のプロパティ」が表示されます。

「OK」をクリック。

ログファイルの表示



「CyberWarner-NX ログビューワ」を使って収集したログ情報を参照できます。

「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

「一般」タブをクリック。

「参照」をクリック。
ログビューワが表示されます。

✓チェック!

収集したログファイルは保守モードでのみ操作可能です。ログファイルの操作にはパスワードによる保護がかけられています。この保守モードは、お客様からの問い合わせの際に、NECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は、使用しないでください。

ログビューワの上のリストには次のものが表示されます。

- ・データ
記録した日時を表示します。

- ・オブジェクト
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
- ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
- ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します。操作の状態は、次のどちらかになります。
- ・ユーザ操作
- ・アプリケーション操作

上のリストで「データ」を選ぶと、下のリストの「フィールド名」と「コンテンツ」には次の項目が表示されます。

- ・管理者
「ファイル」と表示されます。
- ・復元する
バックアップファイルが使用可能かどうかを表示します。
- ・復元されました
ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示します。
- 1 : 復元されました
0 : 復元されていません
- ・日付
記録した日時を表示します。
- ・ソース
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。
- ・バックアップ
バックアップファイルが存在する場合、絶対パスで表示します。
- ・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。
- ・オペレーション
変更や削除、操作の種類を表示します。
- ・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します（上のリストのメモと同じです）。

ウイルスの検査 と駆除 VirusScan

VirusScanは、ウイルスを検査し、万一ウイルスが発見されたときは、駆除することができます。

概要

ウイルスを検査するには、次の4通りの方法があります。

・VShield

常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。

・ScreenScan

スクリーンセーバの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan コンソール

あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan

その場でウイルスが感染していないかを検査します。

✓チェック!!

・ワクチンソフトのウイルス検索エンジンは順次更新されます。将来、検索エンジンを新しくしなければ、定期パターンアップだけでは発見できないウイルスが出現することが予測されます。

詳しくは、「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「必ずお読みください」をご覧ください。

・「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する(VShield)

「VShield」はファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査します。

「VShield」は次の手順で設定します。

「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。

「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。

「McAfee VShield」をダブルクリック。

「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「詳細設定」をクリック。

「VShield 設定」ウィンドウが表示されます。



「スタートアップ時に起動」にチェックマークをつける。

「OK」をクリック。

「今すぐに読み込みを行いますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

これで、「VShield」の設定が完了です。

次回からの起動時には、自動的に「VShield」が常駐します。

✓チェック!!

「VShield」は常にファイルのアクセスを監視するために、アプリケーションの動作は多少、遅くなります。

スクリーンセーバ実行中に検査する (ScreenScan)

「ScreenScan」はスクリーンセーバを実行している間に、ウイルスが感染していないかを自動的に検査します。本機を使用していないときに自動的に実行されるため、操作の妨げにはなりません。

「ScreenScan」は次の手順で設定します。

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「スクリーンセーバー」タブをクリック。
「スクリーンセーバー」タブのウィンドウが表示されます。

スクリーンセーバーを設定をする。

「McAfee ScreenScan」タブをクリック。
「McAfee ScreenScan」タブのウィンドウが表示されます。



この画面は機種によって異なる場合があります。

「スクリーンセーバ動作中にスキャンする」にチェックマークをつける。

「OK」をクリック。
これで「ScreenScan」の設定は完了です。

✓チェック!!

「ScreenScan」の設定をしないで「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ScreenScan」をクリックしても「ScreenScan」は実行されません。

定期的に検査する (VirusScan コンソール)

「VirusScan コンソール」では、1回、毎時、毎日、毎週、毎月などと指定することにより、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。

「VirusScan コンソール」は次の手順で設定します。

「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。

「タスク」メニューの「新規のタスク」をクリック。
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「プログラム」タブをクリック。
「プログラム」タブのウィンドウが表示されます。

タスクの名前を入力する。
(例「定期検査」を入力)

「詳細設定」をクリック。
「McAfee VirusScanプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「スキャン」タブをクリック。
「スキャン」タブのウィンドウが表示されます。

「自動検査開始」にチェックマークをつける。

「OK」をクリック。

✓チェック!!

「VirusScan」の設定を変更するには、アドバンスドモードにする必要があります。」と表示されたときは、「OK」をクリックしてください。

「スケジュール」タブをクリック。
「スケジュール」タブのウィンドウが表示されます。



「スケジュール有効」にチェックマークをつける。

「実行タイミング」と「開始時間」を設定する。

「OK」をクリック。

これで「VirusScan コンソール」の設定は完了です。
設定した時間に「VirusScan」が実行されます。

VirusScan コンソールの常駐

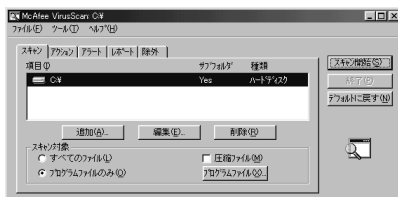
指定した時間に、自動的に「VirusScan」を起動するためには、「VirusScan コンソール」が常駐している必要があります。また、常駐している「VirusScan コンソール」を終了させると、「VirusScan」が自動的に起動されなくなりますので、注意してください。

すぐに検査する(VirusScan)

外部からフロッピーディスクや文書ファイルを受け取ったときには、「VirusScan」を実行して受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。次の手順で実行してください。

「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan」をクリック。

「VirusScan」ウィンドウが表示されます。



スキャンするドライブ、フォルダ、スキャン対象を設定する。

「スキャン開始」をクリック。

これで、ウイルスの検査が実行されます。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「ウイルスの除去」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、「VirusScan コンソールオンラインヘルプ」をご覧ください。

P A R T

2

インターネット & パソコン通信

-
- ホームページを探す ジェットサーファー
 - オートパイロットと料金管理 インターネットアクセスマネージャ
 - ホームページの URL を簡単に入力する Hatch inside
 - ホームページの整理 ホームページスクラップブック
 - ホームページを作成する FrontPage Express
 - さまざまな通信サービス
 - ダイヤルアップネットワーク
 - テレフォニー

ホームページを 探す ジェットサーファー

「ジェットサーファー」は、インターネットにアクセスするときに、ホームページがリンクしている先のページの情報をまとめて取ってきて、ほしい情報のあるページを素早く探し出すことができます。

概要

「ジェットサーファー」の機能を理解するために、例をあげて説明します。たとえば「東京都白書」という膨大な一冊の本から、一般に開放している図書館やスポーツ施設などの公共施設について調べるとします。通常ならば、目次や索引で「図書館」「スポーツ施設」「公共施設」などに関する情報が載っているような場所の見当をつけてから、実際にそのページを開いて調べるのがふつうでしょう。しかし、もしその「東京都白書」に目次や索引がなかったとしたらどうでしょう。最初のページから順番にめくって調べていくしか方法はありません。もちろん、実際にはこのような本に目次や索引がないということは考えられません。

ところが、インターネットのホームページにはこの目次や索引に相当するものがないことがよくあります。そこでクリックを繰り返して順にページを開いて見ていくしかないという場合がよくあります。「ジェットサーファー」はこんなときにとても役に立つソフトです。「ジェットサーファー」は、どんなに複雑に構成されているホームページでも、その目次や索引（正確に言えばそれらに相当するもの）を素早く作成してくれるソフトといえます。ジェットサーファーを上手に使用すれば、膨大な情報が詰まっているインターネットのホームページから、必要な情報だけを素早く得ることができるのです。

「ジェットサーファー」の機能

ジェットサーファーの機能は次の通りです。

■ ホームページの分析・表示

ホームページからリンクされている情報を素早く表示することができます。

任意のホームページからリンクされている先にある複数のページのタイトル、文章の内容、使われているメディアファイル（画像・動画・音声ファイルなど）の情報をまとめて取ってきて、それぞれを個別のウィンドウに分割して一覧表示することができます。

■ 文字列検索

文字列検索機能を使って、欲しい情報を簡単に探し出せます。

文字列を指定してホームページの分析を行うと、文字列にマッチした語句を含むページを素早く探し出すことができます。また、一度分析した結果に対しても、文字列を指定して検索することができます。

■ 分析結果のページをブラウザへ表示

「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のタイトルをクリックして簡単にブラウザに表示させることができます。

これによりブラウザを使ってリンクをたどっていかなくても深い階層にあるページを素早く見ることができます。

■ 分析結果からファイルのダウンロード

「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のファイルをクリックして、簡単に該当のファイルのみをダウンロードすることができます。

■ お気に入り登録

一度分析した情報をお気に入り情報として名前をつけて登録しておくことができます。これによっていつでも好きなときにお気に入りの分析結果を見ることができます。

■ 更新情報表示

以前に分析した情報の中で、更新されているタイトルがわかるように表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示した後、もう一度分析を行うと情報が更新されたページのタイトルアイコンの色を変更して表示します。これにより変更されたページのみを効率良く見ることができます。

使用する前に

ここでは、「ジェットサーファー」の基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていないメニュー、ダイアログボックスの設定方法などについては、オンラインヘルプをご覧ください。特に、オンラインヘルプの「はじめに」-「注意事項」(メニューの「ヘルプ」→「トピックの検索」→「目次」タブ→「はじめに」→「注意事項」)は各機能を使用する上で必要な注意事項が記載されています。使用する前に必ずお読みください。

✓チェック!

ダイヤルアップIP接続(必要なときだけ、電話回線あるいはISDN回線を利用してインターネットに接続すること)をご使用の方で回線未接続の方は、接続を行ってから分析を実行してください。

分析範囲と階層

ジェットサーファーは、ホームページの「目次」や「索引」を作るためにホームページを分析します。そのときに必要となる「分析範囲」や「階層」について「東京都白書」の例で説明します。「東京都白書」の中に、他の本(たとえば「神奈川県白書」とか「関東近県白書」など)を参照としてあげているとします。この参照先の本の目次や索引までを作成するかどうかを指定するのが「分析範囲」です。「分析範囲」が「ドメイン内」とは「東京都白書」だけを調べて、目次や索引を作成します。「ドメイン外」とは参照先の他の本、つまり「神奈川県白書」や「関東近県白書」までも調べて、それらの目次や索引を作成します。当然、「ドメイン外」では範囲が広くなり、それだけ時間がかかります。

次に「階層」ですが、これは目次を考えればわかりやすいでしょう。本の目次は章、節、項のようなレベルに分類されています。このときにどのレベルまで掘り下げて調べるのかを指定するのが「階層」です。たとえば「0 階層」とは章タイトルのレベルまでを調べ、「1 階層」とは節タイトルのレベルまでを範囲として調べます。「階層」も深くすればそれだけ分析範囲が広がり、時間がかかるようになります。

第1章 足立区		
	1. 人口	1.1 年齢別人口 1.2 地域別人口
	2. 公共施設	2.1 図書館 2.2 スポーツ施設
第2章 荒川区		
階層 0	階層 1	階層 2

分析範囲の絞り方

「ジェットサーファー」の特徴は欲しい情報がどこにあるか「早く」探すことができることにあります。しかし最初から分析範囲や階層数を広くしてしまうと、本当に欲しい情報以外の情報も分析してしまい、余計な時間がかかってしまいます。そこで、次のような分析範囲を絞った使い方をおすすめします。

まず起点となる URL をドメイン外 / 0 ~ 1 階層で分析する。

分析結果の中でめばしいタイトル(URL)をドメイン内 / 1 ~ 2 階層で分析する。

手順 を何度か繰り返し、ある程度タイトルを絞り込む。

必要であればドメイン内で階層数を 2 ~ 3 に増やす。

■ 操作の概要

それでは、この分析範囲を絞った使い方を「東京都白書」というホームページがあると仮定して、説明しましょう。

まず、起点となる「東京都白書」というホームページの URL (ホームページの住所のこと) を「URL」欄に入力します。たとえば URL が「www.tokyo.or.jp/hakusyo/」(架空のものです)であれば、次のように入力します。「http://」はホームページにアクセスするときの決まりのようなものです。「階層」欄は「0」または「1」とします。



次に「範囲」(範囲)をクリックして次の「設定 - 分析範囲」ダイアログボックスで「ドメイン外」にチェックマークを付け、「OK」をクリックします。

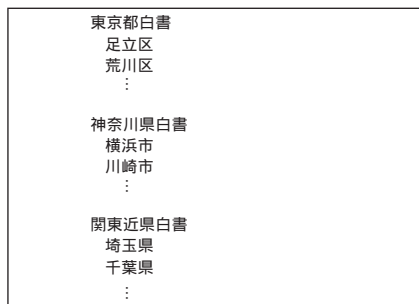


「ジェットサーファー」ウィンドウの下が表示が「ドメイン外」になります。



分析を開始するために「Go」をクリックします。

分析が終了すると、「東京都白書」「神奈川県白書」「関東近県白書」のそれぞれの目次が表示されます。

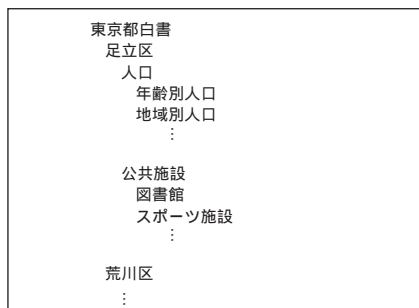


✓チェック!

階層を「1」にして分析したときは、分析したすべての階層を表示することもできます(「ホームページを分析して結果を表示する」参照)。

今度は分析範囲を「東京都白書」に絞って、さらに深い階層まで調べてみます。「分析範囲」を「ドメイン内」にして、「階層」を「2」にして「Go」をクリックします。

分析が終了すると、「東京都白書」の目次が表示されます。階層2までを表示すると次のようになります。



✓チェック!

分析の途中でも興味があれば、たとえば「足立区」の「公共施設」を起点のURLとして分析を開始することもできます。

このようにして分析範囲を絞っていくことができます。たとえば「足立区」の「図書館」を起点のURLとして分析した結果から、その図書館の蔵書を調べることができます。パソコン関連の本について調べたいときは「パソコン」というキーワードで検索することができます(「文字列を検索したページをブラウザに表示する」)。さらに、目的の本の表紙が画像データとしてホームページにあれば、その画像データを自分のパソコンにダウンロードすることができます(「分析したページからファイルをダウンロードする」参照)。

■ 分析とは

「ジェットサーファー」の中で使われる「分析」という言葉は、指定されたURLを起点として設定された条件の範囲内をアクセスして、次の情報を取り出して、それぞれをわかりやすくまとめて画面に表示するという意味です。

- ・張られているリンク(ハイパーリンク)の文字列。
- ・含まれているファイル(GIFファイルやAVIファイルなど)の名称、タイムスタンプなど。
- ・ページに書かれている文章の内容(テキスト情報)。
- ・検索文字列(キーワード)を設定している場合、マッチした語句を含むページのタイトル。

ホームページを分析して結果を表示する

「ジェットサーファー」は、最初の分析ではホームページのリンク構造とテキスト内容を表示するだけでなく、画面などを表示する、通常使用しているブラウザとは異なり、素早くページの内容が表示できます。このため、階層の深いページも素早く簡単にたどり着くことができ、目的のページ内容の概要が素早く理解できます。

「ジェットサーファー」を起動する。

(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「ジェットサーファー」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファー」→「ジェットサーファー」)

「ジェットサーファー」の初期画面が表示されます。



「URL」欄にURLを入力する。

(例 "http://www.nec.co.jp/" (NECのホームページのアドレス)を入力)



Go をクリック。

インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構成(ハイパーリンクの語句)テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



すでにブラウザに目的のページを表示していれば、「ファイル」メニューの「ブラウザからの取り込み」で表示することもできます。

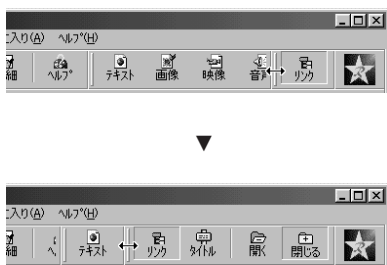
(開く) をクリック。

分析したすべての階層が表示されます。



チェック!

(開く) が表示されていないときは、(リンク) の左端にある縦の線にカーソルを当て、カーソルが双方向の矢印の形に変わったときに、マウスを左にドラッグすれば表示されます。



(タイトル) をクリックするとツリービューにはページのタイトルが表示されます。



これらを表示することによってホームページにどんな情報があるのか、またはどんな構成でできているのかという概要をつかむことができます。

ツリービュー、テキストブラウザおよびタイトル表示や階層表示の方法の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ツリービューに表示されるアイコンには、次の種類があります。

アイコンの種類

- ツリービューの一番上に表示される起点 URL
- 正常に分析した結果のリンク
- 通信時に何らかのエラーが発生して正常に分析できなかったリンク
- 指定された階層分の最下位層にあたるリンク先
- 前回分析時から更新されたリンク先
- アクセスするためにユーザ名 / パスワードが必要なリンク先
ユーザ名 / パスワードを入力しなければ、これ以下の階層は分析できません。

アイコンの色

- ・黄色のアイコン
通常のリンク先
 - ・水色のアイコン
設定した検索文字列とマッチする語句を含むリンク先
- 詳しいことは、オンラインヘルプをご覧ください。

インターネットに接続するときの注意

ジェットサーファからの回線接続は、ご利用になっているブラウザと同じ動作をします。つまり回線未接続の状態では、ブラウザからインターネット上のURLにアクセスしたときに接続ダイアログボックスが表示される場合は、ジェットサーファでも同じように分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示されます。分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示された場合は先に回線接続を行ってください。

分析にかかる時間とディスク容量について

ホームページに張られているリンクは予想以上に数があります。階層指定を増やす場合は時間とディスク容量に余裕を持って分析を行ってください。分析範囲をドメイン外に設定すると予想しないURLまでリンクが張られている場合があり、分析にかかる時間およびディスク容量がさらに増加する可能性があります。ドメイン外に設定する場合には、時間とディスク容量には十分余裕を持って分析を行ってください。

✓チェック!!

「ジェットサーファ」は分析を行うために、通信によって入手したファイル(HTMLファイル)をディスクに一時保管します。「ジェットサーファ」を終了すればこれらのファイルは削除されます。

文字列を検索したページをブラウザに表示する

「ジェットサーファ」では、ホームページ内の目的のキーワードまたは情報が分かっている場合、文字列検索をすることで、簡単に目的の内容があると思われるページへたどり着くことができます。

「ジェットサーファ」を起動する。

(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「ジェットサーファ」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファ」→「ジェットサーファ」)

「ジェットサーファ」の初期画面が表示されます。



「URL」欄にURLを入力する。

(例 "http://www.nec.co.jp/" (NECのホームページのアドレス)を入力)



Goをクリック。

インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造(ハイパーリンクの語句)、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



「編集」をクリックして、「文字列検索」→「分析結果から検索」をポイント。



反転表示している「分析結果から検索」をクリック。「文字列検索 - 分析結果から検索」ウィンドウが表示されます。



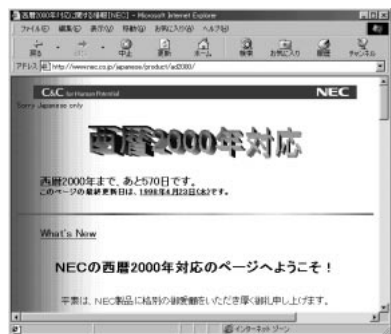
検索したい文字列を「検索する文字列」欄に入力して、「実行」をクリック。
(例「2000年」を入力)
「文字列検索結果」ウィンドウに検索結果が表示されます。



分析結果のひとつをクリック。
選択された分析結果が反転表示になります。



「ファイル」をクリックして、「ブラウザに表示」をクリック。
通常使用しているブラウザが起動して、選んだページが表示されます。



最下位層に当たる「?」マークについてはリンクの語句のみをダウンロードしているため、ページの内容までは表示できません(テキストブラウザには「このページは指定された階層より下にあるため表示できません」と表示されます)。

分析したページからファイルをダウンロードする

「ジェットサーファ」では、ホームページの中から特定の種類のファイル(例としてAVI,MIDIなど)だけを取り出したい場合、ページに含まれている目的のファイルを一覧表示し、自分のパソコンの中に取り込んで保存する(ダウンロード)ことができます。

「ジェットサーファ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ジェットサーファ」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファ」→「ジェットサーファ」)
「ジェットサーファ」の初期画面が表示されます。



「URL」欄にURLを入力する。
(例「http://www.nec.co.jp/」(NECのホームページのアドレス)を入力)



Go をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造(ハイパーリンクの語句)テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



ツリービューから目的のページをクリック。
目的のページが反転表示になります。



目的のファイルの種類のボタンをクリック。
(例 「画像ファイル」ボタンをクリック)
選んだページの中にある画像ファイルがリストビュー
内に表示されます。

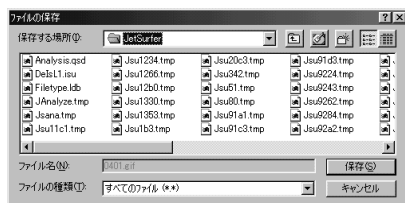


リストビューから、ダウンロードしたいファイルをクリック。
選んだファイルが反転表示になります。



複数のファイルを指定する場合は、【Shift】を押しながらファイルをクリックします。

「ファイル」→「ファイルの保存」をクリック。
「ファイルの保存」ウィンドウが表示されます。



ファイルを保存するフォルダを指定して「保存」をクリック。

(例 フォルダに「JetSurfer」を指定)
ファイルをダウンロードして、指定したディレクトリ
に保存します。

オートパイロット と料金管理 インターネット アクセスマネージャ

気になる電話料金やプロバイダ料金をリアルタイムに見ることができます。また、電話料金が安い夜間などに、気に入ったホームページをまるごと自分のパソコンに取り込んであとでゆっくり楽しめるオートパイロットもできます。

概要

インターネットを利用するときは、電話料金とプロバイダの接続料金の両方がかかるので、気に入ったホームページを見つけても、時間が気になってじっくりと見ることができないものです。また、英語のホームページだとよほどの英語の達人でない限り、スムーズに読み進めません。どうしても辞書を片手にということになり、時間がどんどん経過していきます。そんなときに役に立つのがこの「インターネットアクセスマネージャ」の「オートパイロット」機能です。電話料金の安い深夜にインターネットに接続して、気に入ったホームページをまるごと自分のパソコンに取り込み、接続を終了してくれるということもできます。あなたが寝ていようが、外出していようが自動で実行してくれるのです。しかも取り込む時間も短くてすむので、まさに一石二鳥です。ホームページを自分のパソコンに取り込んでしまえば、あとは料金もかからず、じっくりと見ることができます。

また、「インターネットアクセスマネージャ」には「料金管理」という機能もあります。インターネットについて夢中になって時間の経つのも忘れ、月末の請求金額を見て真っ青、なんていう経験は多少なりとも誰にでもあるのではないのでしょうか。「インターネットアクセスマネージャ」では料金の上限を決めておけば、それを超えたときはメッセージで知らせてくれる機能があります。これなら安心して予算内でインターネットを楽しめます。

「インターネットアクセスマネージャ」は、このようにインターネットを利用する人にとっては非常に役に立つソフトなのです。このほかにも次にまとめてあるように、いくつかの優れた機能があります。

✓チェック!!

- ・「インターネットアクセスマネージャ」の機能や注意事項について詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。
- ・「インターネットアクセスマネージャ」の起動中に、「Internet Explorer」などのブラウザのウィンドウが、「インターネットアクセスマネージャ」のウィンドウの後ろに隠れてしまうことがあります。その場合は、「インターネットアクセスマネージャ」を最小化するか、タスクバーに表示されているブラウザのボタンをクリックして、ブラウザを表示させてください。

インターネットアクセスマネージャの機能

「インターネットアクセスマネージャ」には、次のようなインターネットに便利な7つ道具があります。このマニュアルでは、「道具1 オートパイロット機能」、「道具2 オフラインホームページシアター」、「道具6 リアルタイム料金計算」、「道具7 接続時間・料金管理」について説明します。このマニュアルに記載していない道具の使い方やインターネットアクセスマネージャのQ&Aについては、オンラインヘルプをご覧ください。なお、Q&A一覧については、オンラインヘルプの「目次」-「Q&A - 困ったときに -」に記載しています。

■ 道具1 オートパイロット機能

オートパイロットとは、インターネット上のホームページの内容を自分のパソコンに自動的にダウンロードする機能です。ダウンロードしたホームページは、回線切断後にブラウザソフトを使ってゆっくり内容を閲覧したり、フロッピーディスクなどにコピー（エクスポート機能）し、移動中や移動先で閲覧することができます。

また、「Timer-NX」と連携してオートパイロットの開始時間にスタンバイ状態から復帰し、オートパイロット終了後にスタンバイ状態にすることができます。

■ 道具2 オフラインホームページシアター

オフラインホームページシアターは、オートパイロット機能で自動ダウンロードしたホームページを次々とシアタービューに自動表示しホームページ閲覧を行う機能です。

■ 道具3 オンラインホームページシアター

ホームページシアターの別の楽しみ方として、オンラインホームページシアターがあります。回線を接続した状態でインターネットアクセスマネージャのURLリストに登録したURLに次々とアクセスしてシアタービューに自動表示します。

■ 道具4 URL登録

Internet Explorerのお気に入りとNetscape Navigator®のブックマークをURLリストに取り込んで統合管理を実現します。さらに、電子メールなどで届いた複数のURLの取り込みもできます。また、URLリストはフォルダ単位で管理することができます。パスワードを設定できる専用フォルダもサポートしているので、1台のパソコンを複数人で使用する場合などにパスワードをかけた個人毎のURL集をつくることもできます。

■ 道具5 インターネット接続

接続ボタンをクリックすることで、登録された接続先にダイヤルアップ接続できます。複数プロバイダ、複数アクセスポイントに対応した接続/切断機能や指定した接続先にかけ直すりダイヤル機能により、インターネット接続ができます。

■ 道具6 リアルタイム料金計算

インターネット(ダイヤルアップ)接続の「今回」または「今月」の合計時間・料金をリアルタイムに表示します。ボタン一つで「今回」/「今月」の表示が切り替わり、「今回」の接続料金、「今月」の合計接続料金がすぐにわかります。細長い形状の「お知らせバー」はデスクトップの最上部に固定表示できますので、ブラウザなどを使用中でも接続料金の確認ができます。

■ 道具7 接続時間・料金管理

1年/1ヶ月/1日の単位でインターネット(ダイヤルアップ)接続時間・料金の利用明細を見ることができます。さらに、プロバイダ毎、電話会社毎、URL毎、アプリケーション毎の区分での利用明細を見ることができます。

利用環境を設定する

「インターネットアクセスマネージャ」の動作環境を設定します。起動後に次の事項の確認や設定をしてください。

- ・ユーザー名、ユーザーアイコンの設定
- ・接続先の確認
- ・接続先のユーザー名とパスワードの設定

- ・接続先の電話料金、プロバイダ料金の設定
- ・システム時計の確認

ユーザー名、ユーザーアイコンの設定をする

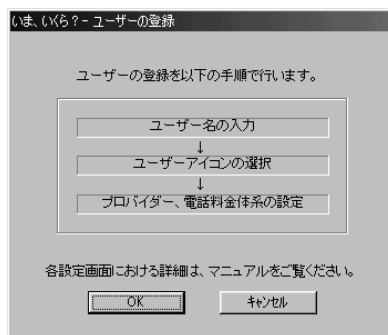
「いま、いくら?」を起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「いま、いくら?」)



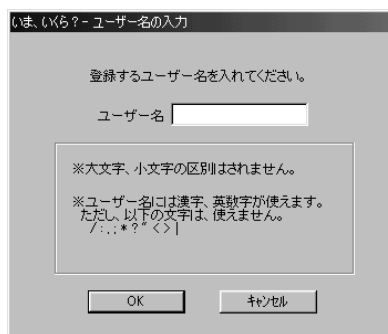
「OK」をクリック。

「いま、いくら? - ユーザーの登録」ウィンドウが表示されます。



「OK」をクリック。

「いま、いくら? - ユーザー名の入力」ウィンドウが表示されます。



ユーザー名を入力します。

チェック!

ここで入力するユーザ名は、インターネットアクセスマネージャを複数の人で利用する場合に識別するための名前ですが、1人で利用するときでも何か名前を入力してください。

「OK」をクリック。

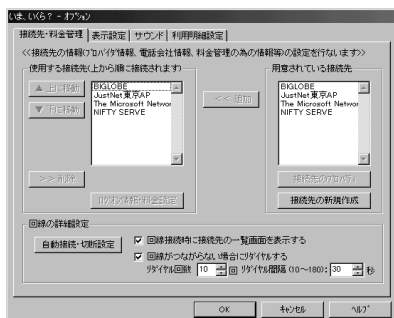
「いま、いくら? - ユーザアイコンの選択」ウィンドウが表示されます。



好きなアイコンを選択します。

「決定」をクリック。

「いま、いくら? - オプション」ウィンドウが表示されます。



続いて、接続先の確認をしてください。

接続先の確認をする

・「インターネットアクセスマネージャ」では、「使用する接続先」に接続先が複数あるときは、いちばん上にある接続先から回線接続を行います。回線接続をしたときに、話中だった場合は、画面下部にあるリダイヤルの設定に従ってリダイヤルを行います。それでも話中のときは、次の接続先に回線接続を行います。このように上から順番に接続先を自動的に変更します。

・接続する順番を変えたい場合

接続先を選択して反転表示にした状態で、「上に移動」ボタンをクリックすると、その接続先がひとつ上の位置になります。同様に「下に移動」ボタンをクリックすると、その接続先がひとつ下の位置になり、この両方のボタンで接続先の順番を変更できます。

・接続先として使わない場合

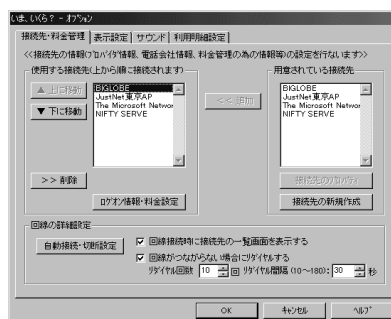
接続先として使わない場合は、その接続先を選択して反転表示した状態で、「削除」をクリックします。

各接続先のユーザー名とパスワードを設定する

リストの中の「接続先」をクリックして選ぶ。

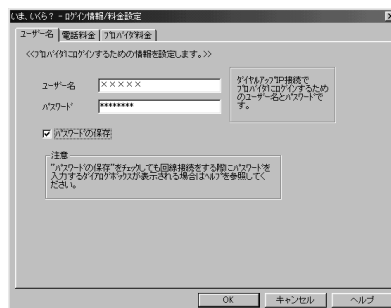
(例「BIGLOBE」を選ぶ)

選ばれた「接続先」が反転表示になります。



「ログオン情報・料金設定」をクリック。

「いま、いくら? - ログオン情報 / 料金設定」ウィンドウが表示されます。



「ユーザー名」と「パスワード」欄に、接続先プロバイダの「ユーザー名」と「パスワード」が設定されていることを確認します。設定されていない場合は入力してください(使用する接続先プロバイダのみ)。

パスワードを保存する場合は、「パスワード保存」チェックボックスにチェックマークを付けてください。なお、Timer-NX と連携してオートパイロットを実行する場合は、必ず「パスワード保存」チェックボックスにチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと、オートパイロット実行時に、パスワードを入力するウィンドウが表示されるため、オートパイロットの処理が止まってしまいます。

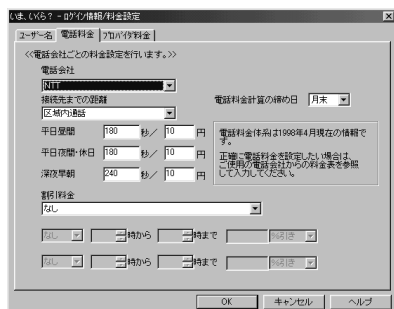
このあと、他の「使用する接続先」に関しても、同様の手順でユーザー名とパスワードの設定を行ってください。

各接続先の料金を設定する

電話料金やプロバイダ料金の設定は、前項の「いま、いくら？ - ログオン情報 / 料金設定」ウィンドウで行います。

「電話料金」タブをクリック。

「電話料金」タブのウィンドウが表示されます。



ここでは、電話料金の管理を行うために必要な「電話料金」の設定を行います。

電話会社一覧および料金に関する項目の中から契約している電話会社の接続先までの距離・割引料金を選びます。接続先までの距離は電話帳などで調べてください。また、電話料金体系、割引料金は最新の情報をもう一度、確認してください。

「電話料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。締め日の一覧が表示されます。



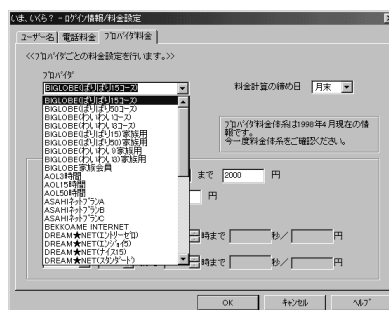
締め日の設定を行います。締め日は「料金を計算する期間」を意味し、電話会社によって異なります。例えば、4月分の料金が「4月6日～5月5日までの使用料金」の場合は、締め日は「5日」に設定します。

「プロバイダ料金」タブをクリック。

「プロバイダ料金」タブのウィンドウが表示されます。

ここでは、プロバイダ料金の管理を行うために必要な「プロバイダ料金」の設定を行います。

「プロバイダ」欄の右端の▼をクリック。プロバイダ一覧が表示されます。



この中から契約しているプロバイダを選びます。選ばれたプロバイダの料金体系を自動的にインターネットアクセスマネージャに設定します。プロバイダの料金体系は変更されている可能性があります。最新の情報をもう一度確認してください。

「料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。締め日の一覧が表示されます。

締め日の設定を行います。締め日は「料金を計算する期間」を意味し、プロバイダ各社によって異なります。設定方法は手順と同じです。

「OK」をクリック。

最初の画面に戻ります。

この後、他の「使用する接続先」に関しても、同様の手順で、電話料金、プロバイダ料金の設定を行います。これにより接続先ごとに料金管理ができます。プロバイダ・電話会社の料金設定が正しく設定されていない場合は、料金計算は正しく計算されませんので注意してください。また、プロバイダ・電話会社が料金改訂の場合は、お客様による再設定が必要になります。

すべての接続先について設定が完了したら、「OK」をクリック。

料金管理のための設定完了です。

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)に「お知らせバー」の常駐部が起動します。



(「お知らせバー」の常駐部)

システム時計を確認する

インターネットアクセスマネージャは、システム時計を基準にしてインターネット接続に関する時間や料金を管理しています。時間や料金を正しく管理するためには、システム時計が正しく設定されていることが必要です。「インターネットアクセスマネージャ」を使用する前に、次の手順でシステム時計を確認しておいてください。

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「日付と時刻」をダブルクリック。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

日付と時刻が正しいかを確認する。

日付と時刻が正しくない場合は、正しく変更してください。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「インターネットアクセスマネージャ」を使用した後にシステム時計を変更する場合は、「インターネットアクセスマネージャ」をいったん削除(残ったファイルもすべて削除)してから、システム時計を変更し、「インターネットアクセスマネージャ」を再追加してください。

📖 参照

インターネットアクセスマネージャの削除、再追加→「PART3 アプリケーションの追加と削除」

オートパイロット機能

「オートパイロット」では、ボタンをクリックするだけで、同じページへのアクセス作業を自動化すると同時に、あらかじめ指定されたURLを自動的に巡回してURLの内容を自分のパソコンにダウンロードします。これによって、次の効果があります。

- ・ブラウザで表示するよりも短時間で、チェックしたいURLの内容を手でできる(電話料金、プロバイダ料金の節約)。
- ・自分のパソコンのディスクにURLの内容があるため、回線を切断した後に電話料金やプロバイダ料金を気にせずゆっくり見ることができる。

オートパイロットの基本的な使い方

「インターネットアクセスマネージャ」の「URLリスト」に初めから登録してあるURLを例にして実際にオートパイロットの基本的な操作を説明します。

「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。



ツリービューにある「URLリスト」をダブルクリック。

次の画面が表示されます。



「インターネットお気に入り」フォルダをダブルクリック。
登録されている URL 情報が表示されます。



リストビューの先頭にある  (ファイルのマーク) をクリック。
オートパイロットの巡回先を示す赤色の  (ロケットのマーク) に変わります。



これでオートパイロットの巡回先としての登録は完了です。
同じように「URL リスト」に登録してあるすべての URL 情報に対して 1 回のクリックで巡回先に指定することができます。
もう一度クリックすると  (ファイルのマーク) に戻って巡回先からはずれません。

✓チェック!!

実際には、巡回する階層や範囲も指定します。既定値では 0 階層に設定されているため、指定した URL のホームページのみダウンロードし、指定した URL に貼られているリンク先などはダウンロードされません。巡回する階層や範囲の指定について、詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。なお、階層についてはジェットサーファで確認することができます。

📖 参照

ジェットサーファの使い方 → PART2 の「ホームページを探す <ジェットサーファ>」

他にも 2 つの URL を同様にクリック。
赤色の  (ロケットのマーク) に変わります。



 (オートパイロット実行) をクリック。
「オートパイロット (巡回先確認)」ウィンドウが表示されます。



ここで、チェックマークをはずすと、巡回先からはずれません。ただし、「インターネットアクセスマネージャ」ウィンドウのリストビューでは、巡回先であることを示す「ロケットマーク」がついたままなので、次回にオートパイロットを実行するときには、巡回先の対象となります。
「オートパイロット実行後回線切断する」にチェックマークが付いているときは、実行終了後に回線を自動的に切断します。
「今後もこのメッセージを表示する」にチェックマークが付いているときは、 (オートパイロット実行) をクリックするたびに、この画面を表示してからオートパイロットを開始します。

「OK」をクリック。
回線を接続してオートパイロットを実行します。
「オートパイロット (巡回中)」ウィンドウが表示されます。



このウィンドウで表示される読み込みバイト数は、すでに最新のファイルがローカルディスク上にある場合は、"0"と表示されます。これは例えば次のような場合に該当します。

- ・同じファイルをもう一度巡回した場合。
- ・同じドメイン内で同一ファイルを複数の箇所からリンクしている構造のサーバ(URL)を複数階層指定した場合。

巡回が終了すると、次のメッセージが表示されます。

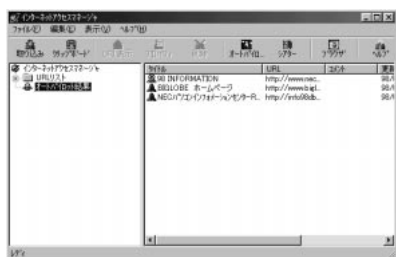


「OK」をクリック。

オートパイロット結果を見る

ここで、オートパイロットでダウンロードした URL の内容を見てみます。

ツリービューの「オートパイロット結果」をクリック。自分のハードディスクにダウンロードされた URL の一覧がリストビューに表示されます。



リストビューに表示されている URL をダブルクリック。

実際のWebサーバにあるURLの内容と同じ内容が表示されます。



このときWWWブラウザの「アドレス」ボックスには、「C:¥」と表示されており、ローカルディスクにダウンロードしたデータを表示していることがわかります。

「オートパイロット結果」である URL の先頭にあるマークは、ダウンロードの結果(正常にダウンロードできたか否か)および、一度でもWWWブラウザで表示を行ったか(未読 / 既読)によって異なります。

アイコン	内 容
青の	正常にダウンロードが完了したURL < 未読のURL > 前回と比べて内容が変更されたURL
グレーの	上記の青のアイコンをWWWブラウザで1度でも表示を行ったURL < 既読のURL >
?付き	内容の一部が欠落したURL サーバが混乱しているなどの理由で、一部のデータがダウンロードできなかったURL
×付きの	サーバ側と通信が行えず、指定したURLのデータが全くダウンロードできなかったURL

一度見たオートパイロットの結果でも再度オートパイロットを実行して URL 内容が更新されると、グレーのロケットマークから青のロケットマークに変更されます。

オートパイロット結果を削除する

オートパイロットでダウンロードした結果を削除するには、2つの方法があります。

■ ファイルを指定して削除

「オートパイロット結果」フォルダをクリックしてリストビューに URL 情報を表示する。

削除したい URL 情報を右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を削除する」を選ぶ。

この場合、指定された URL 情報の 0 階層目のデータのみをすべて削除します(2 階層、3 階層、... は他の URL 情報が使用している場合や他の URL 情報がリンクされている場合があるため削除しません)。

■ すべてを削除

ツリービューで「オートパイロット結果」フォルダを右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を空にする」を選びます。この場合、今までダウンロードしたデータをすべてフォルダごと削除します。

オートパイロットを使用するときの注意

・「インターネットアクセスマネージャ」のオートパイロットは通常の WWW ブラウザと同様に指定の URL (サーバ) からダウンロードできない場合があります。これは、サーバがダウンしているときやサーバに多数のアクセスが集中している場合や URL がもうなくなっている場合などに起こります。

・「オートパイロット結果」が不正の場合は、WWW ブラウザでアクセスをしてみてください。WWW ブラウザで正しくアクセスできない URL はオートパイロットでも正しくアクセス (ダウンロード) できません。

時間を指定して、オートパイロットする

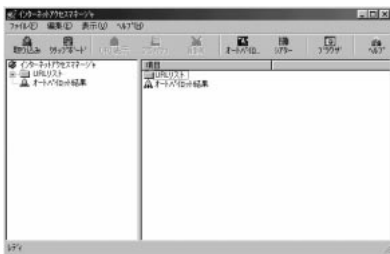
オートパイロットを実行する時間を指定します。なお、ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして、時間の指定の手順を説明します。

オートパイロットの巡回先の設定の方法、オートパイロット結果の見方については、前述の「オートパイロットの基本的な使い方」をご覧ください。

✓チェック!!

時間を指定して、オートパイロットするためには、指定した時間に「インターネットアクセスマネージャ」が起動されている必要があります。また、指定した時間にスタンバイ状態になっているとオートパイロットが実行されません。スタンバイ状態から、オートパイロットする場合は、後述の「Timer-NX と連携して、オートパイロットする」をご覧ください。

「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。



「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」の「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。

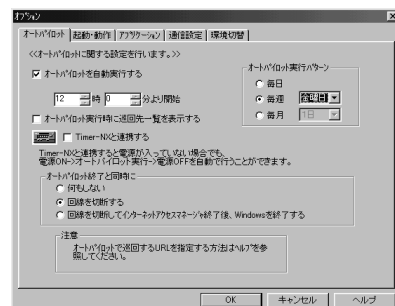


「オートパイロットを自動実行する」チェックボックスをチェックする。
時間指定ができるようになります。



自動実行を開始する時刻を設定する。
24 時間形式 (0:00 ~ 23:59) で設定します。
(例 12:00)

「オートパイロット実行パターン」を設定する。
(例 毎週・金曜日)

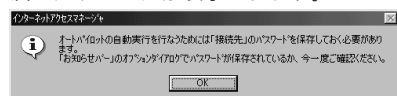


「オートパイロット終了と同時に」を設定する。
「何もしない」以外にチェックマークを付けてください。

✓チェック!

「何もしない」にチェックマークを付けると、オートパイロット実行後も回線を接続したままの状態となり、電話料金やプロバイダ料金が課金されます。

設定が終了したら、「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



OK をクリック。

以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットが実行されて、指定されたURLを自動的に巡回してデータを自分のパソコンにダウンロードします。ダウンロードが終わったらオートパイロット結果を見てください。

Timer-NX と連携して、オートパイロットする

本機がスタンバイ状態のときに「Timer-NX」と連携して「オートパイロット」で指定された時間にスタンバイ状態から本機の電源が入った状態にして、オートパイロット終了後にスタンバイ状態にすることができ

ます。なお、ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして、「Timer-NX」との連携の手順を説明します。

オートパイロットの巡回先の設定の方法、オートパイロット結果の見方については、前述の「オートパイロットの基本的な使い方」をご覧ください。

「Timer-NX」と連携してオートパイロットを実行するときは、必ずパスワードの保存をしておいてください。パスワードの保存をしておかないと、オートパイロット実行時に、パスワードを入力するウィンドウが表示されるため、オートパイロットの処理が止まってしまう。また、本機もスタンバイ状態にすることができなくなってしまいます。

・「パスワードの保存」→ 前述の「利用環境を設定する」の「各接続先のユーザー名とパスワードを設定する」

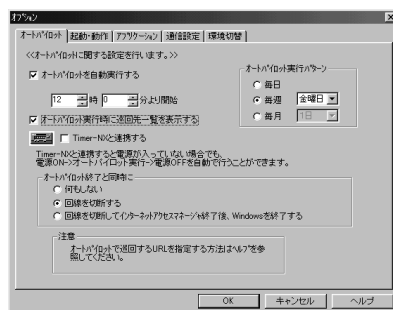
「インターネットアクセスマネージャ」のメニューバーで「表示」→「オプション」をクリック。
「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。

「オートパイロットを自動実行する」にチェックマークを付ける。

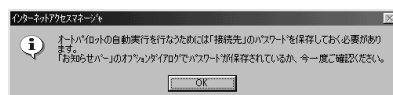
「Timer-NXと連携する」にチェックマークを付ける。

自動実行を開始する時刻を設定する。
24 時間形式 (0:00 ~ 23:59) で設定します。
(例 12:00)

「オートパイロット実行パターン」を設定する。
(例 毎週・金曜日)

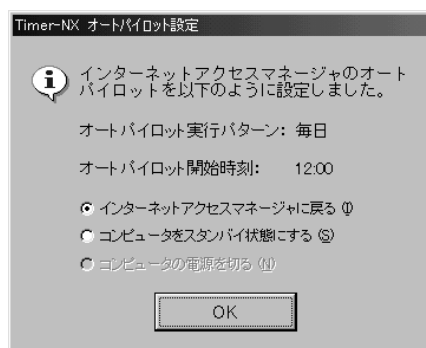


「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



「OK」をクリック。
「接続に失敗した場合、電源のOFFは行われません。パスワードの保存の設定をすることをお勧めします。」と表示されます。

「OK」をクリック。
次のメッセージが表示され、「Timer-NX」の設定が完了したことを示します。



次のどちらかを選んで「OK」をクリック。

- ・インターネットアクセスマネージャに戻る
- ・コンピュータをスタンバイ状態にする

これで設定は完了です。本機をスタンバイ状態にしておくと、指定された時間に、本機が自動的にスタンバイ状態から復帰して、インターネットアクセスマネージャが起動され、オートパイロットが実行されます。

・「設定」→「起動 / 動作」タブで「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で設定されている内容とは関係なく、起動と同時に回線を接続し、オートパイロットを開始します。

・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は、「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、本機をスタンバイ状態にします。

・「Timer-NX」と連携しない場合は、「オートパイロット終了と同時に」、「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」の動作は表示されている設定通り動作します。

・「Timer-NX」と連携してオートパイロット終了後にスタンバイ状態になるように設定しても、オートパイロット開始から 5 分以上経過しないと、オートパイロットを終了して自動的にスタンバイ状態になりません。

■ 時間指定するとき、およびTimer-NXと連携するときの注意

ここでは、時間指定をしてオートパイロットをするときの注意事項を説明します。オートパイロットについての全般的な注意事項については、前述の「オートパイロットを使用するときの注意」をご覧ください。

・本機能が動作する時刻はWindows 98のシステム時計の時刻に依存しています。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。

参照

システム時計の確認→前述の「利用環境を設定する」の「システム時計を確認する」

・時間指定で動作するほかのプログラムを使用しているときは、指定の時間が重ならないように注意してください。

・「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で「回線を接続して、オートパイロットを開始する」を設定し、かつ、「オートパイロット終了と同時に」で「回線を切断してインターネットアクセスマネージャを終了する」の設定をした場合に、オートパイロット結果を確認するときは次の通りに操作してください。

「インターネットアクセスマネージャ」が起動し、オートパイロットの自動実行が開始されるまでの間にダイアログボックスが表示され、オートパイロットが実行されるまで30秒間カウントダウンを行います。ここで「中止」ボタンをクリックします。その後、「オートパイロットの基本的な使い方」以降を参考にしてダウンロードしたURLの内容を見ます。

・必ずパスワードを保存してください。保存しないと処理が途中で止まってしまい、オートパイロット実行とスタンバイ状態にすることができません。

参照

パスワードの保存方法→本項の「利用環境を設定する」の「各接続先のユーザー名とパスワードを設定する」

・自動実行の設定がすんだら、事前に一度、一連の「自動実行動作（スタンバイ状態からの復帰、インターネットアクセスマネージャの起動、回線の接続、オートパイロットの実行）」ができるかどうかを必ず確認してください。「オートパイロット実行中」の画面が表示されればOKです。確認を終了するときは「中止」ボタンをクリックします。

・夜間に自動実行を行う場合は夜間に自動的にスタンバイ状態から復帰しますので、安全に使用するために、本機に添付のマニュアルの使用上の注意事項を必ずひと通りお読みください。

オフラインホームページシアター

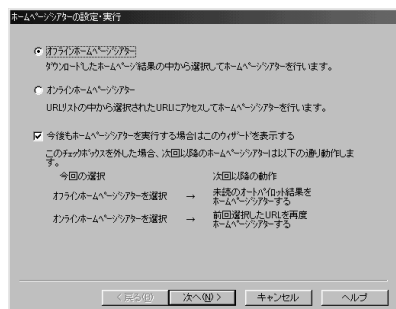
オフラインホームページシアターを使うと、オートパイロット機能で自動ダウンロードしたホームページを次々とシアタービューに自動表示して見ることができます。オートパイロットのしかたは、前述の「オートパイロット機能」をご覧ください。

オートパイロットを行う。

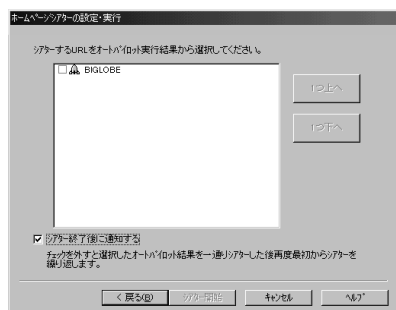
オフラインホームページシアターを行うには、あらかじめオートパイロットを実行しておく必要があります。



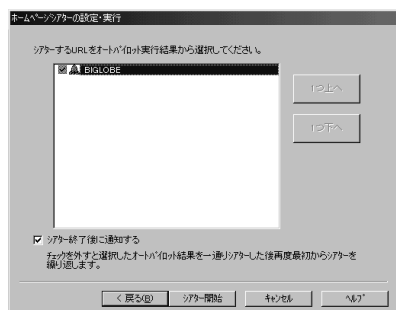
「シアター」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「オフラインホームページシアター」を選択して「次へ」をクリック。



シアター表示するオートパイロット結果をチェックして、「シアター開始」をクリック。



シアタービューのウィンドウが表示され、選択したオートパイロット結果が自動的に縦スクロールされ順次表示されます。

チェック!

シアタービューのウィンドウの横スクロール動作は自動的にはいけません。ウィンドウの幅を調節して横の幅がすべて表示されるように調節してください。

リアルタイム料金計算

インターネット接続中に、プロバイダと電話のおおよその使用時間・使用料金が「お知らせバー」に表示されます。

インターネットに接続する

ブラウザなどからインターネットに接続する。
接続が完了すると、「お知らせバー」が表示されます。



(お知らせバー)

電話・プロバイダの使用料金を見る

今回 / 今月 / 残量) ボタンをクリック。



今回や今月の接続料金を見ることができます。また、BIGLOBEのように、「月XX時間までは基本料金XX円、それ以降はXX円/分」といった料金体系のプロバイダに加入している場合は基本料金の残金を見こともできます。

チェック!

表示される料金は目安であり、実際に請求される金額とは完全には一致しません。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

インターネットを切断する

切断) ボタンをクリック。



インターネット接続が終了し、しばらくすると、「お知らせバー」が消えます。

チェック!

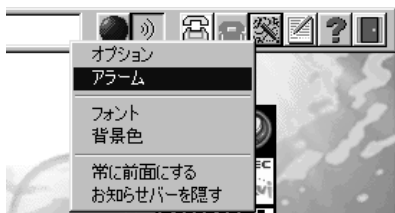
・「お知らせバー」は、インターネットに接続すると同時に表示され、切断後、約10秒で消えます。切断してから「お知らせバー」が消えるまでの秒数や「お知らせバー」の表示 / 非表示の設定は「いま、いくら? - オプション」ウィンドウの「表示設定」タブで行えます。「いま、いくら? - オプション」ウィンドウは、「お知らせバー」の「各種設定」ボタンをクリックし、「オプション」をクリックすると表示されます。

- ・画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にあるを右クリックし、「いま、いくら?」を開く」をクリックして「お知らせバー」を表示することもできます。

設定した時間・料金を超えたとき、アラームを表示させる

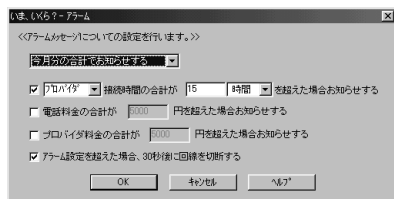
あらかじめ設定した時間や料金を超えるとアラームを表示するため、アラームが出るまでの間は時間や料金を気にしないでインターネットを利用できます。

「お知らせバー」の「設定」→「アラーム」をクリック。



「いま、いくら? - アラーム」ウィンドウが表示されます。

お知らせする条件や、アラーム設定を超えた場合に回線を切断する設定などを行います。



アラームを使用するときの注意

- ・表示されるアラームは、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している時間・料金に基づいて表示していますが、これらの時間・料金はおよその目安です。実際の電話会社・プロバイダからの請求料金とは誤差が生じる可能性があります。
- ・電話料金はインターネット接続以外にも、通常の電話で使用されている場合がありますので、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金と実際に請求される料金が異なる場合がありますので、注意してください。また、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金は、基本料金・プッシュホン回線使用料は含みません。
- ・オートパイロット実行中はあらかじめ設定した時間もしくは料金を越えてもアラーム表示は行いません。オートパイロット終了後、次の回線接続時にアラーム表示を行います。

接続時間・料金管理

利用明細を見る

インターネット利用頻度が高い方のためには、その月にかかる電話料金やプロバイダ料金を概算する「接続管理」機能が便利です。あらかじめ設定された料金体系に基づいて、電話料金・プロバイダ料金を自動的に計算してくれます。

「お知らせバー」の (利用明細) ボタンをクリック。



次の画面が表示されます。



1日分、あるいは1ヶ月分の接続時間や接続料金などを見ることができます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

複数人で利用する

「インターネットアクセスマネージャ」では、家族で1台のパソコンを共有して使っていても複数人、複数プロバイダで利用することができます。さらに、接続時間・料金も個人毎(使用者毎)に管理することができます。

また、BIGLOBEの提供する「家族会員サービス」にも対応しています。BIGLOBE「家族会員サービス」は家族のひとりひとりがIDやメールアドレスを持つことのできるサービスです。個人のメールのプライバシーを守ることができます。家族で1台のパソコンを使っている場合、「インターネットアクセスマネージャ」を使えば家族会員の使用した時間や料金の合計を見ることができます。

「家族会員サービス」に関する設定方法や使用方法については、「インターネットアクセスマネージャ」のオンラインヘルプをご覧ください。

ホームページの URL を簡単に 入力する Hatch inside

「Hatch inside(ハッチ インサイド)」を使うと、長いURL(ホームページのアドレス)を数字で簡単に入力することができます。

概要

「Hatch inside」はURLをWWWブラウザのアドレス欄に入力するわずらわしさを軽減するツールです。使い方は、「Hatch inside」を起動している状態で、WWWブラウザのアドレス欄に、直接、インターネット番号やオプションで登録した短縮記号を入力するだけです。ホームページにアクセスする手続きがまるで電話のように簡単になります。

(例 Yahoo! JAPAN のホームページにアクセスする場合)



Hatch inside なら“01”(Yahoo! JAPAN のインターネット番号)と入力するだけでホームページにアクセスできます。

使用する前に

ここでは、「Hatch inside」の基本的な使い方について説明します。

「Hatch inside」をお使いになるときは、このマニュアルのほかにリードミーファイル、オンラインヘルプをご覧ください。リードミーファイルは、「スタート」→「プログラム」→「Hatch inside」→「Readme.txt」でご覧になれます。またオンラインヘルプは、インターネットに接続した状態で「Hatch inside」が起動しているときに表示されます)をクリックし、サブメニューから「ハッチインサイドヘルプ」をクリックするとご覧になれます。

インターネット番号とは

「Hatch inside」で入力する数字のことを“インターネット番号”といいます。“インターネット番号”は、インターネット上にあるハッチサーバにあらかじめ登録されており、WWW ブラウザで数字を入力すると、Hatch inside が起動し、ハッチサーバが自動的にURLに変換してくれる仕組みになっています。

チェック!

「Hatch inside」およびインターネット番号は、ディアン ド アイ システムズ株式会社が提供するサービスです。

URL を数字で入力する

「Hatch inside」は、「Internet Explorer」などのWWWブラウザと一緒に使います。

URL を数字で入力する

インターネットに接続して、WWWブラウザを起動する。

「アドレス」欄にインターネット番号を入力し【Enter】を押す。

(例“888”(ハッチのホームページのインターネット番号)を入力)



入力したインターネット番号が自動的にURLに変換され、対象のホームページが表示されます(手順の例ではハッチのホームページが表示されます)。



ハッチのホームページには、インフォメーション(ハッチサービスの紹介)のほか、番号検索、番号登録などの情報があります。インフォメーションのページをお読みにになり、ご利用ください。

インターネット番号を調べる

インターネット番号はハッチのホームページ(インターネット番号:888または、URL:http://www.hatch.co.jp/)で知ることができます。インターネット番号は変更されることがありますので、最新の情報はハッチのホームページでご確認ください。

短縮記号を登録する

ハッチサーバに登録されていないホームページや、長いインターネット番号のホームページには、短縮記号を登録することができます。ちょうど電話の短縮番号のようなものです。

あなたのお気に入りのホームページを短縮記号登録することで、短縮記号を使って簡単にホームページにアクセスできるようになります。短縮記号は最大100件まで登録できます。

購入時の状態では以下の8件の短縮記号が登録されています。

短縮記号	タイトル
980	BIGLOBE
981	Web Shop
982	CYBER PLAZA
983	NETPLAZA TOP PAGE
np	NETPLAZA ダイレクト検索
ac	あちら ダイレクト検索
ej	エキサイトJapan ダイレクト検索
yj	Yahoo!Japan ダイレクト検索

チェック!!

・短縮記号に登録されているホームページを見るには、WWWブラウザのアドレス欄に、短縮記号の前に“*”をつけて入力します(“*”は短縮記号の利用を表します)。

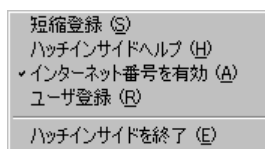
(例 短縮記号“980”のホームページを見るには、WWWブラウザのアドレス欄に“*980”と入力)



・ダイレクト検索の短縮記号を使用するときは、短縮記号の後ろに検索するキーワードを入力します。

(例 NETPLAZA ダイレクト検索でキーワード“パソコン”を検索するには、WWWブラウザのアドレス欄に“*np パソコン”と入力)

画面右下のをクリック。サブメニューが表示されます。



「短縮登録」をクリック。

「短縮記号一覧」ウィンドウが表示されます。



「追加」をクリック。

「短縮記号の追加」ウィンドウが表示されます。

現在アクティブなブラウザのタイトルとURLが取り込まれて表示されます。(例 インターネットチュータ/スタートページをブラウザで表示していた場合)

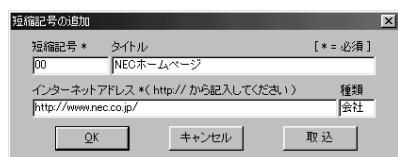


✓チェック!!

「短縮記号の追加」ウィンドウは、 を右クリックして表示することもできます。

短縮記号、タイトル、インターネットアドレス、種類を入力する。

(例 NECのホームページを短縮記号"00"、タイトル"NECホームページ"、URL"http://www.nec.co.jp/"、種類"会社"として入力)



✓チェック!!

- 短縮記号には、半角の英数字とハイフンのみが可能です。最大 8 文字まで入力できます。
- タイトルには、全角で最大 20 文字まで入力できます。自分で覚えやすいタイトルを付けることをおすすめします。
- インターネットアドレスには、URL を http:// から始めてすべて入力してください。また、あらかじめハッチサーバに登録されているホームページの場合は、インターネット番号を入力することもできます。この場合は、入力欄の"http://"を削除してから入力してください。
- 「取込」をクリックすると、現在アクティブなブラウザのタイトルと URL を取り込むことができます。
- 種類は、例えば「検索」、「趣味」、「仕事」などのように、整理しやすいように設定できます。全角 4 文字、半角 8 文字まで入力できます。登録後に短縮番号を並べ替える場合に利用すると便利です。

「OK」をクリック。

入力した内容が登録され、「短縮記号一覧」ウィンドウに登録内容が表示されます。



✓チェック!!

「短縮記号一覧」ウィンドウで、登録内容の上の「短縮記号」「タイトル」「アドレス」「種類」をクリックすると、それぞれの項目の順に登録内容を並べ替えることができます。

短縮記号を変更する

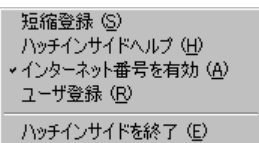
登録済みの短縮記号の内容を変更したい場合は、短縮記号一覧の中から変更したい短縮記号を選択して「変更」をクリックします。変更画面が表示されたら変更したい項目の内容を修正して「OK」をクリックしてください。

短縮記号を削除する

登録済みの短縮記号を削除したい場合は、短縮記号一覧の中から削除したい短縮記号を選択して「削除」をクリックします。確認画面が表示され「OK」をクリックすると削除されます。

サブメニューについて

画面右下の をクリックすると出てくるサブメニューについて説明します。



- 短縮登録
短縮記号の登録、変更、削除ができます。詳細は前の項目をご覧ください。
- ハッチインサイドヘルプ
ブラウザが起動され、プロバイダ等を介してハッチのサイトに接続し、ハッチのサイトにあるヘルプを表示します。ハッチに関する最新の情報などを見ることができます。
- インターネット番号を有効
「Hatch inside」の機能を有効または無効に切り替えることができます。チェックマークがついているときは有効の状態です。チェックマークがついていないときは「Hatch inside」の機能は無効となり、インターネット番号によるアクセスはできません。

- ・ユーザ登録

ブラウザが起動され、ディ アンド アイ システムズ株式会社が運営するハッチのユーザ登録のページを表示します。必要に応じて、ディ アンド アイ システムズ株式会社にユーザ登録をすることができます。

- ・ハッチインサイドを終了

「Hatch inside」を終了します。再び起動する場合は「スタート」→「プログラム」→「Hatch inside」→「hatchinside.exe」の順にクリックしてください。

ホームページの整理

ホームページスクラップブック

「ホームページスクラップブック」を使うと、インターネットのホームページ上から欲しい部分だけ切り取って、保存／整理できます。また、整理した内容は最新の情報に更新できます。

概要

ホームページスクラップブックは、インターネットをより便利に有効利用するための、ホームページ収集・活用ツールです。

ホームページスクラップブックには次のような機能があります。

- ・ホームページの収集・保存
ホームページを簡単に収集・保存することができます。
全ページだけでなく、画像データだけなど、必要な部分だけでも保存できます。
また、リンクなどの機能もそのまま利用できます。
- ・保存したホームページの整理
ジャンル別に分類し直したり、整理し直したりできます。また、まだ見ていないページだけを集めたり、フロッピーディスクなどに書き出したりもできます。
- ・保存したホームページを最新の情報に更新
保存したページは最新の状態に更新することができます。新聞など毎日更新されるようなホームページも、設定すれば、自動的に最新の状態にすることができます。

・保存したホームページの利用
保存したページを自動表示(オートシアター機能)したり、付箋をつけたり、検索したりできます。

・保存したページのデータを他のアプリケーションへ利用
画像データなどを、他のアプリケーションへドラッグアンドドロップで簡単に貼り付けて利用することができます。

具体的な利用シーンなど、詳しくはヘルプをご覧ください。

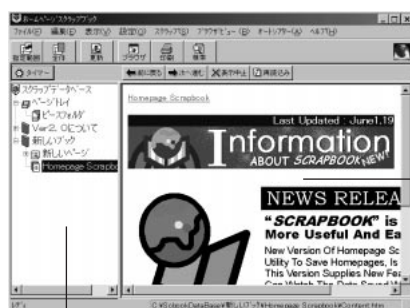
ヘルプは「ホームページスクラップブック」の「ヘルプ」メニューより「トピックの検索」をクリックすることで起動できます。

チェック!!

・ホームページを保存する際、ホームページのつくりによっては、指定範囲および全体を保存できないことがあります。また、ホームページ上で使用している追加モジュールの種類によっては、保存後に表示できない場合があります。

・ツリービューとは、「ホームページスクラップブック」の左側フレームのことです。スクラップした情報をブック、スクラップページの順に階層化して、エクスプローラ風にツリー表示します。

・ブラウザビューとは、「ホームページスクラップブック」の右側フレームのことです。スクラップした情報はブラウザビューに表示して閲覧できます。



ツリービュー

ブラウザビュー

使用する前に

環境設定

■ 本機の設定

「ホームページスクラップブック」を使用するためには、「ValueStar-NX を使う準備をする」が実行されている必要があります。『STEP 1 接続と準備』の「ValueStarの設定を行う」が実行されていることを確認してください。

■ インターネット接続環境の設定

「ホームページスクラップブック」を使用するためには、インターネット接続環境が必要です。使用前に、インターネットに接続できるように設定してください。



参照

・インターネットへの接続→『インターネット入門』

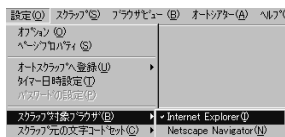
■ Internet Explorer の環境設定

必ず「Internet Explorer」を使ってホームページにアクセスできることを確認してください。「ホームページスクラップブック」は、「Internet Explorer」の通信設定を読みこんで動作するため、「Internet Explorer」の通信設定が正しく行われていないと、正しく動作しません。

連携をとるブラウザの設定

「ホームページスクラップブック」は、ブラウザと連携をとって動作します。「Internet Explorer 3.0」以上、および「Netscape Navigator 3.0」以上が使用できます。

「ホームページスクラップブック」の「設定」メニューの「スクラップ対象ブラウザ」で、使用するブラウザが設定されていることを確認してください。



この設定が正しく行われていないと、正常に動作しません。

■ その他の注意

ここでは、「ホームページスクラップブック」の基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていない使い方については、「ホームページスクラップブック」のオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは、「ホームページスクラップブック」の「ヘルプ」メニューの「トピックの検索」をクリックすると表示されます。

なお、オンラインヘルプの「ご利用にあたっての注意事項」には、各機能を使用する上での必要な注意事項が記載されています。使用する前に必ずお読みください。

ホームページを切り取って保存する

ここではホームページ全体を切り取る方法とホームページの一部を切り取る方法について説明します。

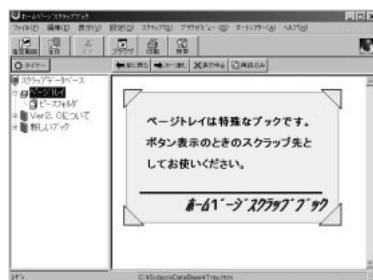
■ ホームページ全体を切り取る

インターネットに接続して、WWW ブラウザを起動し、切り取りたい情報があるホームページを表示する。



「ホームページスクラップブック」を起動する。

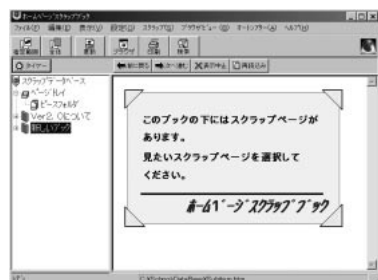
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「ホームページスクラップブック」または「スタート」→「プログラム」→「ホームページスクラップブック」→「ホームページスクラップブック」)



「ホームページスクラップブック」のツリービューにてブックを指定する。

切り取ったデータを貼り付けるブックを指定します。ツリービューにて「新しいブック」をクリックしてください。

貼り付けるブックは、「ファイル」メニューの「新規作成」で新規に作成することができます。



「ホームページスクラップブック」の  (全体をスクラップ)をクリック。

切り取りが終わると「スクラップのプレビュー」ウィンドウが表示されます。



「OK」をクリック。

切り取ったデータの保存の完了です。

完了すると、次のような画面になり、保存したページが表示されます。



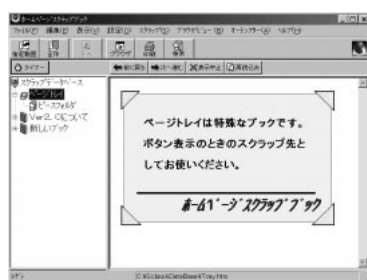
■ ホームページの一部分を切り取る

インターネットに接続して、WWWブラウザを起動し、切り取りたい情報があるホームページを表示する。



「ホームページスクラップブック」を起動する。

(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ホームページスクラップブック」または「スタート」→「プログラム」→「ホームページスクラップブック」→「ホームページスクラップブック」)



WWWブラウザ上で切り取りたい部分をマウスで指定する。

指定された範囲が反転表示になります。



✓ チェック!!

反転表示されるのは、テキスト部分だけなので、切り取る範囲の先頭と終わりは必ずテキストでなければなりません。たとえば上の画面で、左端の画像をスクラップしたいときは、その前後のテキスト(文字列)を含めて反転表示にすることが必要です。

「ホームページスクラップブック」のツリービューにてスクラップページを指定する。
切り取ったデータを貼り付けるスクラップページを指定します。ツリービューにて「新しいブック」の下にある「新しいページ」をクリックしてください。
貼り付けるスクラップページは、「ファイル」メニューの「新規作成」で新規に作成することができます。



「ホームページスクラップブック」の「指定範囲をスクラップ」をクリック。
切り取りが終わると「スクラップのプレビュー」ウィンドウが表示されます。



「OK」をクリック。
切り取ったデータの保存の完了です。
完了すると、次のような画面になり、保存したページが表示されます。

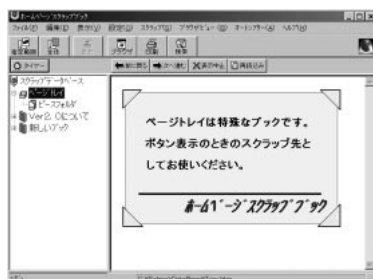


スクラップページを最新情報に更新する

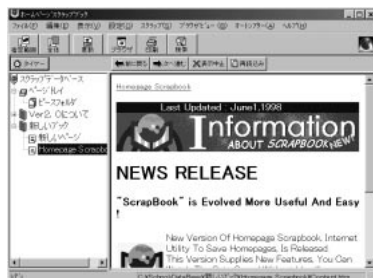
保存した情報を最新のものに更新することができます。

インターネットに接続する。

「ホームページスクラップブック」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「ホームページスクラップブック」または「スタート」→「プログラム」→「ホームページスクラップブック」→「ホームページスクラップブック」）

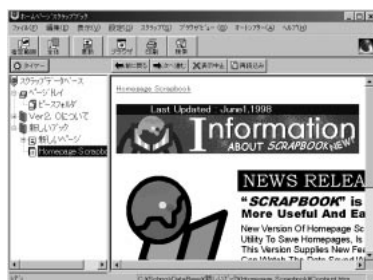


更新したいページを表示する。
「ホームページスクラップブック」のツリービューにて更新したいページをクリックします。



「ホームページスクラップ」の「更新」(スクラップページの更新)をクリック。
更新が始まります。
更新が完了すると「更新結果」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリックする。
スクラップページの内容が最新情報に更新されます。



チェック!!

数時間毎に更新される新聞社のホームページや天気予報でお試しになると、更新結果の違いがよくわかります。

ホームページを 作成する

FrontPage Express

自分のホームページを作成して、インターネットに公開することが簡単にできます。世界に向けて、情報を発信してみましょう。

概要

インターネットを見ていると、楽しそうなホームページがたくさんあります。自分のホームページを作ってみたいと思っている人も多いでしょう。FrontPage Express を使えばホームページが簡単に作成できます。また、インターネットに接続するときに利用しているプロバイダが、個人のホームページ用にサーバーの一部を無料で貸してくれることもあります。このようなサービスを利用すれば、気軽にホームページを持つことができます。

ホームページの作成の流れは大まかにいえば、次のようになります。

ホームページで使用する画像を準備する。



「FrontPage Express」を起動する。



文章を入力し、画像を「FrontPage Express」に取り込む。



レイアウトを決める。



リンクを張る(→「リンクを張る」参照)。



ホームページを公開する(→「ホームページを公開する」)。

ホームページの作成

ここでは、例として「クリオ」という名前の愛犬のホームページを作ってみましょう。



準備

まず、必要なものを準備します。クリオの写真はデジタルカメラで撮影して、画像データにしておきます。また、ホームページを飾る背景も画像データとして用意します。背景のような画像データは、もちろん自分で作成できますが、雑誌や本の付録などにある「素材集」を利用することもできます。

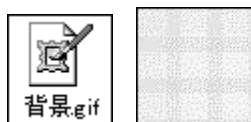
✓チェック!!

画像データの形式にはいろいろありますが、ホームページでは容量が小さい「JPEG」あるいは「GIF」形式のデータが適しています。

■ クリオのファイル



■ 背景のファイル



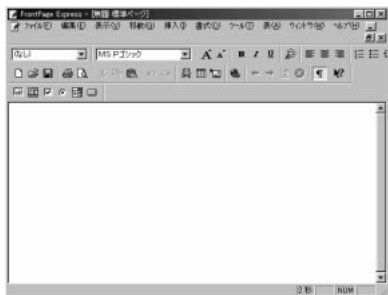
この2つのファイルを、材料をまとめておくフォルダを作成して、そこにまとめておきましょう(例:デスクトップ上に「ホームページ」というフォルダを作成)。



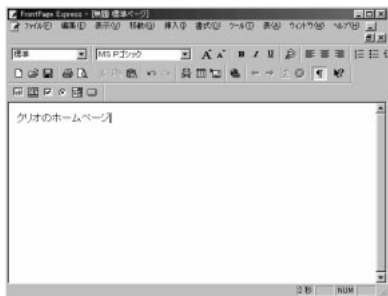
作成手順

「FrontPage Express」を使って、ホームページを作成してみます。画像データなどの材料はデスクトップの「ホームページ」というフォルダにまとめておきます。また、最後は作成したホームページを、同じフォルダに保存しておきましょう。ここでの作成例は、非常に簡単なものですが、基本的には同じ方法で、いくらでも凝ったホームページを作成できます。

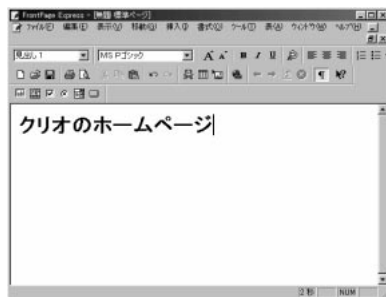
「FrontPage Express」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「Frontpage Express ホームページ作成」または「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」→「FrontPage Express」)
 「Frontpage Express」の初期画面が表示されます。



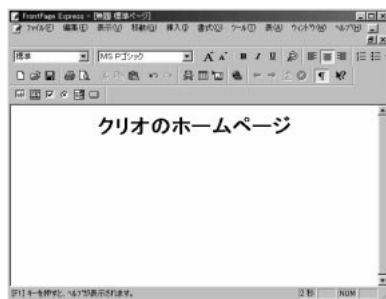
見出しの文を入力する。
 (例:「クリオのホームページ」と入力)



文字のサイズを大きくする。
 「標準」の欄の右にある「▼」をクリックしてプルダウンメニューを表示して選びます。
 (例:「見出し1」をクリック)



文字を中央に揃える。
 ウィンドウ右上の「中央に配置」アイコンをクリックして「Enter」キーを押します。



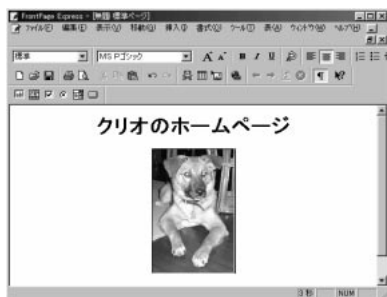
「挿入」→「画像」をクリック。
 「画像」ウィンドウが表示されます。



「参照」をクリックして「ホームページ」のフォルダを開く。



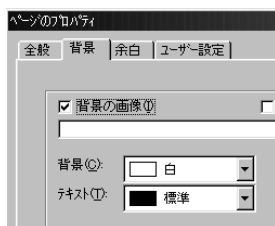
「クリオ」のファイルを開く。
「クリオ」の画像が取り込まれます。



「書式」→「背景」をクリック。
「ページのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「背景」タブの左上の「背景の画像」にチェックマークを付ける。



「背景」タブの「参照」をクリック。
「背景画像の選択」ウィンドウが表示されます。



「参照」をクリックして「ホームページ」フォルダを表示する。



「背景」ファイルを開く。
「ページのプロパティ」ウィンドウに戻ります。



「OK」をクリック。
「背景」が取り込まれ、「クリオのホームページ」が完成しました。



「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック。
「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



「ファイルとして保存」をクリックして、「ホームページ」のフォルダを表示する。



ファイルの名前を入力する。
(例:「クリオ」という名前を付ける)



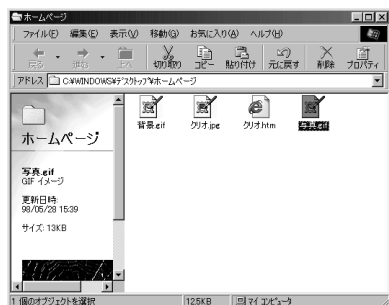
「保存」をクリック。
これで「ホームページ」フォルダに保存できました。
「画像をファイルに保存」のメッセージが表示されたら
「はい」を選択してください。

リンクを張る

ホームページで、ディスプレイに一度に表示できるスペースは限られています。そこで、ホームページにはタイトルだけを表示して、その内容は別の場所に作っておいて、タイトルをクリックすればすぐにそのページが表示できるような仕組みを利用します。これをリンクと呼び、リンクの仕組みを使うことを「リンクを張る」などと表現します。インターネット上のホームページであれば、どこでもリンクを張ることができますが、ここでは「クリオのプロフィール」というリンクを作って、「クリオのホームページ」からリンクさせてみましょう。

準備

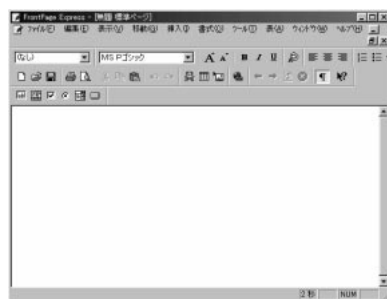
「クリオのプロフィール」というリンクを張るホームページで使う画像ファイル(「写真.gif」)を「ホームページ」フォルダ(材料などをまとめておくために、便宜的にデスクトップ上に作成したフォルダ)に入れておきます。



作成手順

先ほど、作成した「クリオ」というホームページを開き、そこから他のホームページにリンクを張ってみます。

「FrontPage Express」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「Frontpage Express ホームページ作成」または「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」→「FrontPage Express」)
「Frontpage Express」の初期画面が表示されます。



「ファイル」→「開く」をクリック。
「ファイルを開く」ウィンドウが表示されます。

「参照」をクリックして、「ホームページ」フォルダを表示する。



「クリオ」を開く。
「クリオ」のホームページが表示されます。



カーソルを、リンク先のタイトルを入力する場所に移動する。

(例: 写真の下に作成する。)



「編集」→「ハイパーリンク」をクリック。
「ハイパーリンクの作成」ウィンドウが表示されます。

「新しいページ」タブをクリック。

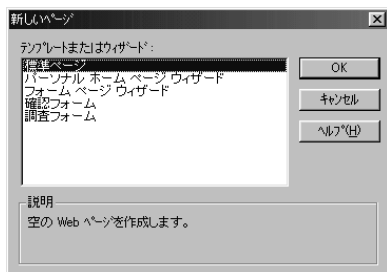
「ページタイトル」と「ページ URL」を入力する。
(例: 「ページタイトル」は「クリオのプロフィール」、
「ページ URL」は「profile.htm」)



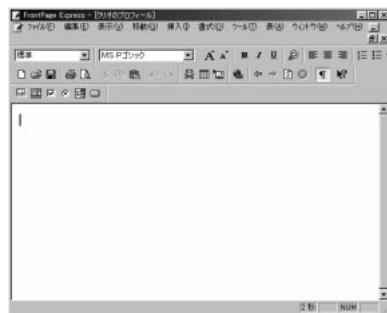
✓チェック!

「ページタイトル」は実際にホームページの上部に表示されるタイトルです。「ページ URL」とは、ホームページの住所(アドレス)に相当するものです。

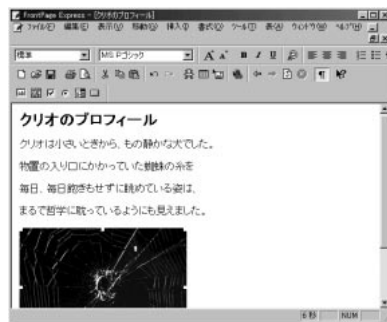
「OK」をクリック。
「新しいページ」ウィンドウが表示されます。



「標準ページ」を選んで、「OK」をクリック。
リンクページを作成する画面が表示されます。



リンク先のホームページを作成する。
(→「ホームページの作成」参照)



「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック。
「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



「ファイルとして保存」をクリック。
「ファイルとして保存」ウィンドウが表示されます。

ファイル名を入力する。
(手順と同じ「Profile.htm」を入力)



▼チェック!!

ここで入力するファイル名を、手順 と同じファイル名(Profile.htm)にしないと、リンクされません。

「保存」をクリックして「クリオのプロフィール」を開じます。



リンクを張ったファイルを保存する。
(→ 「ホームページの作成」参照)
(例 : 「クリオ(リンク付き)」として保存)
「クリオ(リンク付き)」という名前で保存されます。

■ リンクの確認

リンクを張ったホームページで、実際にリンク機能が働くかどうかを確認しましょう。

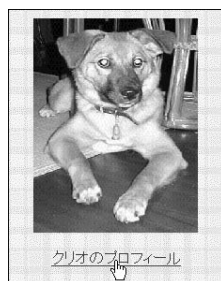
「ホームページ」フォルダを開く。



「クリオ(リンク付き)」をダブルクリック。
「クリオ(リンク付き)」のホームページがブラウザソフトで表示されます。



「クリオのプロフィール」をポイントする。
カーソルが指の形に変わることを確認します。



「クリオのプロフィール」をクリック。
リンク先のページが表示されることを確認します。



ホームページを公開する

ホームページが完成したら、今度はそれをインターネットに公開してみましょう。公開することによって、世界中の人々に自分のホームページを見てもらえることができるのです。ホームページを公開するには、プロバイダからそのスペースを借りる方法が一般的です。たとえば「容量が5Mバイトまでは無料」などというサービスを行っているプロバイダもあります。このようなサービスを上手に利用すれば経済的です。

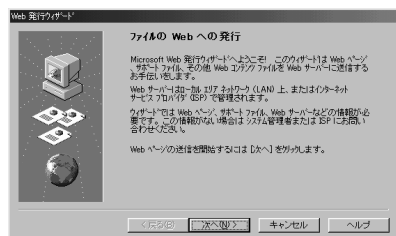
WWWに情報を発行するには、すべての Web ページを Web サーバーに置く必要があります。ほとんどのインターネットサービスプロバイダ (ISP) は顧客が Web ページを送信するための Web ホストサービスを提供しています。Microsoft Web 発行ウィザードを使用すると、インターネットサービスプロバイダの Web サーバーやローカルエリアネットワーク (LAN) 上の Web サーバーに、個人の Web ページを簡単に転送できます。ウィザードを使ってファイルを送信する前に、インターネットサービスプロバイダに接続しておく必要があります。

ウィザードを使用する前に、以下の点を確認してください。

- ・インターネットサービスプロバイダへの接続
- ・サービスプロバイダが使用しているプロトコル (FTP、HTTP Post、CRS など)
- ・ファイルの送信に使用する Web サーバーの URL (Uniform Resource Locator)
- ・ファイルを送信するサーバー上のフォルダ名

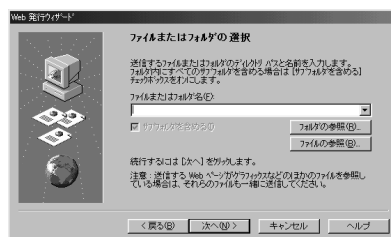
「Web 発行ウィザード」を起動する。

「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」→「Web 発行ウィザード」またはファイルを右クリックして、「送る」→「Web 発行ウィザード」をクリック。「Web 発行ウィザード」の画面が表示されます。



「ファイルの Web への発行」画面が表示されたら「次へ」をクリック。

「フォルダの参照」または「ファイルの参照」をクリックし、ポストするフォルダまたはファイルを選択して「開く」または「OK」をクリック。



✓チェック!

送信するファイルに、.gif ファイル、.jpg ファイル、.htm ファイルなど、ほかのファイルへの参照が含まれている場合は、それらのファイルと一緒に Web サーバーに送信してください。

フォルダを送信すると、フォルダに含まれるすべてのファイルが送信されます。

「次へ」をクリック。

Web サーバーを選択する。

「登録名」ボックスに Web サーバーの名前を入力します。「Web サーバー名」ボックスの一覧からフォルダまたはファイルの送信先となる Web サーバーの名前を選択します。



「詳細設定」をクリック。

サービスを選択する。

「サービス」の一覧でサービスの名前をクリックします。

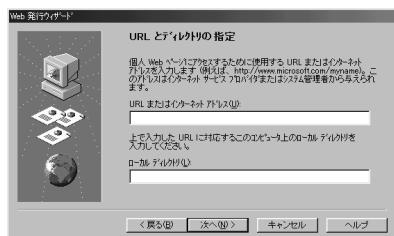


「次へ」をクリック。

URL とディレクトリを指定する。

「URL またはインターネットアドレス」ボックスに、ファイルを送信する Web サーバーのインターネットアドレスを入力します。

「ローカル ディレクトリ」ボックスに、指定した URL と関連付けるローカルコンピュータ上のファイルのパスを入力します。



「次へ」をクリック。

画面に従って必要な情報を入力し、最後に「完了」をクリック。

さまざまな 通信サービス

本機で「AOL」、「NIFTY SERVE」に接続するための設定方法について説明します。

概要

各サービスの会員となることで、各サービス独自のサービスを受けることができます。「AOL」、「NIFTY SERVE」は、いずれもインターネット接続サービスおよびパソコン通信サービスで、電子メールやオンラインショッピング、仕事や趣味の共通の話題について話し合える「フォーラム」などのサービスを提供しています。本機には、それぞれの専用の接続ソフトが添付されていますので、各サービス会社と契約の上、簡単にサービスを利用することができます。

■ インターネット接続サービスおよびパソコン通信を利用する前に

パソコン通信をする前に、本機のFAXモデムボードと電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。

 参照

・電話回線との接続 → 『STEP1 接続と準備』PART2
「電話回線に接続する」

AOL を利用する

インターネット接続サービスおよびパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」のサービスを利用する場合は、「ランチ-NX」や「スタート」メニューに登録されている「AOLで簡単インターネット」を使います。

AOLは世界最大級のインターネット・オンライン・サービスです。

仕事に役立つ各種のニュースや映画や音楽などのエンターテインメント情報、旅行の情報やオンラインショッピングまで、さまざまなコンテンツが提供されています。

また、電子メールはもちろん、AOL独自のコミュニケーション機能が用意されていて、AOLメンバー間でメッセージをやりとりできます。

専用の通信ソフトを使えば、初心者の方もかんたんにAOLにアクセスして、各種コンテンツやコミュニケーション機能を楽しむことができます。

入会手続き(サインアップ)

はじめてAOL(アメリカ・オンライン)を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、AOL(アメリカ・オンライン)の会員になる必要があります。

「AOLで簡単インターネット」で入会手続きができます。

 参照

・入会方法 → 『AOL ハンドブック』

✓チェック!!

「オンラインサービス」フォルダにある「AOL」は利用しないでください。本機専用の特典(利用料金の割引きなど)を受けられない場合があります。「AOLで簡単インターネット」で入会手続きをしてください。

NIFTY SERVE を利用する

インターネット接続サービスおよびパソコン通信サービス「NIFTY SERVE」のサービスを利用する場合は、「ニフティサーブでインターネット」を使います。

✓チェック!!

「ニフティサーブでインターネット」を利用する場合は、「ニフティサーブへようこそ」からアプリケーションCD-ROMを使ってインストールする必要があります。

 参照

セットアップ方法 → PART3の「セットアップされていないアプリケーションの追加」

✓チェック!!

「オンラインサービス」フォルダにある「ニフティサーブへの入会」は利用しないでください。本機専用の特典(利用料金の割引きなど)を受けられない場合があります。

下記の手順を行うことをおすすめします。

■ 入会手続き(サインアップ)

はじめて「NIFTY SERVE」を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、「NIFTY SERVE」の会員になる必要があります。「ニフティサーブでインターネット」というソフトを使って、入会することができます。

 参照

・入会方法 → 『ニフティサーブ入会シート』

ダイヤルアップネットワーク

通常の電話回線とモデムを利用してインターネットに接続することを、ダイヤルアップ接続といいます。ダイヤルアップ接続を行うときに必要なソフトが「ダイヤルアップネットワーク」です。

既存のダイヤルアップネットワークの確認

ここでは、例として「BIGLOBE」という「ダイヤルアップネットワーク」の内容を確認してみます。BIGLOBEサインアップナビで入会申込を行った場合には、「BIGLOBE」アイコンが作成されます。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」)



「BIGLOBE」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



「プロパティ」をクリック。
「BIGLOBE」ウィンドウが表示されます。



表示されるモデムの名称は、お使いのモデルによって異なります。

ここでは、プロバイダへ接続するときの電話番号と、使用するモデムについて確認できます。

『インターネット入門』PART3の「BIGLOBEに入会する」、PART7の「すでにインターネットを利用している方へ」でインターネットの設定を行った方は、ここにその内容が表示されます。

上の画面で表示されている Fax モデム名はミニタワータイプの場合です。コンパクトタイプの場合は「NEC Fax Modem 56K Data + Fax(BUQ)」となります。

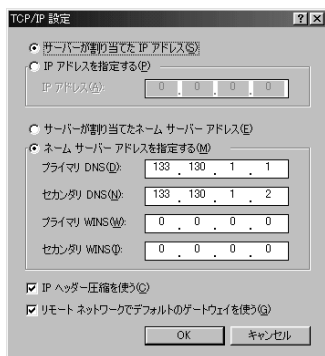
「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。



ここでは、次の確認ができます。

- ・「ダイヤルアップサーバーの種類」
「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」が選択されている。
- ・「使用できるネットワークプロトコル」
「TCP/IP」が選択されている。

「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでは、プロバイダによっては、IP アドレスやネームサーバーアドレスが設定されていることもあります。

以上で、「BIGLOBE」の内容が確認できました。

新しいダイヤルアップネットワークの作成

プロバイダによっては、接続するときに新しいダイヤルアップネットワークを作成する必要がある場合があります。新しくダイヤルアップネットワークを作成するには、次の手順を行ってください。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」)

チェック!!

はじめてダイヤルアップネットワークの設定をするときは「ダイヤルアップネットワークへようこそ」のウィンドウが表示されますので、「次へ」をクリックします。

手順 のウィンドウが表示されますので、手順 にすすんでください。



「新しい接続」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



「開く」をクリック。
「新しい接続」ウィンドウが表示されます。



表示されるモデムの名称は、お使いのモデルによって異なります。

「接続名」を入力する。
(例 NEC)



表示されるモデムの名称は、お使いのモデルによって異なります。

この名前は、ほかの「ダイヤルアップネットワーク」アイコンと区別するためですから、自分で覚えやすい名前を自由につけてかまいません。

モデムを変更したい場合は、「設定」をクリックします。

画面で表示されている Fax モデム名はミニタワータイプの場合です。コンパクトタイプの場合は「NEC Fax Modem 56K Data + Fax(BUQ)」となります。

「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



プロバイダへ接続するための電話番号を入力します。

「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」が作成されました。



「NEC」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



「プロパティ」をクリック。
「NEC」ウィンドウが表示されます。



表示されるモデムの名称は、お使いのモデルによって異なります。

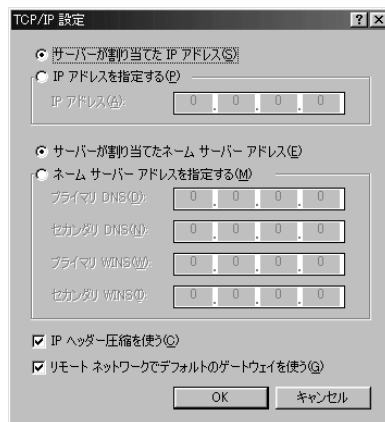
上の画面で表示されているFAX モデム名はミニタワータイプの場合です。コンパクトタイプの場合は、「NEC Fax Modem 56K Data + Fax (BUQ)」となります。

「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。



「ダイヤルアップサーバーの種類」「詳細オプション」「使用できるネットワークプロトコル」の設定を、プロバイダからの指示に従って行います。

「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでも、プロバイダの指示に従って設定を行います。

設定が完了したら、「OK」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」の作成 / 設定が完了しました。

テレフォニー

ダイヤルアップ接続を行うときに必要な所在地情報を管理する「テレフォニー」について説明します。

所在地情報の設定

ダイヤルアップ接続に必要な所在地情報を設定します。

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が起動します。



この画面は機種によって異なる場合があります。

「テレフォニー」をダブルクリック。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



次の内容を設定する。

- ・国 / 地域番号
「日本」が設定されていることを確認します。
- ・市外局番
本機を使っている場所の市外局番の先頭の「0」を除いた数字を入力します。
(例 東京 23 区内の場合、「3」を入力)
- ・外線発信番号
外線 / 内線の区別のある場所(会社や事務所など)で使用する場合、外線発信番号を入力します。
- ・ダイヤル方法
電話回線の種別を設定します。プッシュ回線の場合は「トーン」を、ダイヤル回線の場合は「パルス」を選んでください。わからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

「OK」をクリック。
所在地情報が設定されました。

所在地情報の確認

インターネットなどを使用して、ダイヤルアップ接続がうまくいかない場合は、次の手順で所在地情報を確認します。

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が起動します。



この画面は機種によって異なる場合があります。

「テレフォニー」をダブルクリック。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



このウィンドウで次のことを確認してください。

- ・市外局番

本機を使っている場所の市外局番の先頭の「0」を除いた数字が入力されていることを確認します。

(例 東京23区内の場合、「3」が入力されていることを確認)

- ・外線発信番号

外線/内線の区別のある場所(会社や事務所など)で使用する場合、外線発信番号が「市内通話」、「市外通話」の両方に入力されていることを確認します。

- ・ダイヤル方法

プッシュ回線の場合は「トーン」が、ダイヤル回線の場合は「パルス」が設定されていることを確認します。わからない場合は、NTTの「116」番に問い合わせてください。

「OK」をクリック。

P A R T

3

アプリケーションの追加と削除

-
- セットアップされていないアプリケーションの追加
 - アプリケーションの削除
 - 削除したアプリケーションの再追加

セットアップされていないアプリケーションの追加

本機には、あらかじめ、さまざまなアプリケーションがセットアップされていますが、それ以外にもセットアップされていないものがいくつかあります。それらを使用するときには、セットアップが必要です。

セットアップが必要なアプリケーションや機能

本機購入時にはセットアップされていないアプリケーションや機能のセットアップ方法を説明します。

ゲーム、DVD タイトル

次のゲームや DVD タイトルは、購入時は本機にセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- ・バーチャファイター 2
- ・AI 将棋
- ・グローバル ヘキサイト
- ・ソリティア デラックス
- ・競馬道 3
- ・宇宙戦艦ヤマト < DVD タイトル > (DVD-ROM モデルのみ)

 参照

ゲームの内容説明 →  「パソコン探検箱」 - 「VALUESTAR を楽しもう」 - 「ゲームを楽しむ」

購入時に使えないアプリケーションや機能

次のアプリケーションや機能は、購入時には本機にはセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- ・テキストリーダ
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・NIFTY MANAGER
- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ

また、Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 (Word モデルのみ) や一太郎 9 (一太郎モデルのみ) は、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。詳しくは、後述の「Excel&Word&Outlookの機能をフルに使う(Word モデルのみ)」もしくは「一太郎 9 パックの機能をフルに使う(一太郎モデルのみ)」をご覧ください。

セットアップする前に

セットアップする機能の概要を説明します。セットアップする前に、必要なことを確認してください。

機能の概要

- ・テキストリーダ
文章(テキストデータ)を音声で読み上げてくれるソフトです。入力した文章を耳で聞いて確認したい場合などに便利です。(使い方については → PART 1 「テキストリーダの使用」)
- ・ニフティサーブでインターネット、NIFTY MANAGER
インターネット接続およびパソコン通信サービス「NIFTY SERVE」にアクセスして、NIFTY SERVE のさまざまなサービスを利用することができます。
- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ
次のファイルを一太郎 8 または三四郎 8 のファイル形式に変換することができます。
 - ・ NEC 文豪 DP-WORD/LANWORD の文書を一太郎 8 の文書に変換
 - ・ NEC 文豪 DP-CARD+/LANFILE のファイルを三四郎 8 のファイルに変換
 - ・ NEC 文豪 DP-PLAN/LANPLAN/G のファイルを三四郎 8 のファイルに変換
 - ・ NECAIIME (NECAI かな漢字変換) 学習単語を ATOK 11 登録形式に変換

✓チェック!

- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータは、文豪ミニシリーズ、文豪 JX シリーズの文書を変換することはできません。
- ・操作の説明や変換における制限事項などについては、本機添付の「アプリケーション CD-ROM」の次のファイルをご覧ください。
< CD-ROM ドライブ名 > : ¥Dpconv ¥説明書.jtd
(一太郎 8 形式文書)
- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータを使用するには、一太郎 8 以上、または三四郎 8 以上のソフトウェアが必要です。

上記の機能の中に、使いたい機能がある場合は、以降の「セットアップする」をご覧になり機能をセットアップしてください。

セットアップする

パーチャファイター 2 のセットアップ

「パーチャファイター 2」の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

「Welcome」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストール先を指定する画面が表示されます。

・最小

中、高レベルの背景グラフィックスは使用できません。

VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 では 8bit 色 (256 色) 専用になります。

・標準

高レベルの背景グラフィックスは使用できません。

・最大

すべての機能を使うことができます。

「最小」、「標準」、「最大」のいずれかを選んで「次へ」をクリック。

ディレクトリ作成の確認画面が表示されます。

「OK」をクリック。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、「ゲームのインストールが完了しました!」と表示されます。

すぐにゲームを始める場合は「プレイ」を、いったん終了する場合は「終了」をクリック。

AI 将棋のセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 > : ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名 > は通常は、< Q > です。

「完了」をクリック。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「AI 将棋 Ver.1.5R」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

AI 将棋の画面が表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくして「ショートカットの作成」ウィンドウが表示されます。

ショートカットをデスクトップに作成しておく、そのアイコンをダブルクリックするだけで、すぐにゲームを始めることができます。

作成するかしないかを決めて、「次へ」をクリック。

インストールが終了すると「お読みくださいの表示」ウィンドウが表示されます。

「[お読みください]を開く」をクリック。

Readme が表示されます。

ゲームの前にお読みください。

グローバル ヘキササイトのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたはCD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「グローバル ヘキササイト」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「GLOBAL HEXCITE インストーラー」ウィンドウが表示されます。

インストール先を変更する場合は、インストール先ディレクトリを選んでください。

インストールディレクトリが決まったら、「OK」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくすると、インストールが自動的に終了します。

ソリティア デラックスのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたはCD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストール プログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ソリティア デラックス」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

しばらくして「Setup」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は「参照」をクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」をクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

インストールが終了すると「セットアップが完了しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

競馬道 3 のセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたはCD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
 「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。
 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「競馬道 3」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
 「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。プログラムフォルダを変更するときは「プログラムフォルダ」欄に入力してください。

「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。

これでインストールは完了です。

宇宙戦艦ヤマトのセットアップ(DVD-ROM モデルのみ)

「宇宙戦艦ヤマト」のDVD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
 「宇宙戦艦ヤマト Master Edition DVD-ROM」ウィンドウが表示されます。

「QTVR インストール」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「質問」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
 「QuickTimeのインストール」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
 「QuickTimeは正常にインストールされました」と表示されます。

「終了」をクリック。
 「サンプルを見ずに終了してよろしいですか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

✓チェック!!

「QuickTime for Windows」のフォルダが表示されたときは、をクリックして閉じてください。

「セットアップは正常に終了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

テキストリーダのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
 (「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。
 「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。
 「インストールプログラムのコマンドライン」欄が、「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROMドライブ名>は通常は< Q >です。

確認したら、「完了」をクリック。
 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「テキストリーダ」をクリック。
 「テキストリーダ」が反転表示になります。

「OK」をクリック。
 「ようこそ! テキストリーダの世界へ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。
通常は、あらかじめ設定されたプログラムアイコンの登録先フォルダを変更する必要はありません。プログラムアイコンの登録先フォルダを変更したいときは、「既存のフォルダ」より選ぶか、直接「プログラムフォルダ」に登録するフォルダ名を入力します。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると「情報」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ニフティサーブでインターネットのセットアップ

✓チェック!!

「オンラインサービス」フォルダにある「ニフティサーブへの入会」は利用しないでください。本機専用の特典(利用料金の割引など)を受けられない場合があります。

次の手順を行うことをおすすめします。

本機添付の「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

「ニフティサーブへようこそ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット & パソコン通信」→「ニフティサーブへようこそ」または「スタート」→「プログラム」→「NIFTYSETUP」→「ニフティサーブへようこそ」)

「ニフティサーブへようこそ!」の画面が表示されます。

「次へ」ボタンが表示されますので、次々と「次へ」ボタンをクリックして、画面の内容を読んで操作を進めてください。

「次へ」ボタンを4回クリックすると、「ニフティサーブでインターネット」のインストールをはじめます。パソコン付属の「アプリケーション CD-ROM」をセットし、OK ボタンをクリックしてください。」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「製品ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。

内容を確認し、同意の上「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
「デスクトップにニフティサーブでインターネットのショートカットを置きますか?」と表示されます。

デスクトップにショートカットを貼り付ける場合は「はい」を、貼り付けない場合は「いいえ」をクリック。
「README ファイルを読みますか?」と表示されます。

README ファイルを読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリック。
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

NIFTY MANAGER のセットアップ

✓チェック!!

「ニフティサーブでインターネット」をセットアップした後に「NIFTY MANAGER」をセットアップしてください。

「ニフティサーブでインターネット」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「ニフティサーブ」→「ニフティサーブでインターネット」)
ニフティサーブでインターネットセットアッププログラムが起動します。

「会員のかた」をクリック。

「ニフティマネージャーのインストール」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウが表示されます。
重要なことが記載されています。よくお読みください。

「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

「次へ」をクリック。

「情報を引き継ぎますか?」という内容のメッセージが表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。

インストールが始まります。

インストールが終了すると、「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows95のショートカットを置きますか?」のメッセージが表示されます。

「いいえ」をクリック。

「READMEファイルを読みますか?」と表示されます。

読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。ここで読まなくても後でゆっくり読むこともできます。

「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」をクリック。

「セットアップを完了するにはシステムを再起動する必要があります。再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
これでインストールは完了です。

✓チェック

NIFTY MANAGER をインストールすると、「コントロールパネル」の「アプリケーション」の「アプリケーションの追加と削除」の一覧に「Data Access Objects (DAO) 3.5」が追加されますが、削除しないでください。DAOを削除すると、他のアプリケーションでヘルプを使用できなくなる場合があります。

文豪 DP/LAN シリーズコンバータのセットアップ

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ -NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 >: ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。

< CD-ROM ドライブ名 > は通常は、< Q > です。

「完了」をクリック。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

お使いのコンピュータの機種を選択する画面が表示されます。

「MATE NX / VALUESTAR NX / NetFine NX」を選択し、「次へ」をクリック。

インストールを選択する画面が表示されます。

インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストール先ディレクトリを選んで、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストール先ディレクトリが決まったら、「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

インストールが終了すると、「セットアップが完了しました。」と表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「OK」をクリック。
自動的に再起動します。

これでインストールは完了です。

Excel&Word&Outlookの機能をフルに使う(Word モデルのみ)

本機にセットアップされている「Microsoft Word 98 」、「Microsoft Excel 97 」、「Microsoft Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。

■「標準セットアップ」以外の機能を使用する

「標準セットアップ」以外の機能を使用したい場合は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」添付のマニュアルをご覧ください。

バリュースタックを使う

「バリュースタック」には、「Excel&Word&Outlook」をより便利に使う機能があります。「バリュースタック」は購入時にはセットアップされていません。使用したい場合は、別途セットアップが必要です。

「バリュースタック」のセットアップ方法については、「Excel 97&Word 98&Outlook 98」添付のマニュアルをご覧ください。

Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0 を使う

「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0」はCD-ROMに入った辞書です。国語辞典、英和辞典、和英辞典の3種類の辞書を1枚のCD-ROMに収めており、言葉に関するさまざまな情報を得ることができます。

添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic 2.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、セットアップを行ってから使用してください。セットアップ方法については、CD-ROM 添付のマニュアルをご覧ください。

一太郎 9 パックの機能をフルに使う (一太郎モデルのみ)

本機にセットアップされている「一太郎9パック」は、「標準」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。

購入時の状態で使用できる機能については、『一太郎9パックセットアップ』の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

「標準」以外の機能を使用する

「標準」以外の機能を使用したい場合は、添付の「一太郎9パック CD-ROM」から追加してください。追加の方法については、『一太郎9パックセットアップ』の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

「JSクイックサーチファイル 自動更新」・「JSクイックランチ」の登録

本機の購入時は、一太郎9の「JSクイックサーチファイル 自動更新」機能、および「JSクイックランチ」機能は「スタートアップ」に登録されていません。登録したい場合は、次の手順で設定してください。

「スタート」→「JUSTSYSTEM 一太郎 Office」→「JUSTSYSTEM ツール&ユーティリティ」→「アプリケーション追加・削除」をクリック。

「一太郎9パックのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「一太郎9パックの追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加・削除」がチェックされていることを確認します。

「次へ」をクリック。

「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加」がチェックされていることを確認します。

「次へ」をクリック。

「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

「一太郎」をチェックして、「詳細機能を選択」をクリック。一太郎の詳細機能を選ぶウィンドウが表示されます。

「一太郎」をチェックして「OK」をクリック。

「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウに戻ります。

「次へ」をクリック。

「一太郎9パックを登録するグループの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「セットアップするフォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルのコピー開始」ウィンドウが表示されます。

「一太郎9パック CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする。

しばらく待ってから、「コピー開始」をクリック。

ファイルのコピーが始まります。

しばらくすると、「一太郎9パックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「セットアップ終了」をクリック。

登録が完了します。

アプリケーション の削除

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。

概要

ここで説明するのは、本機に標準でインストールされているまたは、添付されているアプリケーションの削除方法です。購入後に、ご自分でインストールされたアプリケーションの削除方法については説明していませんので、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

次のような場合にアプリケーションを削除してください。

- ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
- ・通常使わないアプリケーションがある場合

アプリケーションを削除するときの注意

- ・削除の際、アプリケーションが表示するメッセージや画面が他のウィンドウに隠れる場合があります。このような場合は、他のウィンドウを最小化して、メッセージや画面を表示させてください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などのウィンドウが表示される場合があります。このようなウィンドウは、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このようなウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「Adobe Acrobat Reader 3.0J」は、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」のPDF形式のオンラインドキュメントを読むために必要ですので、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」を使用する場合は、削除しないようにしてください。

・DVD-ROM モデルの場合、「QuickTime for Windows (32-bit)」および「QuickTimeVR Runtime」は「宇宙戦艦ヤマト Master Edition DVD-ROM」を見るために必要ですので、削除しないようにしてください。

・「ランチ-NX」をそのまま使用する場合(「ランチ-NX」を削除しない場合)に、「ランチ-NX」のグループに表示されているアプリケーションを削除しても、「ランチ-NX」のグループにはアイコンが残ります。この場合、「ランチ-NX」に残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、後述の「ショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

・アプリケーションによっては、削除したときに、一部のフォルダおよびデスクトップやスタートメニューのショートカットのアイコンが残ることがあります。この状態でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断した場合でも、そのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際には本機を再起動した後、アプリケーションを使用してください。

・DVD プレーヤ(DVD-ROM モデルのみ)は、削除することはできません。

・RealPlayer 4.0は削除しないようにしてください。

削除の方法について

削除の方法は、アプリケーションによって異なります。

■ コントロールパネルを使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションが削除できます。手順については「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する」をご覧ください。

- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・AI将棋
- ・AOL
- ・BIGLOBEインターネット接続ツール
- ・CD ランチ
- ・CyberCoach-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberWarner-NX

- ・FAX-NX
- ・Hatch inside
- ・MAGIC FLIGHT
- ・MapPlayer-NX
- ・NIFTY MANAGER
- ・PictureStudio Light
- ・ThumbsStudio
- ・Timer-NX
- ・VirusScan
- ・アルバム工房 Light
- ・インターネット無料体験
- ・エンカルタ 98(DVD版 X DVD-ROM モデルのみ)
- ・カラオケキング
- ・ジェットサーファー
- ・その他アプリケーションセットアップ
[デジタルブックビューワ]
[パソコン用語集]
- ・ソリティア デラックス
- ・テキストリーダ
- ・てきばき家計簿マム 2 Plus
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・ニフティサーブへようこそ
- ・パーチャファイター 2
- ・パソコン大学一年生 for 一太郎 9/ 三四郎 8(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97(Wordモデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Windows 98
- ・パソコン探検箱
- ・プレーヤ -NX
- ・ランチ -NX
- ・一太郎 9 パック(一太郎モデルのみ)
- ・宇宙戦艦ヤマト(DVD-ROM モデルのみ)
- ・駅すばあと
- ・競馬道 3
- ・筆ぐるめ Version 6.0 for Windows

- ・文豪 DP/LAN シリーズコンバータ
- ・翻訳アダプタ CROSSROAD

■ CD-ROM を使って削除するアプリケーション

次のアプリケーションを削除できます。手順については「CD-ROM を使って削除する」をご覧ください。

- ・Microsoft Outlook 98(Word モデルのみ)
- ・Microsoft Draw 98(Word モデルのみ)
- ・Microsoft Word 98(Word モデルのみ)
- ・Microsoft Excel 97(Word モデルのみ)
- ・Angel Line for Windows

■ アプリケーションのアンインストール機能を使うもの

次のアプリケーションを削除できます。手順については「アンインストール機能を使って削除する」をご覧ください。

- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・グローバル ヘキサイト
- ・ホームページスクラップブック

■ ランチ -NX のショートカットアイコンの削除

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を削除します。

「ランチ -NX」ウィンドウのをクリック。
「ランチ -NX の設定」ウィンドウが表示されます。

「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ & ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

「OK」をクリック。

「ランチ -NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例 「ユーティリティ」グループ)をクリック。

「ランチ -NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン(例 「ペイント」)をドラッグ & ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。

「ファイルの削除の確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する

削除の準備（ランチ-NX を使う場合）

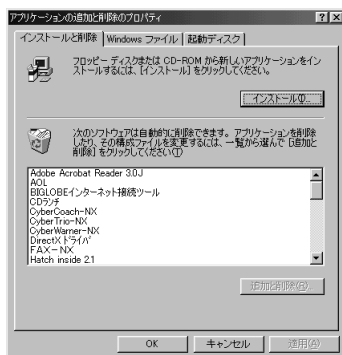
✓チェック!!

「ランチ-NX」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「アプリケーションの追加と削除」をクリック。



「インストールと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。



このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

削除の準備（コントロールパネルを使う場合）

✓チェック!!

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストールと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。
このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

Adobe Acrobat Reader 3.0 J の削除

次の手順で「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」を削除します。

✓チェック!!

「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」は、「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」のPDF形式のオンラインドキュメントを読むために必要です。「パソコン探検箱」や「PictureStudio Light」を使用する場合は、「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」を削除しないでください。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0 J」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

AI 将棋の削除

次の手順で「AI 将棋」を削除します。

✓チェック!

「AI 将棋」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「AI 将棋 Ver.1.5R」をクリック。

「AI 将棋 Ver.1.5R」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NX からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

AOL の削除

次の手順で「AOL」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOL」をクリック。

「AOL」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。

「標準モード」のチェックマークをはずす。

「OK」をクリック。

「AOL for Windows がシステム内で見つかりました。」と表示されます。

「C:\¥Aol30l¥AOL.EXE」をクリック(反転表示)する。

「削除」をクリック。

「最新のAOLが選択されました。削除してもよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。削除が終了すると、「AOL の削除は正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示された場合は「再起動」をクリック。

Windows が再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NX の「インターネット & パソコン通信」グループに残った「AOL で簡単インターネット」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

BIGLOBE インターネット接続ツールの削除

次の手順で「BIGLOBE インターネット接続ツール」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「BIGLOBE インターネット接続ツール」をクリック。

「BIGLOBE インターネット接続ツール」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「アンインストールオプション」の画面が表示されます。

「自動アンインストール」を選択し、「次へ」をクリック。

「アンインストール開始」の画面が表示されます。

「アンインストール」をクリック。

自動的に削除されます。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット & パソコン通信」グループに残った「BIGLOBE 接続ツール」のアイコンを削除してください。削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CD ランチの削除

次の手順で「CD ランチ」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CD ランチ」をクリック。

「CD ランチ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

CyberCoach-NX の削除

次の手順で「CyberCoach-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberCoach-NX」をクリック。

「CyberCoach-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループと「スタディ&ヘルプ」グループに残った「CyberCoach-NX (操作レッスン)」のアイコンを削除してください。削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CyberTrio-NX の削除

「CyberTrio-NX」は「ベーシックモード」、「キッズモード」からは削除できません。

削除する前に、「アドバンスモード」へ変更してください。

「アドバンスモード」への変更のしかたについては、PART 1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX」をご覧ください。

次の手順で「CyberTrio-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberTrio-NX」をクリック。

「CyberTrio-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

「OK」をクリック。

Windows が再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「CyberTrio-NX (利用者モード)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CyberWarner-NX の削除

次の手順で「CyberWarner-NX」を削除します。

「CyberWarner-NX」を使用中の場合は、終了させる。タスクバーにあるをクリックして、「終了」をクリックします。

「CyberWarner-NXのシャットダウン」ウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックしてください。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberWarner-NX」をクリック。

「CyberWarner-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

「OK」をクリック
Windows が再起動します。

FAX-NX の削除

次の手順で「FAX-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「FAX-NX」をクリック。
「FAX-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NX の「メインメニュー」グループに残った「FAX-NX (FAX)」のアイコンを削除してください。
「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Hatch inside の削除

次の手順で「Hatch inside」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Hatch inside 2.1」をクリック。
「Hatch inside 2.1」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「関連するウィンドウは一旦終了しますので、必要なデータをセーブしてください！」と表示されます。

「OK」をクリック。
「ハッチインサイド(hatchinside)と関連するファイルを全部削除してもよろしいでしょうか？」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
「作業は完了しました、有り難うございます!」と表示されます。

「OK」をクリック。

MAGIC FLIGHT の削除

次の手順で「MAGIC FLIGHT」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「MAGIC FLIGHT」をクリック。
「MAGIC FLIGHT」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ & ヘルプ」グループに残った「MAGIC FLIGHT (タイプレッスン)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

MapPlayer-NX の削除

次の手順で「MapPlayer-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「MapPlayer-NX」をクリック。

「MapPlayer-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「MapPlayer-NX(カーナビCD)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

NIFTY MANAGER の削除

次の手順で「NIFTY MANAGER」を削除します。

✓チェック!

「NIFTY MANAGER」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「NIFTY MANAGER for Windows Ver4.70」をクリック。

反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「NIFTY MANAGERを再インストールした場合のために登録情報を保存しておきますか？」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。

削除が終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NX」からの問い合わせウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

PictureStudio Light の削除

次の手順で「PictureStudio Light」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「PictureStudio Light」をクリック。

「PictureStudio Light」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「PictureStudio Light」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ThumbsStudio の削除

次の手順で「ThumbsStudio」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ThumbsStudio」をクリック。

「ThumbsStudio」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ThumbsStudio(画像一覧)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

Timer-NX の削除

次の手順で「Timer-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Timer-NX」をクリック。

「Timer-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「Timer-NX とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「すべて残す」をクリックしてください。

「アプリケーションの削除」ウィンドウが表示されたら、すべて「OK」をクリックします。

終了すると「削除されました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「Timer-NX(スケジュール)」のショートカットアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

VirusScan の削除

次の手順で「VirusScan」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「McAfee VirusScan v3.1.6 for Windows 9x(ブレイインストール版)」をクリック。

「McAfee VirusScan v3.1.6 for Windows 9x(ブレイインストール版)」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示された場合は「はい」をクリックします。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

削除が終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

「スタート」→「Windows の終了」→「再起動する」→「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「VirusScan(ウイルスチェッカー)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

アルバム工房 Light の削除

次の手順で「アルバム工房 Light」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「アルバム工房 Light」をクリック。

「アルバム工房 Light」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「アルバム工房 Light」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

インターネット無料体験の削除

次の手順で「インターネット無料体験」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「インターネット無料体験」をクリック。

「インターネット無料体験」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

エンカルタ 98 (DVD 版) の削除 (DVD-ROM モデルのみ)

次の手順で「エンカルタ 98 (DVD 版)」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「Microsoft Encarta 98 エンサイクロペディア」をクリック。

「Microsoft Encarta 98 エンサイクロペディア」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「削除方法の選択」が表示されます。

「次へ」をクリック。

「アンインストールの実行」が表示されます。

「開始」をクリック。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されます。

「すべて保存」をクリック。

アンインストールが始まります。これで削除が完了します。

カラオケキングの削除

次の手順で「カラオケキング」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「カラオケキング」をクリック。

「カラオケキング」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」をクリックします。終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ホーム&ゲーム」グループに残った「カラオケキング」アイコンを削除してください。

アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ジェットサーファの削除

次の手順で「ジェットサーファ」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ジェットサーファ Ver1.5」をクリック。

「ジェットサーファ Ver1.5」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ジェットサーファ」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

✓ チェック!

アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ジェットサーファ」を使用して作成された「お気に入り」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で「ジェットサーファ」がインストールされている「C:\Program Files\JetSurfer」のフォルダごと削除してください。

デジタルブックビュー、パソコン用語集の削除

次の手順で「その他アプリケーション」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「その他アプリケーション セットアップ」をクリック。

「その他アプリケーション セットアップ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「セットアップ方法の選択」のウィンドウが表示されます。

「カスタム」を選んで、「次へ」をクリック。

表示されたウィンドウで、削除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

次のアプリケーションを削除できます。

・デジタルブックビュー

・パソコン用語集

「次へ」をクリック。

削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「完了」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」に残った次のショートカットアイコンを削除してください。削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

- ・デジタルブックビューワ
(「マルチメディア」グループ)
- ・パソコン用語集
(「スタディ&ヘルプ」グループ)

ソリティア デラックスの削除

次の手順で「ソリティア デラックス」を削除します。

✓チェック!

「ソリティア デラックス」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ソリティアデラックス」をクリック。
「ソリティアデラックス」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

テキストリーダの削除

次の手順で「テキストリーダ」を削除します。

✓チェック!

「テキストリーダ」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から、「テキストリーダ」を選んでクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると、「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

てきばき家計簿mam 2 Plus の削除

次の手順で「てきばき家計簿mam 2 Plus」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「てきばき家計簿mam 2Plus」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2Plus」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2Plusとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました。」と表示されます。

✓チェック!!

・「ディレクトリ 'C:\Program Files\Common Files\Microsoft Shared\DAO」を削除できません。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

・「幾つかのコンポーネントを削除できませんでした。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「てきばき家計簿マム2」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ニフティサーブでインターネットの削除

次の手順で「ニフティサーブでインターネット」を削除します。

✓チェック!!

「ニフティサーブでインターネット」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ニフティサーブでインターネット」をクリック。

「ニフティサーブでインターネット」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「ニフティサーブでインターネット」とすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

✓チェック!!

「ランチ-NX」からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

ニフティサーブへようこそその削除

次の手順で「ニフティサーブへようこそ」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ニフティサーブへようこそ」をクリック。

「ニフティサーブへようこそ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共用ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ニフティサーブへようこそ」アイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

バーチャファイター 2 の削除

次の手順で「バーチャファイター 2」を削除します。

✓チェック!!

「バーチャファイター 2」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「Virtua Fighter 2 V1.0J」をクリック。

「Virtua Fighter 2 V1.0J」が反転表示になります。

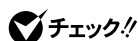
「追加と削除」をクリック。

「Uninstall」ウィンドウが表示されます。

「了解」をクリック。

削除が始まり、終了すると「削除が完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。



「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

パソコン大学一年生 for 一太郎 9 / 三四郎 8 (一太郎モデルのみ) パソコン大学一年生 for Word 98 / Excel 97 (Word モデルのみ) の削除

次の手順で「パソコン大学一年生」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9 / 三四郎 8」を、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98 / Excel 97」をクリック。

「追加と削除」をクリック。

一太郎モデルの場合は、「パソコン大学一年生 for 一太郎 9 / 三四郎 8 とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98 / Excel 97 とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「スタディ & ヘルプ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

- ・お使いの機種が一太郎モデルの場合
「スタディ & ヘルプ」グループの「一年生 一太郎 9」
「スタディ & ヘルプ」グループの「一年生 三四郎 8」
- ・お使いのコンピュータが Word モデルの場合
「スタディ & ヘルプ」グループの「一年生 Excel 97」
「スタディ & ヘルプ」グループの「一年生 Word 98」

パソコン大学一年生 for Windows 98 の削除

次の手順で「パソコン大学一年生 for Windows 98」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「パソコン大学一年生 for Windows 98」をクリック。「パソコン大学一年生 for Windows 98」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「パソコン大学一年生 for Windows 98 とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NXの「スタディ & ヘルプ」グループに残った「一年生 Windows 98」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

パソコン探検箱の削除

次の手順で「パソコン探検箱」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「パソコン探検箱」をクリック。「パソコン探検箱」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「パソコン探検箱とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

ランチ-NXの「メインメニュー」グループに残った「パソコン探検箱」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

プレーヤ-NXの削除

次の手順で「プレーヤ-NX」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「プレーヤ-NX」をクリック。

「プレーヤ-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか？」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「マルチメディア」グループに残った「プレーヤ-NX(CD プレーヤ)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

ランチ-NXの削除

次の手順で「ランチ-NX」を削除します。

✓チェック!!

「ランチ-NX」を削除する前に、「ランチ-NX」を終了してください。

「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「ランチ-NX」をクリック。

「ランチ-NX」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

一太郎 9 バックの削除(一太郎モデルのみ)

次の手順で「一太郎 9 バック」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリック。

「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。

「一太郎 9 バックのセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「一太郎 9 バックの追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの削除」をチェックして「次へ」をクリック。

「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

「全て選択」をクリックして「次へ」をクリック。

「ジャストシステム共通ファイル 削除の確認」ウィンドウが表示されます。

「削除しない」をクリック。

「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。

「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ファイルの削除開始」ウィンドウが表示されます。

「削除開始」をクリック。
ファイルの削除が始まります。

「一太郎 9 バックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されたら「再起動」をクリック。
自動的に Windows が再起動します。
これで削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「一太郎 9」「三四郎 8」「花子 9」「FullBand」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

宇宙戦艦ヤマトの削除(DVD-ROM モデルのみ)

次の手順で「宇宙戦艦ヤマト」を削除します。

✓チェック!

「宇宙戦艦ヤマト」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。
「コントロールパネル」ウィンドウが開いていると、削除ができないので、「コントロールパネル」ウィンドウが開いている場合は、をクリックして閉じてください。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「QuickTime VR Runtime」をクリック。
「QuickTime VR Runtime」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
削除が始まり、終了すると「アンインストールが完了しました。」を表示されます。

「OK」をクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から、「QuickTime for Windows (32-bit)」をクリック。
「QuickTime for Windows (32-bit)」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「QuickTime Uninstall Program」が表示されます。

「Delete All」をクリック。
削除が始まり、終了すると「QTW32DEL」ウィンドウが表示されます。
「QuickTime for Windows」のフォルダが表示されたときは、をクリックして閉じてください。

「OK」をクリック。

駅すばあととの削除

次の手順で「駅すばあと」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「駅すばあと」をクリック。
「駅すばあと」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「「駅すばあと」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「駅すばあと」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

競馬道 3 の削除

次の手順で「競馬道 3」を削除します。

✓チェック!

「競馬道 3」は、購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「競馬道 3」をクリック。
「競馬道 3」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

筆ぐるめの削除

次の手順で「筆ぐるめ」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」をクリック。
「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「筆ぐるめ Version 6.0 for Windows」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

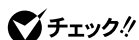
「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「筆ぐるめ」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

文豪 DP/LAN シリーズコンバータの削除

次の手順で「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」を削除します。



「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」は、購入時の状態で本機にセットアップされていません。

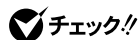
「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」をクリック。
「文豪 DP/LAN シリーズコンバータ」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。



「ランチ-NX」からの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

翻訳アダプタ CROSSROAD の削除

次の手順で「翻訳アダプタ CROSSROAD」を削除します。

「削除の準備」または「削除の準備」の手順を行う。

「インストールと削除」タブのウィンドウの一覧から「翻訳アダプタ CROSSROAD」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROAD」が反転表示になります。

「追加と削除」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました」と表示されます。

「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「翻訳アダプタ CROSSROAD」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

CD-ROM を使って削除する

本機に添付の CD-ROM を使って、アプリケーションを削除します。

あらかじめ、次の CD-ROM を準備してください。

- ・Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows CD-ROM (Word モデルのみ)
- ・アプリケーション CD-ROM

✓チェック!

- ・Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97 を全て削除する場合は、この順序で削除してください。
- ・CD-ROM を使ってアプリケーションを削除する場合、削除が終了したら、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出してください。

Microsoft Outlook 98 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Outlook 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Outlook 98 のセットアップ」をクリック。

「Outlook 98 アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。

「Outlook 98 の削除」をクリック。

「Microsoft Outlook 98 コンポーネントをアンインストールします。続行しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

しばらくすると「アンインストールを完了するために、システムを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

自動的に Windows が再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Outlook」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

Microsoft Draw 98 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Draw 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Draw 98 のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Draw 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Draw 98 を削除しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Draw 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

Microsoft Word 98 の削除 (Word モデルのみ)

次の手順で「Word 98」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Word 98 のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Word 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Word 98 を削除しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Word 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Word」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Microsoft Excel 97 の削除(Word モデルのみ)

次の手順で「Excel 97」を削除します。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

「Excel 97 のセットアップ」をクリック。

「Microsoft Excel 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「すべて削除」をクリック。

「Microsoft Excel 97 を削除しますか？」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まります。

「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。

終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックして、Windows を再起動してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「メインメニュー」グループに残った「Microsoft Excel」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NXのショートカットアイコンの削除」をご覧ください。

Angel Line for Windows の削除

次の手順で「Angel Line for Windows」を削除します。

CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする。

コントロールパネルを開く。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「アプリケーションの追加と削除」をクリック。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「セットアップ プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「セットアッププログラムのコマンドライン」を「< CD-ROM ドライブ名>:¥NSETUP.EXE」から「< CD-ROM ドライブ名>:¥ANGEL¥UNINST.EXE」に変更する。

「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名>:¥ANGEL¥UNINST.EXE」になっていることを確認します。< CD-ROM ドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。

「アンインストールは次の内容を消去します。」のメッセージが表示されます。

「続行」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「削除」ウィンドウで「確認」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。

- ・「ユーティリティ」グループの「Angel Line(電話案内)」
- ・「ユーティリティ」グループの「Angel Line(アドレス帳)」

「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

アンインストール機能を使って削除する

アプリケーションが持っているアンインストール機能を使用した削除方法を説明します。

インターネットアクセスマネージャの削除

次の手順で「インターネットアクセスマネージャ」を削除します。

インジゲータ領域(タスクトレイ)にがある場合は、を右クリックし、「いま、いくら?」の常駐終了をクリック。

「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャの削除」をクリック。

「インターネットアクセスマネージャ(Ver3.0)」とそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした」と表示されたときは「詳細」ボタンをクリック。

画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどから削除してください。

「OK」をクリック。

以上で削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

✓チェック!!

アンインストールはセットアップしたファイルの削除のみ行います。したがって、「インターネットアクセスマネージャ」を使用して作成された「オートパイロット結果」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で「インターネットアクセスマネージャ」がセットアップされている「C:\¥Program Files ¥lam」のフォルダごと削除してください。

グローバル ヘキササイトの削除

次の手順で「グローバル ヘキササイト」を削除します。

✓チェック!!

「グローバル ヘキササイト」は購入時の状態では本機にセットアップされていません。

「スタート」→「プログラム」→「GLOCAL HEXCITE」→「アンインストーラ」をクリック。

「GLOCAL HEXCITEを削除してよろしいですか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

削除が始まり、終了すると「GLOCAL HEXCITEを削除しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

これで削除が完了します。

✓チェック!!

「ランチ-NX」からの問い合わせウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

ホームページスクラップブックの削除

次の手順で「ホームページスクラップブック」を削除します。

「スタート」→「プログラム」→「ホームページスクラップブック」→「アンインストール」をクリック。
「ホームページスクラップブック Ver2.0とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

アプリケーションの削除がはじまります。

「共有ファイルを削除しますか」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

これで削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「ホームページスクラップブック」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、前述の「ランチ-NX」のショートカットアイコンの削除をご覧ください。

✔チェック!!

アンインストールは、セットアップしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ホームページスクラップブック」を使用して作成されたスクラップデータは削除されません。これらのデータを削除する場合は、Windows 98の「エクスプローラ」で、「ホームページスクラップブック」のスクラップデータがセットアップされている「C:\¥SchookDataBase」のフォルダごと削除してください。

削除したアプリケーションの再追加

削除したアプリケーションを再追加する場合の手順について説明します。

概要

ここでは、使用するCD-ROMに分けて、再追加の方法を説明します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

- ・アプリケーションCD-ROM
- ・パソコン大学一年生CD-ROM
- ・一太郎バックアップCD-ROM(一太郎モデルのみ)
- ・Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows CD-ROM(Wordモデルのみ)
- ・Microsoft Encarta 98 マルチメディア百科事典DVD-ROM(DVD-ROMモデルのみ)

追加が終了したら、CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

✓チェック!!

追加の際、アプリケーションが表示するメッセージや画面が他のウィンドウに隠れる場合があります。このような場合は他のウィンドウを最小化して、メッセージや画面を表示させてください。

アプリケーションCD-ROMを使って追加する

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して、次のアプリケーションを追加できます。

- ・Adobe Acrobat Reader 3.0J
- ・Angel Line for Windows
- ・AOL

- ・BIGLOBE インターネット接続ツール
- ・CD ランチ
- ・CyberCoach-NX
- ・CyberTrio-NX
- ・CyberWarner-NX
- ・FAX-NX
- ・Hatch inside
- ・MAGIC FLIGHT
- ・MapPlayer-NX
- ・PictureStudio Light
- ・ThumbsStudio
- ・Timer-NX
- ・VirusScan
- ・アルバム工房 Light
- ・インターネットアクセスマネージャ
- ・インターネット無料体験
- ・カラオケキング
- ・ジェットサーファー
- ・その他アプリケーションセットアップ
[デジタルブックビューワ]
[パソコン用語集]
- ・てきばき家計簿マム 2 Plus
- ・ニフティサーブへようこそ
- ・パソコン探検箱
- ・プレーヤ-NX
- ・ホームページスクラップブック
- ・ランチ-NX
- ・駅すばあと
- ・筆ぐるめ Version 6.0 for Windows
- ・翻訳アダプタ CROSSROAD

✓チェック!!

「アプリケーションCD-ROM」から、削除したアプリケーションを再追加する場合は、アプリケーションのアイコン登録先が、購入時と同じ状態に設定されないことがあります。

追加の準備

✓チェック!!

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってアプリケーションを追加するには、まず次の手順を行ってください。

CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

「アプリケーションの追加と削除」を起動する。

(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック。

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストールプログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

「インストールプログラムのコマンドライン」が「< CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認する。

< CD-ROMドライブ名>は通常は、< Q >です。

「完了」をクリック。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

Adobe Acrobat Reader 3.0J の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Acrobat Reader」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「Adobe Acrobat 3.0Jをインストールします。続行しますか?」と表示されます。

「はい」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

契約に同意の上、「はい」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader 3.0J Readme ファイルを表示する。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。

「セットアップが終了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

続いて、「Adobe Acrobat Control For ActiveX」をインストールします。

✓チェック!!

・「Adobe Acrobat Control For ActiveX」は「パソコン探検箱」を見るために必要です。「パソコン探検箱」を使う場合は、必ずインストールしてください。

・インストール時に表示されるメッセージは英語です。

「追加の準備」の ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Adobe Acrobat Control For ActiveX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「InstallShield Self-extracting EXE」が表示されます。

「はい」をクリック。

「Welcome」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。

「Software License Agreement」ウィンドウが表示されます。

「Accept」をクリック。

「Choose Destination Location」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。

「Start Copying Files」ウィンドウが表示されます。

「Next」をクリック。

「Setup Complete」ウィンドウが表示されます。

「Display Acrobat Control For ActiveX Readme file」のチェックをはずし、「Finish」をクリック。

「Setup is Complete!」のメッセージが表示されず。

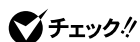
「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

Angel Line for Windows の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「Angel Line for Windows」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「Angel Line for Windows インストール」ウィンドウが表示されます。
- 「続行」をクリック。
- 「インストールディレクトリの設定」ウィンドウが表示されます。
- 「続行」をクリック。
- インストールが始まります。
- しばらくすると「インストール終了」ウィンドウが表示されます。
- 「確認」をクリック。
- 「システム設定」ウィンドウが表示されます。
- 「デフォルト」をクリック。
- 「接続テスト」ウィンドウが表示されます。
- 「しない」をクリック。
- 「お疲れさまでした...」と表示されます。
- 「確認」をクリック。

AOL の追加



- 「オンラインサービス」フォルダにある「AOL」を使う場合、次の手順とは違います。
- 次の手順を行うことをおすすめします。
- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「AOLで簡単インターネット」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「AOLセットアッププログラムへようこそ」の画面が表示されます。
- 「開始」をクリック。
- インストールを開始する画面が表示されます。
- 「インストール」をクリック。
- インストールが始まります。
- 途中で「AOLのショートカットを作成します」ウィンドウが表示されます。

- 「OK」をクリック。
- 「お疲れさまでした。」と表示されます。

- 「OK」をクリック。
- これでインストールは完了です。

BIGLOBE インターネット接続ツールの追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「BIGLOBE インターネット接続ツール」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「注意」ウィンドウが表示されます。
- 「OK」をクリック。
- インストール説明書が表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- インストール先ディレクトリを選択する画面が表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- 「インストールの準備を完了しました」と表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- しばらくすると、「インストールを完了しました。」と表示されます。
- 「完了」をクリック。
- これでインストールは完了です。

CD ランチの追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「CDランチ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
- これでインストールは完了です。

CyberCoach-NX の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「CyberCoach-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「CyberCoach-NX」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力してください。
- 「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- 「終了」をクリック。
- これでインストールは完了です。

CyberTrio-NX の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「CyberTrio-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
- 「CyberTrio-NX」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力してください。
- 「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- 「OK」をクリック。
- 再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
- これでインストールは完了です。

✓チェック!

- 「CyberTrio-NX」を再追加すると、本機起動時に「ベーシックモードへようこそ」ウィンドウが表示されるようになります。

CyberWarner-NX の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)して「OK」をクリック。
- 「CyberWarner-NXのインストレーション」が起動します。
- 「次へ」をクリック。
- 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を入力してください。
- 「次へ」をクリック。
- セットアップの準備が完了したメッセージが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- インストールが終了すると「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されます。
- 「OK」をクリック。
- 再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
- これでインストールは完了です。

✓チェック!

- 「CyberWarner-NX」を再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が常駐されます。

FAX-NX の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
- 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「FAX-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
- 「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
- 「ユーザ情報の設定」ウィンドウが表示されます。
- 各種項目を入力して、「次へ」をクリック。
- 「情報の一覧」ウィンドウが表示されます。
- 入力した情報を確認して「次へ」をクリック。
- インストールが始まります。
- インストールが終了すると、「再起動しますか?」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows 98 が再起動します。
これでインストールは完了です。

■ FAX-NX 用プリンタドライバのセットアップ

「FAX-NX」では、専用のプリンタドライバ(「NEC FAX プリンタドライバ」)がセットアップされていないと、FAX 送信ができません。

「コントロールパネル」の「プリンタ」に「NEC FAX プリンタドライバ」があることを確認してください。「NEC FAX プリンタドライバ」がない場合は、次の手順でセットアップします。

「プリンタ」を開く。

(「スタート」→「設定」→「プリンタ」)

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

「NEC FAX プリンタドライバ」がないことを確認してください。「NEC FAX プリンタドライバ」がある場合は、以降の手順は必要ありません。

「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」をダブルクリック。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリック。

「プリンタの製造元とモデルを選択してください」と表示されます。

「ディスク使用」をクリック。

「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されず。

「配布先ファイルのコピー元」に「C:\¥FAXNX」を指定して、「OK」をクリック。

「プリンタ」の欄に「NEC FAX プリンタドライバ」が表示されていることを確認して、「次へ」をクリック。

「利用できるポート」の一覧から「FAXMODEM」を選んで、「次へ」をクリック。

「プリンタに名前を付けられます」と表示されたら、「NEC FAX プリンタドライバ」と表示されていることを確認する。

ウィンドウに「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常のプリンタとして使用しますか」と表示されていたら、通常のプリンタとして使う場合は「はい」を、使わない場合は「いいえ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「印字テストを行いますか」と表示されたら「いいえ」を選択して「完了」をクリック。

これで「FAX-NX」用プリンタドライバのセットアップは完了です。

■ Hatch inside の追加

「追加の準備」の ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Hatch inside」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ハッチインサイド(使用許諾契約)」ウィンドウが表示されます。

「同意する」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

「はい」をクリック。

これでインストールは完了です。

■ MAGIC FLIGHT の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「MAGIC FLIGHT」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

MapPlayer-NX の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「MapPlayer-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

PictureStudio Light の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「PictureStudio Light」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「PictureStudio Light」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「直ちに ReadMe ファイルを参照します。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。
これでインストールは完了です。

ThumbsStudio の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ThumbsStudio」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると、インストールが終了します。

Timer-NX の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「Timer-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。

をクリック。
インストールが始まります。

「Timer-NXのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。

VirusScan の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「McAfee VirusScan v3.1.6」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「Network Associatesソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

契約に同意の上、「はい」をクリック。

「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。

「カスタム」を選択します。

インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して、「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。

「コンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「オプションの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「DOS スキャナ インストール オプション選択」ウィンドウが表示されます。

「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

「ブート時にシステムをスキャン」のチェックをはずさないでインストールした場合は、MS-DOS 用アプリケーションが動作しない場合があります。

「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

エマージェンシーディスクは「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。

「次へ」をクリック。

「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール設定の確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。

最新の情報を読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリックします。

最新の情報は「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

インストールが終了すると「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで、「終了」をクリック。

Windows 98 が再起動します。

「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。

「McAfee VShield」の上で右クリックして、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。

「タスクプロパティ」のウィンドウが表示されます。

「詳細設定」をクリック。

「VShield 設定」ウィンドウが表示されます。

「スタートアップ時に起動」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す。

スタートアップ時にVShieldを起動すると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

「OK」をクリック。

「今すぐに読み込みを解除しますか？」のメッセージが表示されます。

「はい」→「OK」→  をクリック。

これでインストールは完了です。

アルバム工房 Light の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「アルバム工房 Light」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

アイコンを追加したいフォルダを選んで、「次へ」をクリック。

「アルバム作成ディレクトリの選択」ウィンドウが表示されます。

アルバムを作成する先のドライブを変更するには、ドライブのところのボタンをクリックすると一覧が表示されますのでアルバムを作成したいドライブを選んでください。

アルバム作成先のドライブが決まったら「次へ」をクリック。

「アルバム工房 Light」のインストールが始まります。

インストールが完了すると「再起動しますか？」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

インターネットアクセスマネージャの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「インターネットアクセスマネージャ Ver3.0」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「接続方法の設定」ウィンドウが表示されます。

インターネットに接続する方法を選んで「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

✓チェック

「バージョンの競合」ウィンドウが表示された場合は「はい」をクリックしてください。

「インターネットアクセスマネージャのファイルコピーが完了しました。ここで、README ファイルを読みますか？」と表示されます。

README ファイルを読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリック。

「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認して、「完了」をクリック。

自動的に Windows が再起動します。

再起動後、表示された画面で「OK」をクリック。

この後は、画面の指示に従って設定を行ってください。詳しくは、PART2「オートパイロットと料金管理<インターネットアクセスマネージャ>」の「利用環境を設定する」を参照してください。

インターネット無料体験の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「インターネット無料体験」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

しばらくすると「セットアップが完了しました。」のメッセージが表示されます。

「完了」をクリック。

カラオケキングの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。

「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「カラオケキング」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストールする前に」ウィンドウが表示されますので、内容をよくお読みください。

「次へ」をクリック。

「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

途中で「簡単に実行できるようにデスクトップ上にアイコンを作りますか。」と表示されます。アイコンをデスクトップ上に作る場合は「はい」を、作らない場合は「いいえ」をクリックしてください。

「情報」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

ジェットサーファの追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「ジェットサーファー Ver1.5」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- しばらくすると「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されます。
- 「いいえ」をクリック。
「はい」を選択した場合、読み終わったら ☒ をクリックします。
- 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

デジタルブックビューワ、パソコン用語集の追加

- 「その他アプリケーションセットアップ」には、次のプログラムが含まれています。
- ・デジタルブックビューワ
 - ・パソコン用語集
- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「その他アプリケーション セットアップ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「カスタム」を選ぶ。
- 「次へ」をクリック。
表示されたウィンドウで、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック(チェックボックスにチェックをつける)して、「次へ」をクリック。
選択したアプリケーションの追加が始まります。

✓チェック!

途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。

「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック。

てきばき家計簿mam 2Plus の追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「てきばき家計簿mam 2Plus」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「てきばき家計簿mam 2Plus セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 「インストール」をクリック。
インストールが始まります。
- 「てきばき家計簿mam 2Plusのセットアップ処理を終了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ニフティサーブへようこそ追加

- 「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。
- 「ニフティサーブへようこそ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
- 途中で「デスクトップにショートカットを置きますか？」と表示されます。ショートカットを置く場合は「はい」を、置かない場合は「いいえ」をクリックしてください。
- しばらくすると、「セットアップが完了しました」と表示されます。
- 「OK」をクリック。

パソコン探検箱の追加

✓チェック!

「パソコン探検箱」は必ずCドライブの「Tanken」フォルダにインストールされます。

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「パソコン探検箱」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

プレーヤ-NXの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「プレーヤ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

ホームページスクラップブックの追加

「ホームページスクラップブック」を追加する場合は、Internet Explorer 3.0以上がセットアップされている必要があります。Internet Explorerが正しくセットアップされていることを確認してください。

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ホームページスクラップブック Ver2.0」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!

セットアップ先のハードディスクに、すでにスクラップデータが存在する場合は、手順 の操作時に既存のスクラップデータをそのまま使うかを確認するウィンドウが表示されます。

そのままご利用になる場合は、「既存のスクラップデータベースを使用する」を選んで、「次へ」をクリックすると、「ブラウザの選択」ウィンドウが表示されますので、手順へ進みます。既存データが必要ない場合は、「新規にスクラップデータベースを構築する」を選んで、「次へ」をクリックしてください。なお、「新規にスクラップデータベースを構築する」を選んで、「次へ」をクリックすると、手順 操作時に既存のデータはすべて削除されます。

「次へ」をクリック。
「スクラップデータベースのドライブ確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「ブラウザの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
「設定項目の確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
コピーが始まります。
しばらくすると「READMEファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

「いいえ」をクリック。
「はい」を選ぶと「READMEファイル」がご覧になれます。

ランチ-NXの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「ランチ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。

「セットアップが完了しました。」と表示されたら
 「OK」をクリック。
 これでインストールは完了です。

駅すばあとの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「駅すばあと」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
 インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。

「次へ」をクリック。
 「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
 プログラムフォルダを変更する場合は、「プログラムフォルダ」欄に入力してください。

「次へ」をクリック。
 「ファイル コピーの開始」ウィンドウが表示されます。

個人名: NEC-PCuser、法人名: なし(空白)、登録番号: C10410000071、インストール先:、フォルダ名:を確認したら、「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。
 「駅すばあとのセットアップが完了しました。」と表示されます。

「完了」をクリック。
 これでインストールは完了です。

筆ぐるめの追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
 「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「筆ぐるめ Version6.0 for Windows」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
 「筆ぐるめセットアップメニュー」ウィンドウが表示されます。

「筆ぐるめ Version6.0 for Windowsセットアップ」をクリック。
 「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 名前と会社名を入力する画面が表示されます。

「名前」と「会社名」を入力し、「次へ」をクリック。
 「登録確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。
 「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。

「標準」を選んで「次へ」をクリック。
 「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 「筆ぐるめのセットアップ開始確認」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。
 インストールが始まります。
 インストールが終了すると、「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック。
 もう一度「筆ぐるめセットアップメニュー」ウィンドウが表示されます。

「Photoware/Home-PDセットアップ」をクリック。
 「ソフトウェア製品使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

「Yes」をクリック。
 「Photoware/Home-PD Installer Ver1.5」ウィンドウが表示されます。

「確認」をクリック。
 インストールが始まります。
 インストールが終了すると、「インストールは正常に完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
もう一度「筆ぐるめセットアップメニュー」ウィンドウが表示されます。

「終了」をクリック。
「SETUP」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

Windows を再起動する。
これでインストールは完了です。

翻訳アダプタ CROSSROAD の追加

「追加の準備」の手順 ~ を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

「翻訳アダプタ CROSSROAD」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「翻訳アダプタ CROSSROAD セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「はじめに」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザ情報の入力」ウィンドウが表示されます。

「シリアルNo:」に「C103B29100」(0は数字のゼロ)、
「パスワード:」に「LGPPRFOO」(Oはアルファベットのオー)と入力する。

「インストール」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。

をクリック。
インストールが始まります。

「翻訳アダプタ CROSSROADのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って追加する

パソコン大学一年生 CD-ROM を使って、次のアプリケーションを追加することができます。

- ・パソコン大学一年生 for Windows 98
- ・パソコン大学一年生 for 一太郎 9
(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for 三四郎 8
(一太郎モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Word 98
(Word モデルのみ)
- ・パソコン大学一年生 for Excel 97
(Word モデルのみ)

パソコン大学一年生の追加

CD-ROM ドライブに本機添付の「パソコン大学一年生 CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

「パソコン大学一年生 for Windows 98」と、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8」、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97」がチェックされていることを確認し、「インストール実行」をクリック。
「パソコン大学一年生 for Windows 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください」と表示されます。

をクリック。
「パソコン大学一年生 for Windows 98のセットアップが完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。
しばらくすると、一太郎モデルの場合は「パソコン大学一年生 for 一太郎 9/三四郎 8 セットアップ」ウィンドウが表示され、Word モデルの場合は「パソコン大学一年生 for Word 98/Excel 97 セットアップ」のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。

「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください」と表示されます。



をクリック。

アプリケーションの追加が始まります。

しばらくすると、セットアップが完了した旨のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

一太郎バックアップCD-ROMを使って追加する(一太郎モデルのみ)

一太郎 9 バックの追加

「アプリケーションを削除する」で、一太郎 9 バックを削除した場合は、本機添付の「一太郎バックアップCD-ROM」を使って、「一太郎 9 バック」を追加することができます。

ここでは、「一太郎 9 バック」の追加手順について説明します。

CD-ROM ドライブに「一太郎バックアップCD-ROM」をセットする。

自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

「一太郎 9 バックのセットアップ」をクリック。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。

「セットアップ開始」をクリック。



チェック!!

・「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示された場合は「確認」をクリックしてください。

・「更新の確認」ウィンドウが表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。

「一太郎 9 バックのセットアップを行います」と表示されます。

「次へ」をクリック。

「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。

J-Sheet をご覧の上、すべて入力して「次へ」をクリック。

「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

正しく入力されていたら「登録する」をクリック。

「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

「標準」を選ぶ。

「次へ」をクリック。

「標準モードでセットアップすると...」と表示されます。

「次へ」をクリック。

「サンプルファイルの選択」ウィンドウが表示されます。

「基本サンプルのみハードディスクで利用」を選ぶ。

「次へ」をクリック。

「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。

「コピー開始」をクリック。

ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。

「はい」を選択して「OK」をクリック。

「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。

「確認」をクリック。

「一太郎 9 バックのセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック。

Windows 98 が再起動します。



チェック!!

「一太郎 9 バック」ウィンドウが表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

これで「一太郎 9 バック」のセットアップは終了です。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROMを使って追加する (Word モデルのみ)

「アプリケーションを削除する」で Outlook 98、Draw 98、Word 98、Excel 97 をそれぞれ削除した場合、本機添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROM(以降、Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM)を使って、次のアプリケーションを追加することができます。

- ・ Microsoft Excel 97
- ・ Microsoft Word 98
- ・ Microsoft Draw 98
- ・ Microsoft Outlook 98

✓チェック

本機には、既に最新の「MS-IME 98」がインストールされています。「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」に入っている「MS-IME 98」は追加しないでください。

Excel 97 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

「Excel 97 のセットアップ」をクリック。
Excel のセットアッププログラムが起動します。

「継続」ボタンをクリック。
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
プロダクト ID 番号を知らせるウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Excel のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。
「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windows の再起動」をクリックし、Windows を再起動してください。

これでインストールは完了です。

Word 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

「Word 98 のセットアップ」をクリック。
Word のセットアッププログラムが起動します。

「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
プロダクト ID 番号を知らせるウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Word のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Word 98 セットアップが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これでインストールは完了です。

Draw 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

「Draw 98 のセットアップ」をクリック。
Draw のセットアッププログラムが起動します。

「継続」をクリック。

「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください」と表示されます。

「継続」をクリック。
Draw のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Draw 98 セットアップが完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

「Windows の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これでインストールは完了です。

Outlook 98 の追加

「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする。

自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

「Outlook 98 のセットアップ」をクリック。
Outlook のセットアッププログラムが起動します。

「次へ」をクリック。
「使用許諾契約」のウィンドウが表示されます。

同意する場合は「同意する」をクリックして、「次へ」をクリック。
「登録」のウィンドウが表示されます。

「CD キー」の欄に「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 CD-ROM」の CD ケース裏面にある CD キーを入力して、「次へ」をクリック。
「インストールオプション」のウィンドウが表示されます。

「標準インストール」が選ばれているのを確認して、「次へ」をクリック。
「電子メールアップグレードオプション」のウィンドウが表示されます。

「上記以外のメールプログラム」をクリックして、「次へ」をクリック。
「電子メールサービスオプション」ウィンドウが表示されます。

「インターネットのみ」が選ばれているのを確認して、「次へ」をクリック。
「Outlook 98をインストールするフォルダのパスを入力してください」と表示されます。

「次へ」をクリック。
Outlook 98のセットアップが始まります。

「新しいコンポーネントをアップグレードしますか？」というウィンドウが表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」をクリックし、「OK」をクリックします。

セットアップが終了すると「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されます。

「OK」をクリック。

自動的にWindows が再起動します。

Windows が再起動したら、Outlook 98 のセキュリティパッチを適用します。

エクスプローラを起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)

CD-ROM ドライブ(通常は Q :)をクリックし、「Patch」フォルダをダブルクリック。

「Patch」フォルダが開きます。

「Outptch2」をダブルクリック。

「このパッチを実行する前に、Outlook をシャットダウンする必要があります。」と表示されます。

「はい」をクリック。

「パッチのインストールは完了しました。」と表示されます。

「OK」をクリック。

これでインストールは完了です。

Microsoft Encarta 98 マルチメディア 百科事典 DVD-ROM を使って追加する (DVD-ROM モデルのみ)

エンカルタ 98 (DVD 版) の追加

「アプリケーションの追加と削除」で「エンカルタ 98 (DVD 版)」を削除した場合、本機添付の「Microsoft Encarta 98 マルチメディア百科事典」DVD-ROM を使って、「エンカルタ 98 (DVD 版)」を追加することができます。

DVD-ROM ドライブに「Microsoft Encarta 98 マルチメディア百科事典」DVD-ROM をセットする。

「セットアップ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「インストールの開始」ウィンドウが表示されます。

「開始」をクリック。

インストールが始まります。

「バージョンの競合」ウィンドウが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

チェック!!

「Windows を再起動する必要があります」と表示された場合は、「再起動」をクリックし、「OK」をクリックしてください。Windows が再起動し、これでインストールは完了です。

インストールが終了すると、「セットアップの完了」が表示されます。

「セットアップの終了」をクリック。

これでインストールは完了です。

P A R T

4

ハードウェア

-
- マウス
 - キーボード
 - ハードディスク
 - フロッピーディスク
 - ディスプレイ
 - 省電力機能(スタンバイ)
 - サウンド機能
 - FAX モデムボード
 - シリアルコネクタ
 - デバイスマネージャ
 - CD-ROM などの取り扱い

マウス

スクロールボタンを使って画面を上下左右にスクロールすることができます。「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、マウスポインタの形の選択や動きの調整、左ききの方のためのマウスの設定などができます。

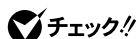


参照

・マウスの使い方について→『STEP2 入門』
「PART 2 マウスに慣れよう」

スクロールボタンを使う

スクロールボタンを使うと、画面を上下左右にスクロールさせたり、画面を拡大縮小させることができます。



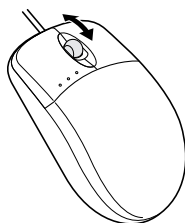
チェック!!

スクロールボタンの機能に対応していないアプリケーションではスクロールボタンは使えません。

画面を上下方向にスクロールする

アプリケーションの上下スクロールバーがある画面をクリックしてアクティブにします。

スクロールボタンを前方に押す。または手前に引く。

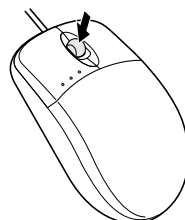


前方に押すと画面が上にスクロールし、手前に引くと画面が下にスクロールされます。
スクロールボタンを動かしてつづけると、画面がずっとスクロールします。

画面を上下、左右方向にスクロールする

スクロールさせたい画面にマウスポインタを移動する。

スクロールボタンを真下に押す。



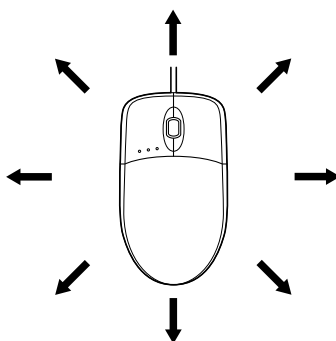
マウスポインタが  や  のように変わります。



チェック!!

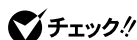
スクロールボタンは、真下に押し込むようにしてください。スクロールボタンを前後に動かすと、通常の上下のスクロールになります。

 や  が表示されたらスクロールしたい方向にマウスを動かす。



マウスを動かした方向に画面がスクロールしていきます。

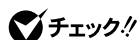
もう一度スクロールボタンを押すと、マウスポインタの形が元に戻ります。



チェック!!

・アプリケーションによってスクロールできる方向は異なります。
・ が表示されているときは上下にだけスクロールすることができます。

ズーム機能を使う



チェック!

アプリケーションによっては、この機能は使えません。

拡大、縮小したい画面にマウスポインタを動かす。

キーボードの【Ctrl】を押したまま、スクロールボタンを前方に押す。または手前に引く。
前方に押すと画面が拡大表示され、手前に引くと縮小表示されます。

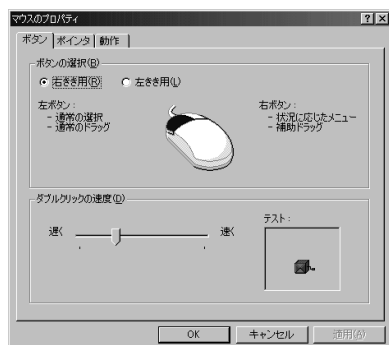
「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「マウス」をダブルクリック。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「マウスのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「ボタン」タブのウィンドウの他に「ポインタ」「動作」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「ボタン」タブのウィンドウ

■ ボタンの選択

マウスのボタンの左右の機能を交換して、右きき用 / 左きき用に設定できます。



状況に応じたメニュー

現在の本機の状態や、ポインタの位置で可能な操作の一覧が表示されているメニュー。

補助ドラッグ

ファイルやフォルダのコピー、ショートカットアイコンの作成などができるドラッグ。

■ ダブルクリックの速度

マウスのボタンを2回続けてクリックするときの、間隔(タイミング)を調整します。「遅く」にすると間隔が長く、「速く」にすると間隔が短くなります。調整したタイミングを「テスト」にあるアイコン(びっくり箱)で確認できます。調整したタイミングでダブルクリックをすると、箱が開いて中から人形が飛び出します。

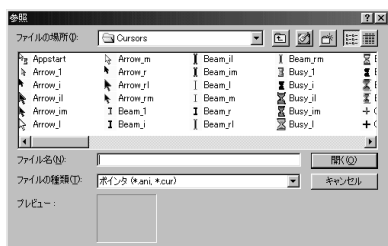
購入時状態では、遅めに設定されています。

「ポインタ」タブのウィンドウ



このウィンドウでは、マウスポインタの形を選択できます。例として、マウスポインタの形を矢印から  に変更してみます。

「通常の選択」が反転表示している状態で「参照」をクリック。
「参照」ウィンドウ(「Cursors」フォルダ)が表示されます。



「Cross_1」をダブルクリック。
「Cross_1」のアイコンが「ポインタ」タブのウィンドウに表示されます。



「OK」をクリック。
マウスポインタの形が十字の形になります。

✓チェック!!

マウスポインタを元に戻すには、「既定の設定」をクリックします。

「動作」タブのウィンドウ



マウスポインタの動作について設定できます。

✓チェック!!

VC40D/5、VC35D/5、VE40D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5 では、「ポインタの軌跡」を「表示する」に設定しても、ポインタの軌跡は表示されません。

キーボード

各キーの名称と一般的な機能を説明します。「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、カーソルの点滅速度の調整、日本語入力システムの選択など、いろいろな設定ができます。

参照

- ・キーボードの使い方について→『STEP2 入門』
- ・日本語の入力のしかたについて→『STEP2 入門』

キーの役割

一般的なキーの役割です。

キーボードのキーは、一般的に次のように2種類に分けられます。

・文字を入力するキー

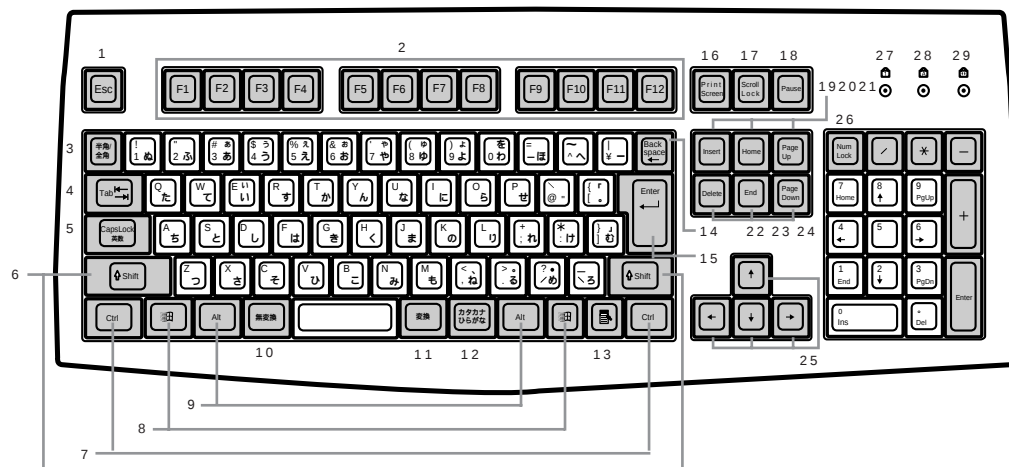
英数字やカタカナ、記号などの文字を入力します。下の図で白くなっている部分のキーです。

・コンピュータに指示を与えるためのキー

コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。下の図でグレーの色が付いている部分のキーです。このキーの動きは、お使いになるアプリケーションによって違います。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

キーの名称

キーボード正面



- 1 【Esc】: エスケープキー
- 2 【F1】～【F12】: ファンクションキー
- 3 【半角 / 全角 / 漢字】: 半角 / 全角 / 漢字キー
- 4 【Tab】: タブキー
- 5 【CapsLock】: キャップスロックキー
- 6 【Shift】: シフトキー
- 7 【Ctrl】: コントロールキー
- 8 【】: Windows キー
- 9 【Alt】: オルトキー
- 10 【無変換】: 無変換キー
- 11 【変換】: 変換キー
- 12 【カタカナ / ひらがな / ローマ字】: カタカナ / ひらがな / ローマ字キー
- 13 【】: アプリケーションキー
- 14 【Back Space】: バックスペースキー
- 15 【Enter】: エンターキー
- 16 【Print Screen/Sys Rq】: プリントスクリーンキー / システムリクエストキー
- 17 【Scroll Lock】: スクロールロックキー
- 18 【Pause/Break】: ポーズ / ブレークキー
- 19 【Insert】: インサートキー
- 20 【Home】: ホームキー
- 21 【Page Up】: ページアップキー
- 22 【Delete】: デリートキー
- 23 【End】: エンドキー
- 24 【Page Down】: ページダウンキー
- 25 【↑】【↓】【←】【→】: カーソルキー
- 26 【Num Lock】: ニューメリックロックキー
- 27 ニューメリックロックキーランプ
- 28 キャップスロックキーランプ
- 29 スクロールロックキーランプ

キーボード裏面

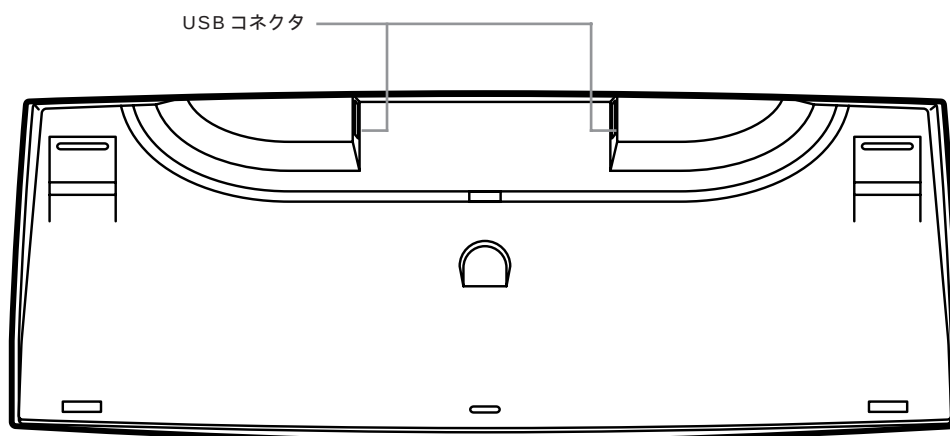
USB コネクタ

USB 対応機器を接続するコネクタ。

このコネクタには、添付のマウスをはじめとする USB 対応機器が接続できます。

✓チェック!!

この USB コネクタには、限られた機器しか接続できません。接続できる機器については、『拡張の手引き』の「PART2 USB 対応機器を使う」をご覧ください、確認してください。



キーのロック

【NumLock】と【CapsLock】がロックされているかいないかでキーの機能は異なります。

ロック状態はそれぞれのキーを押すたびに切り替わります。

それぞれのキーがロックされているときにはキーボード右上のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【NumLock】	テンキーから数字が入力できます。	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます。
【CapsLock】	アルファベットが表示されているキーを押すと大文字が入力されます。	アルファベットが表示されているキーを押すと小文字が入力されます。

アプリケーションとWindows キーについて

アプリケーションとWindows キーはWindows 98で利用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windows キー()

Windows キーを押すと、「スタート」メニューを表示します。

Windows キーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

- 【  】 + 【 R 】 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
- 【  】 + 【 M 】 現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
- 【 Shift 】 + 【  】 + 【 M 】 【  】 + 【 M 】 でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
- 【  】 + 【 F1 】 Windows のヘルプを起動する
- 【  】 + 【 F 】 ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
- 【 Shift 】 + 【  】 + 【 F 】 コンピュータを検索するウィンドウを表示する
- 【  】 + 【 Tab 】 タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える

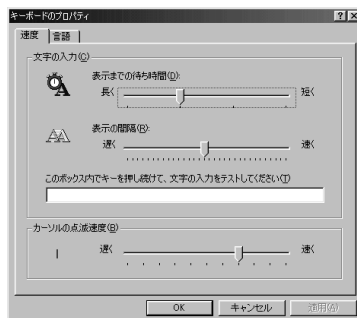
「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「キーボード」をダブルクリック。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「キーボードのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「速度」タブのウィンドウの他に「言語」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「速度」タブのウィンドウ

■ 文字の入力

「表示までの待ち時間」では、キーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調整します。「表示の間隔」では、キーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調整します。調整後に、ボックスでテストすることができます。例えば「A」のキーを押し続けて感じをつかむことができます。

購入時の状態では、「表示の間隔」は遅めに設定されています。



- カーソルの点滅速度
カーソルの点滅する間隔を調整します。

「言語」タブのウィンドウ



チェック!!

画面は一太郎モデルの場合です。Word モデルの場合は、「Microsoft IME 98」が表示されます。

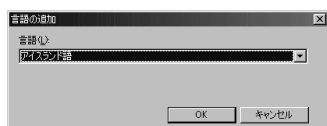
- インストールされている言語とレイアウト

言語(日本語入力システム)の選択

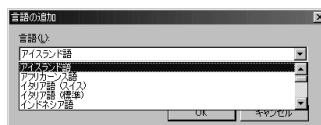
よく使う日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)「既定値として設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「既定の言語」の欄に表示されます。
通常使う日本語入力システムを変更したい場合に設定してください。

言語の追加

新たに言語を追加することができます。
「追加」をクリックすると、「言語の追加」ウィンドウが表示されます。



▼をクリックして、追加したい言語を選びます。



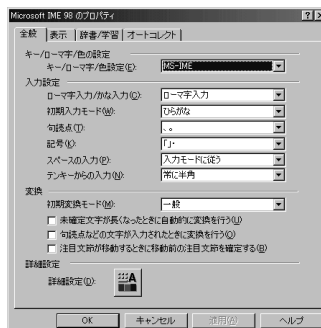
キーボードレイアウトの設定

日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)「プロパティ」をクリックすると、日本語入力システムの環境を設定するウィンドウが表示されます。

「ATOK12」の場合



「Microsoft IME 98」の場合



ローマ字/かな入力、入力モード/方式、句読点の種類などを設定できます。

- 言語の切り替え
言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選びます。

- タスクバー上に状態を表示

多国語インジケータをタスクバーに表示します。このインジケータをクリックすると、言語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューが表示されます。



PC-9800 シリーズのキーボードとのキーの違い

PC-9800シリーズに添付されているキーボードと本機のキーボードとのキーの違いは以下のとおりです。

PC9800シリーズのキーボード	本機のキーボード	備 考
【リターン】	【Enter】	
【GRPH】	【Alt】	
【BS】	【BackSpace】	
【STOP】	【Pause】	
【CAPS】	【Shift】+【CapsLock】	大文字
【ROLL UP】	【Page Down】	
【ROLL DOWN】	【Page Up】	
【CTRL】	【Ctrl】	
【DEL】	【Delete】	
【HELP】	【End】	
【ESC】	【Esc】	
【f・1】-【f・10】	【F1】-【F10】	
【vf・1】-【vf・2】	【F11】-【F12】	
【HOME CLR】	【Home】	
【INS】	【Insert】	
【SHIFT】	【Shift】	
【COPY】	【PrintScreen】	
【TAB】	【Tab】	
【XFER】	【変換】	
【NFER】	【無変換】	
【CTRL】+【XFER】	【Alt】+【半角/全角】	日本語入力
【かな】	【Ctrl】+【英数】	

ハードディスク

ハードディスクの代表的なツールである、スキャンディスク、デフラグなどについて説明します。



参照

- ・ハードディスクを増設する→『拡張の手引き』PART7「ハードディスクを増設する」

概要

ハードディスクは、外部記憶装置のひとつです。正確に表現すれば、実際に磁気を利用してデータを記録する円盤(ディスク)と、ディスクを高速に回転させて、データの読み書きをするヘッドやアーム、モーターなどからなる装置全体を指し、ハードディスク装置といえます。ディスクと磁気ヘッドなどの装置は、密封された容器に収められているために、他の外部記憶装置のメディアのように、記憶媒体(ディスク)自体を単独で取り出すことはできません。しかし、ディスクを高速で回転できるために、フロッピーディスクや光磁気ディスクなどに比べて、読み書きするスピードは格段に速くなります。

ハードディスクは外部記憶装置のひとつには違いありませんが、CPUやメモリとともに、パソコンの中心的存在です。オペレーティングシステム(OS)やアプリケーションソフトなどは、すべてハードディスクに格納されます。ハードディスクのドライブ名は通常は「C」です。

取り扱いの注意

ハードディスクは、たいへん精密な機械です。取り扱いには、次のことに十分注意してください。

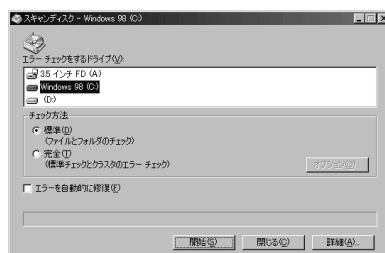
- ・電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。
- ・電源を切るときは、『STEP2 入門』で説明されている手順に従ってください。Windows 98以外のOSを使用している場合、キーボードの【Esc】を押してから電源スイッチを押してください。

スキャンディスク

スキャンディスクとは、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのツールです。実際には、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないかチェックしてください。エラーが発見されたら、修復するようにしてください。

スキャンディスクは次のように実行します。

「スキャンディスク」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」)

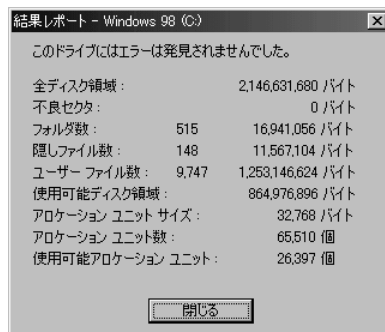


「エラーチェックをするドライブ」の中から、チェックするドライブをクリック。

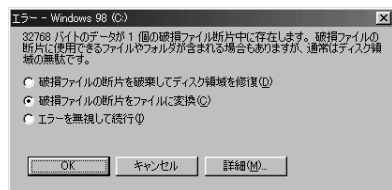
「開始」をクリック。

チェックが始まります。

チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。



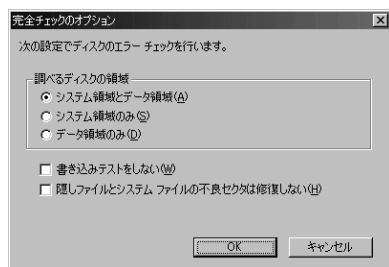
何か問題が検出されたときは、次のような画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってください。



「結果レポート」ウィンドウの「閉じる」をクリックし、もう一度「閉じる」をクリック。
スキャンディスクの作業が終了します。

「完全チェックのオプション」ウィンドウ

徹底的なチェックをしたいときは、チェック方法の「完全」をクリックしてから「オプション」をクリックして、次のウィンドウを表示して使いたいオプションを選びます。

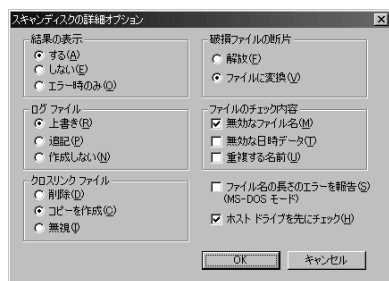


✓チェック!

完全チェックはかなり時間がかかります。

「スキャンディスクの詳細オプション」ウィンドウ

「詳細」ボタンをクリックして次のウィンドウを表示すると、さらに細やかな設定ができます。



不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」と呼びます。パソコンではこのような場所にはデータを記録しないようにしています。

Windows 98の「スキャンディスク」などを実行すると「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように処理されていることを表しており、異常ではありません。

なお、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数 * が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

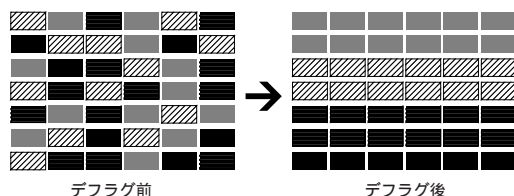
モデル	内蔵ハードディスク	正常値
VC40D/5 VC35D/5 VC33H/5 VE40D/5 VE35D/5	6.4G	6,400,000,000バイト以上
VC30H/5 VE30H/5	4.3G	4,300,000,000バイト以上
VM45D/5	16.8G	16,800,000,000バイト以上
VM40D/5	8.4G	8,400,000,000バイト以上

* なお、領域を分けた場合には、バイト数の合計が、表の正常値より減る場合があります。

なお、このマニュアルではハードディスクの記憶容量を、1M バイト = 1,000,000 バイト及び 1G バイト = 1,000,000,000 バイトで計算したときの値で示してあります。Windows 98 では、1M バイト = 1,048,576 バイト、1G バイト = 1,073,741,124 バイトで値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

デフラグ

ハードディスク(またはフロッピーディスク)を長い間使っていると、データがハードディスクの空いている場所に、バラバラに保存されるようになります。この状態をフラグメンテーションまたは断片化と呼びます。この状態になると、データが連続していないので、データを読み書きする時間が長くなります。「デフラグ」というツールを使うと、このようなバラバラになったデータを、最適な場所に整理できます。



デフラグは次のように実行します。

✓チェック!

「デフラグ」の実行中は、絶対にスタンバイ状態にしたり、本機の電源を切ったりしないでください。スタンバイ状態にしたり、電源を切ると、ハードディスクの内容が壊れる場合があります。自動的にスタンバイ状態にする設定になっている場合は、「コントロールパネル」の「電源の管理」で解除してください。

📖 参照

・「電源の管理」→このPARTの「省電力機能(スタンバイ)」

「デフラグ」を起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」)

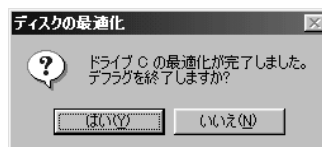


▼ をクリックし、一覧の中から、デフラグするハードディスク(またはフロッピーディスク)のドライブを選ぶ。

「OK」をクリック。
デフラグの作業が始まります。



デフラグの作業が終了すると、次のウィンドウが表示されます。



「はい」をクリック。
これで、デフラグの作業が終了します。

その他のツール

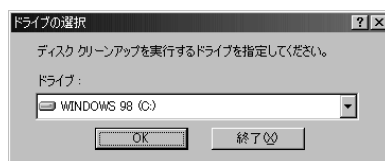
ディスククリーンアップ

「ディスククリーンアップ」を使うと、インターネットを利用したときに作成される一時ファイルなど、不要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

「ディスククリーンアップ」は次のように実行します。

「ディスククリーンアップ」を起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」)



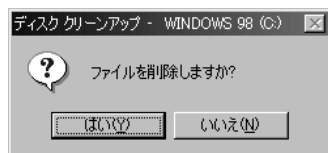
▼ をクリックして、ディスククリーンアップを実行するドライブを選ぶ。

「OK」をクリック。
「ディスククリーンアップ」ウィンドウが表示されます。



「削除するファイル」の一覧から、削除したいファイルの種類を選ぶ。

「OK」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



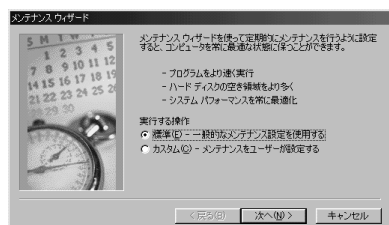
「はい」をクリック。
ファイルが削除されます。

メンテナンスウィザード

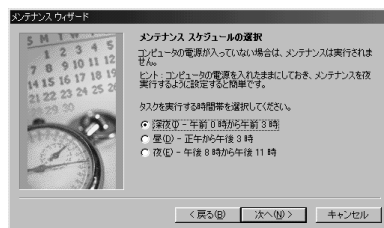
「メンテナンスウィザード」は、「スキャンディスク」、「デフラグ」、「ディスククリーンアップ」を決められた時間に、自動的に実行することができますので、定期的に、これらのツールを実行することができます。

「メンテナンスウィザード」は次のように実行します。

「メンテナンスウィザード」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「メンテナンスウィザード」)



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

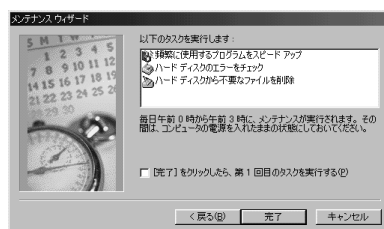


メンテナンスを実行する時間帯を設定する。

チェック!

設定した時間に、本機の電源が入っていない場合は、メンテナンスは実行されません。

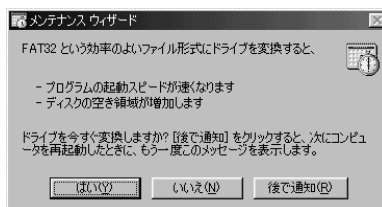
「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
ハードディスクのファイルシステムがFAT32の場合は、これで設定完了です。

チェック!

- ・本機の購入時の内蔵ハードディスクは、FAT32でフォーマットされています。
- ・ハードディスクのファイルシステムがFAT32でない場合、次のウィンドウが表示されます。



「はい」をクリックすると、「ドライブコンバータ (FAT32)」が起動します。

「ドライブコンバータ」については、後述の「ドライブコンバータ (FAT32)」をご覧ください。

「いいえ」をクリックすると、「メンテナンスウィザード」が終了します。

「後で通知」をクリックすると、次に本機を再起動したときに、このウィンドウが表示されます。

ドライブコンバータ(FAT32)

「ドライブコンバータ(FAT32)」を使うと、ハードディスクのファイルシステムをFAT32に変換することができます。

✓チェック!!

- ・本機の購入時の内蔵ハードディスクは、FAT32でフォーマットされています。
- ・現在のファイルシステムの状態は、次の手順で確認できます。

デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック。

情報を表示したいドライブのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリック。

FAT16の場合は「ファイルシステム:」に「FAT」と表示され、FAT32の場合は「ファイルシステム:」に「FAT32」と表示されます。

■ FAT32 について

FAT(File Allocation Table)16ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。

FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特長があります。

- ・従来のFAT16では、2Gバイトの容量を超える領域を扱えませんでした。FAT32では理論上2T(テラ)バイト(2,047Gバイト)の容量まで扱えます。
- ・クラスタサイズがFAT16よりも小さいため、ハードディスクをより効率よく使用できます。

✓チェック!!

- ・FAT32のハードディスクをFAT16に変換するには、カスタム再セットアップが必要です。
- ・FAT32に対応していないアプリケーションなどは、FAT32のハードディスクでは、正しく動作しない場合があります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」ではFAT32のドライブを圧縮できません。

・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98でのみ使用できます。Windows NT 4.0では、FAT32のドライブに保存されたデータやファイルにアクセスできません。

■ ドライブコンバータ(FAT32)の起動

「ドライブコンバータ(FAT32)」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ドライブコンバータ(FAT32)」)

「次へ」をクリック。

変換するドライブを選んで、「次へ」をクリック。

「OK」をクリック。

FAT32に対応していないプログラムの検出が始まります。

検出が終わると次のウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

このウィンドウで、FAT32に対応していないプログラムが検出された場合は、「キャンセル」をクリックして、「ドライブコンバータ(FAT32)」を終了させてください。検出されたプログラムを使用する場合は、FAT32には変換できません。

「次へ」をクリック。

FAT16に戻す可能性がある場合には、「バックアップの作成」をクリックして、バックアップを作成してください。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

変換が始まります。変換には、時間がかかります。

変換が終わると「変換が完了しました」のメッセージが表示されます。

「完了」をクリック。

これで変換は終了です。

フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類、バックアップのとりかた、Windows 起動ディスクの作成方法などについて説明します。

参照

- ・フロッピーディスクのフォーマット→『STEP3 活用』「PART4 フロッピーディスクを使う」

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、以下のようなフロッピーディスクを使用できます。

タイプ	フォーマット(容量) 1			
	1.44MB	1.2MB	720KB	640KB
2HD	○	2	×	×
2DD	×	×	○	×

1: MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたものが使えます。

2: 読み書きはできますが、1.2Mバイトでのフォーマットはできません。また、ディスクのコピーもできません。

フロッピーディスクのバックアップ

フロッピーディスクは非常にデリケートです。ホコリが入ってしまったり、折れてしまったりなど、何らかの事故によって、保存しているデータが壊れてしまうことがあります。万が一に備えて、大切なデータは、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

バックアップをとりたいフロッピーディスク(コピー元)をフロッピーディスクドライブにセットする。

チェック!

- ・誤って、データを消さないように、コピー元のフロッピーディスクには、あらかじめライトプロテクトしておくことをおすすめします。

- ・コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください(これは、「MS-DOS プロンプト」のDISKCOPY コマンドでも同じです)。

参照

- ・ライトプロテクトについて→『STEP3 活用』PART4「フロッピーディスクにファイルをコピーする」

「マイコンピュータ」をダブルクリック。

「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

「3.5 インチFD」をクリック。

「3.5 インチFD」アイコンが反転表示になります。



「ファイル」をクリック。

「ファイル」のメニューが表示されます。



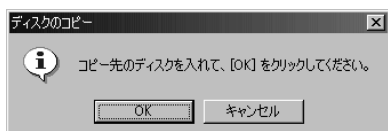
「ディスクのコピー」をクリック。
「ディスクのコピー」ウィンドウが表示されます。



「開始」をクリック。
ディスクのコピーが始まります。



しばらくして次の画面が表示されます。

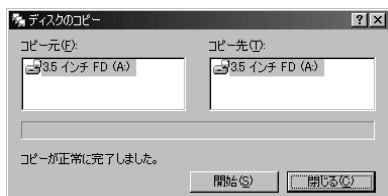


コピー元のフロッピーディスクをフロッピーディスク
ドライブから取り出して、コピー先のフロッピーディ
スクをセットする。

「OK」をクリック。
ディスクのコピーが再開します。



コピーが終了すると次の画面が表示されます。



「閉じる」をクリック。
ディスクのコピーが終了し、バックアップが作成され
ました。

Windows 起動ディスク

ハードディスクやWindows 98のシステムに大きな
障害を受けると、本機の電源を入れても Windows
98 が起動しなくなってしまうことがあります。この
ような場合には、「Windows 起動ディスク」を使う
と、フロッピーディスクから Windows 98 のシス
テムを起動させることができます。万一、システムが起
動しなくなったときのために、Windows 起動ディ
スクを作成することをおすすめします。

Windows 起動ディスクの作成

フロッピーディスクを 2 枚用意してください。未
フォーマットのものでもかまいません。

コントロールパネルを開く。
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」でウィ
ンドウが表示されます。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケー
ションの追加と削除」で手順へ進むこともできま
す。)



この画面は機種によって異なる場合があります。

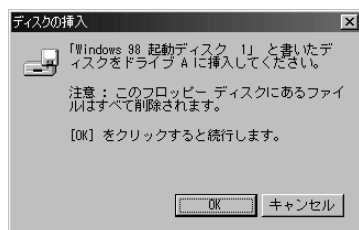
「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



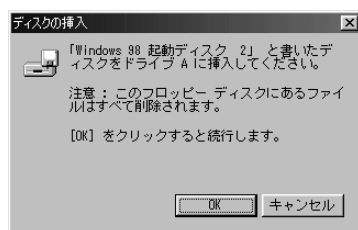
「起動ディスク」をクリック。
「起動ディスク」タブのウィンドウが表示されます。



「ディスクの作成」をクリック。
起動ディスク作成の準備が始まり、すぐに次のメッセージが表示されます。



指示に従い、「OK」をクリック。
起動ディスクの作成が始まります。
しばらくすると、次のメッセージが表示されます。



指示に従い、「OK」をクリック。
再び、起動ディスクの作成が始まります。



終了すると、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。



「OK」をクリック。
Windows 起動ディスクの作成が完了しました。

Windows 起動ディスクから本機を起動する

作成した「Windows 起動ディスク」を使って、起動します。

本機の電源を入れる。

すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 98 起動ディスク 1」をセットする。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

CD-ROMドライブを使う場合は、「1」を、使わない場合は、「2」を選んで、【Enter】を押す。
しばらくすると、「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

【半角 / 全角】を押す。

「106キーボードが選択されました」と表示されます。
しばらくすると、「Windows 98 起動ディスク 2 を挿入してください 続けるにはどれかキーを押してください」と表示されます。

フロッピーディスクドライブから、「Windows 98 起動ディスク 1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク 2」をセットして、何かキー(【Enter】など)を押す。

コマンドプロンプト(「A:¥>_」)が表示されます。

これで、Windows 起動ディスクからの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクドライブからWindows起動ディスクを取り出して、本機を再起動してください。

Windows 起動ディスクのコマンドツール

Windows起動ディスクで起動した場合にこれらのコマンドを使用できます。

Edit	テキストファイルを編集します。
Fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
Format	ディスクを初期化します。
Scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
Sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

ディスプレイ

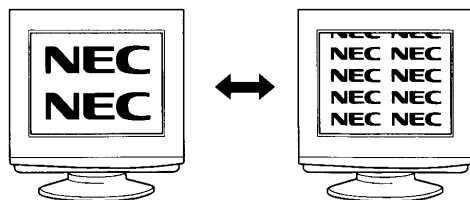
本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使いの用途に応じた解像度や、表示色に切り替えて使用できます。

概要

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点(ドット)の集まりで画面に表示しています。ディスプレイの解像度とは、ディスプレイの画面上での文字やグラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのことです。例えば、640×480ドットというのは、ディスプレイの横(水平)方向に640個のドット(点)、縦(垂直)方向に480個のドットで表示できることを示しています。ドット数が増えるほど、精細な表示ができるようになります。

一度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度にする」と表現します。高解像度になると、緻密な画像を表現できます。また、同じアプリケーションでも、高解像度時には、より広い範囲を表示することができます。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示される文字は小さくなっていきます。画面の文字が読みにくくなるときには、解像度を下げるようにしてください。



表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現できるかを示す尺度を表示色といいます。本機では通常、次の表示色が表示できます。

- ・ 16,777,216 色 (1,677 万色)
- ・ 65,536 色 (6 万 5 千色) * 1
- ・ 32,768 色 (3 万 2 千色) * 2
- ・ 256 色
- ・ 16 色

* 1: VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 で表示できます。

* 2: VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5 で表示できます。

また、6万5千色、3万2千色で表示することを、「High Color(ハイカラー)表示」、1,677万色で表示することを「True Color(トゥルーカラー)表示」あるいは、「Full Color(フルカラー)表示」と呼ぶこともあります。

走査周波数

CRTディスプレイでは、電子ビームを管面の蛍光体に当てて発光させ、文字やグラフィックを表示しています。このとき、電子ビームが画面の左端から右端へ移動することを水平走査、画面の上端から下端へ移動することを垂直走査と呼びます。電子ビームが蛍光体に当たると、発光するのは一瞬ですが、短時間(例えば1秒間)に何度も同じ点が発光すると、残像効果により文字、あるいはグラフィックとして認識できるのです。1秒間に水平方向に走査する回数を水平走査周波数と呼び、同様に1秒間に垂直方向に走査する回数を垂直走査周波数と呼びます。

液晶ディスプレイでは、液晶に電圧を加えると、光の反射率や透過率が変化する性質を利用して文字やグラフィックを表示しています。

本機にセットのディスプレイを使う場合

本機とセットのディスプレイは、標準で次の解像度と表示色、走査周波数を表示できます。

:表示可 ×:表示不可

解像度 (ドット)	表示色	垂直走査 周波数 (Hz)	15インチ CRTディスプレイ (DV15A2)	17インチ CRTディスプレイ (DV17C3)	液晶 ディスプレイ
640 × 480	16色	60	○	○	○ ^{*3}
	256色	75	○	○	○
	High Color ^{*1} True Color ^{*2}	85	○	○	×
800 × 600	256色	60	○	○	○ ^{*3}
	High Color ^{*1}	75	○	○	○ ^{*3}
	True Color ^{*2}	85	○	○	×
1,024 × 768	256色	60	○	○	×
	High Color ^{*1}	75	○	○	○
	True Color ^{*2}	85	○	○	×
1,280 × 1,024	256色 High Color ^{*1}	60	×	○	×

* 1: VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5のHigh Colorは3万2千色、VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5のHigh Colorは6万5千色です。

* 2: True Colorは、1,677万色です。

* 3: 拡大表示となります。拡大表示では文字や線の太さが不均一になることがあります。

上記以外の解像度、走査周波数ではディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。

- リフレッシュレートの切り替えについての注意
リフレッシュレートの既定値は、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に設定されています。この設定は「画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイがサポートしていないリフレッシュレートを選択すると表示が乱れたり、画面が正しく表示されない場合があります。変更するときは注意してください。

別売のディスプレイを使う場合

本機には、別売のディスプレイを接続することもできます。本機の表示機能は次の通りです。

解像度

640 × 480 ドット
800 × 600 ドット^{*1}
1,024 × 768 ドット^{*2}
1,280 × 1,024 ドット

* 1: 購入時の設定 (CRT ディスプレイセットモデル)

* 2: 購入時の設定 (液晶ディスプレイセットモデル、ディスプレイなしモデル)

表示色数

16 色
256 色
65,536 色 / 32,768 色^{*}
1,677 万色

表示できる色数は、各解像度によって異なります。

*: 購入時の設定

走査周波数

水平走査周波数 (31.5 ~ 68.5 KHz)
垂直走査周波数 (60 ~ 85 Hz)

使用できる周波数は、各解像度、表示色数によって異なります。別売のディスプレイを使用する場合は、左の表を参考に対応した周波数を選んでください。

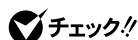


別売のディスプレイを使用する場合は、上記の条件を満たしていることを確認してください。ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。また、次の別売ディスプレイは使用できません。

- ・PC-KM212
- ・PC-KM174

解像度と表示色の変更

必要に応じて解像度や表示色を変更できます。



「画面のプロパティ」の画面は機種によって異なりますが、基本的な操作は同じです。

解像度と表示色を変更する

コントロールパネルを開く。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順へ進む)



画面は機種によって異なる場合があります。

「画面」をダブルクリック。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



画面は機種によって異なる場合があります。

「設定」タブをクリック。

「設定」タブのウィンドウが表示されます。



解像度を変更する。

「画面の領域」のつまみを「大」の方向にドラッグしてずらすと、高解像度になります。低解像度に変更する場合は、つまみを「小」の方向へドラッグしてずらします。設定できる解像度は、本体ディスプレイの表示機能によって変わります。

「色」の をクリック。

表示色一覧のメニューが表示されます。



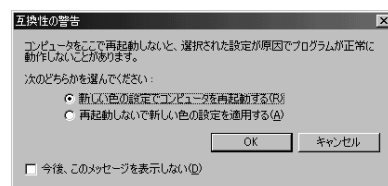
表示色を選ぶ。

(例「True Color(32 ビット)」を選ぶ)

「True Color(32 ビット)」が反転表示されます。

「OK」をクリック。

次のメッセージが表示されます。



「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリック。

本機が再起動し、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更する (簡易解像度切り替え機能)

解像度と表示色は、タスクバーから簡単に切り替えることができます。

タスクバー右隅のをクリック。

解像度と表示色の一覧メニューが表示されます。



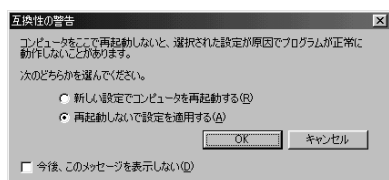
画面は機種によって異なる場合があります。

にマウスポインタを当てると、現在の設定を表示できます。



変更したい解像度と表示色の組み合わせを選んでクリック。

次のメッセージが表示された場合は、手順、を行ってください。



「再起動しないで設定を適用する」を選んで「OK」をクリック。

設定が変更されます。

「スタート」→「Windowsの終了」→「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機が再起動し、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更するときの注意

- 表示色数を変更した後に、本機を再起動しなかった場合、画面が正しく表示されないことがあります。また、アプリケーションソフトによっては、色が正常に表示されないことがあります。その場合は、Windowsを再起動してください。

- 解像度や表示色数を変更した場合には、画面位置がずれることがあります。そのときは、ディスプレイの画面位置を調整してください。画面位置の調整方法は、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイの省電力機能について

本機に、省電力機能を持つディスプレイを接続している場合、ディスプレイの省電力機能を使うことができます。ディスプレイセットモデルのディスプレイは、省電力機能に対応しています。

ディスプレイの省電力機能は、Windows上で設定します。コントロールパネルで設定した時間内に、まったく操作をしなかった場合、ディスプレイの画面を暗くして、消費電力を節約します。

ディスプレイの省電力機能を使う

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



画面は機種によって異なる場合があります。

「電源の管理」をダブルクリック。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



このウィンドウで、次の設定を行います。

・モニタの電源を切る

時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの省電力機能が働き、画面を暗くします(セットのディスプレイの場合、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します)。再度、ディスプレイの画面を表示させる場合は、キーボードのキーを押すか、マウスを軽く動かしてください。

購入時の状態では「なし」に設定されています。

✓チェック!!

システムスタンバイを設定した場合も、ディスプレイの画面は暗くなります。

設定が終了したら、「OK」をクリック。

ディスプレイ省電力機能が設定されました。

✓チェック!!

ディスプレイ省電力機能が働くと、画面が消えますが、本体の電源が切れている状態と間違わないようにしてください。

別売のディスプレイでディスプレイの省電力機能を使用する場合の注意

別売のディスプレイで、ディスプレイの省電力機能を使って画面が暗くなった場合、再度画面を表示させる方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

ディスプレイに合わせて設定する

別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。また、設定できるはずの解像度が設定できないこともあります。

別売のディスプレイを使用するときの注意

プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合は、必ず、次の手順を行ってください。

プラグ&プレイに対応しているディスプレイの場合は、起動時にモニタを検出したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージで、ディスプレイが検出されたことが確認できた場合は、この手順は必要ありません。

詳しくは、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

ただし、プラグ&プレイに対応しているディスプレイであっても、そのディスプレイで表示できるはずの高解像度が、この項の「解像度と表示色の変更」の手順で設定できない場合があります。その場合は、『困ったときのQ & A』をご覧くださいの上、ディスプレイの設定をやり直してください。

ディスプレイが本体に正しく接続されていることを確認する。

Windows 98 起動後に、「コントロールパネル」を開く。

(または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順に進む)

「コントロールパネル」が表示されます。



この画面は機種によって異なる場合があります。

「画面」をダブルクリック。

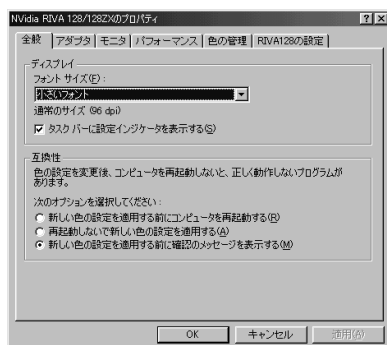
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



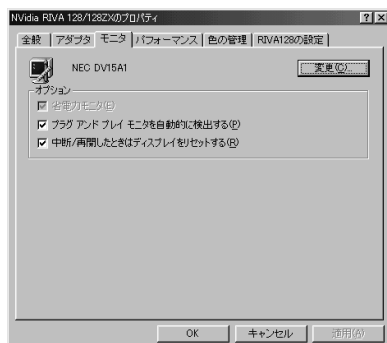
「設定」をクリック。
「設定」タブのウィンドウが表示されます。



「詳細」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「モニタ」をクリック。
「モニタ」タブのウィンドウが表示されます。



画面は、機種により異なる場合があります。

「変更」をクリック。
「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。



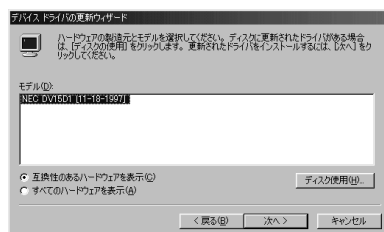
「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリック。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「すべてのハードウェアを表示」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



ディスプレイのドライバファイルが見つかった場合は、「このデバイス用に選択したドライバをインストールする準備ができました。」と表示され、ドライバのある場所が表示されます。

「製造元」と「モデル」を一覧から選ぶ。
ディスプレイ一覧に接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、「製造元」の欄で「標準モニタの種類」を選び、「モデル」の欄で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選んでください。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック。
ディスクを用意するようなメッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作してください。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
「モニタ」タブのウィンドウに戻ります。

「閉じる」をクリック。

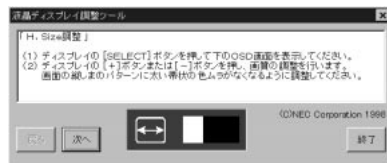
「OK」をクリック。

Windowsを再起動するようにというメッセージが表示された場合は、ほかのアプリケーションが終了していることを確認して、「はい」をクリックしてください。

液晶ディスプレイの画面調整 (液晶ディスプレイセットモデルのみ)

水平サイズ、位相、表示位置、コントラストの画面調整を行うことができます。

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリック。
「液晶ディスプレイ調整ツール」ウィンドウが表示されます。



画面の指示に従って調整を行います。

参照

調整のしかた→液晶ディスプレイ添付のマニュアル

省電力機能 (スタンバイ)

本機を使っていないときに、電源を切らなくても電力の消費を節約できる省電力機能(スタンバイ)について説明します。

概要

本機を使っていないときには、本機の電源を切っておくと、電力の節約になります。しかし、電源を切るには、作業中の状態を終了(アプリケーションを終了したり)して、Windowsを終了する必要がありますので、少しの間だけ本機を使わない場合には、つい電源を入れっぱなしにしがちです。

しかし、本機には、電源が入ったままでも電力消費を抑える機能があります。これを省電力機能(スタンバイ)といいます。この機能を使うと、本体は電源が入ったままでも、ファンを止めたり、ディスプレイの画面を暗くしたり、ハードディスクの電源を切ったりして、電力消費を抑えることができます。

このようにして電力消費を抑えている状態を「スタンバイ状態」と呼びます。スタンバイ状態のときは、作業していた内容は保持(記憶)されているので、もとの状態に復帰させると、すぐに作業が再開できます。

✓チェック!!

- ・プリンタやスピーカなどの周辺機器や、通信回線などは自動的に切れないので、注意してください。
- ・ファンは使用環境、温度などによっては、スタンバイ状態になっていても、回転することがあります。
- ・アプリケーションによっては、省電力機能のことを「サスペンド」という呼び方をしている場合があります。これは、スタンバイ状態にすることと同じ意味ですので、サスペンドをスタンバイに読みかえてください。また、アプリケーションによっては、スタンバイ状態から、もとの状態に復帰することを「レジューム」と呼んでいる場合があります。

電源の状態

本機の電源の状態について説明します。

- ・電源が入っている状態
通常、本機を使っている状態です。
- ・電源が切れている状態
Windowsを終了したり、電源スイッチを押したりして、本機の使用を終了している状態です。
- ・スタンバイ状態
さまざまな省電力機能(ファンを止める、ディスプレイの表示を消す、ハードディスクの電源を切るなど)により、消費電力が抑えられている状態です。本体の電源は入ったままですが、消費電力は、節約されています。
スタンバイ状態にする前の状態へ、すぐに復帰することができます。

■ スタンバイ状態での本機

スタンバイ状態になると、本機は次のようになります。

	本体		ディスプレイ	
	電源ランプ	スリープランプ	表示	電源ランプ
電源ON	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯
スタンバイ	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯

別売のディスプレイの場合は、異なることがあります。

スタンバイ状態にする

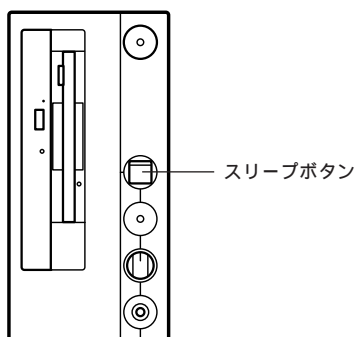
スタンバイ状態にするには、次の4つの方法があります。

- ・スリープボタンを使ってスタンバイ状態にする
- ・一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする
- ・Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする
- ・タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンバイ状態にする

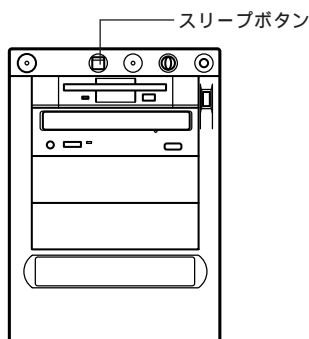
スリープボタンを使ってスタンバイ状態にする

本体のスリープボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

・コンパクトタイプの場合



・ミニタワータイプの場合



一定時間後に自動的にスタンバイ状態にする

「コントロールパネル」の「電源の管理」で時間を設定しておく、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的にスタンバイ状態になります。購入時には、約 20 分間で自動的にスタンバイ状態になるように設定されています。

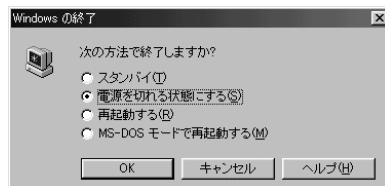
設定についてはこの項の「電源の管理のプロパティで設定する」をご覧ください。

Windows 98 終了時にスタンバイ状態にする

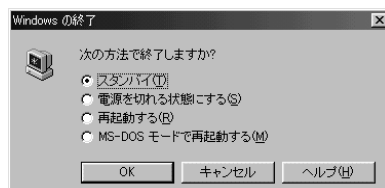
「Windows の終了」ウィンドウで、スタンバイ状態にする手順です。

「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。



「スタンバイ」をクリック。



「OK」をクリック。

スタンバイ状態になります。

タイマー機能で指定した時間に自動的にスタンバイ状態にする

「Timer-NX」のタイマー機能を使うと、指定した時間にスタンバイ状態にすることができます。

参照

・「Timer-NX」→「パソコン探検箱」・使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンの設定をする」

スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰する

スタンバイ状態から電源が入っている状態に復帰するには、次の4つの方法があります。

- ・スリープボタンを使って復帰する(スリープランプが点灯しているとき)
- ・マウスやキーボードを操作して復帰する
- ・「Timer-NX」のタイマー機能で指定した時間に自動的に復帰する
- ・電話やFAXを受信したときに自動的に復帰する(リング機能)
- ・タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰する

スリープボタンを使って復帰する

本体のスリープランプが点灯しているときに、本機のスリープボタンを押す。

マウスやキーボードを操作して復帰する

スタンバイ状態のときに、マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか押す。

タイマー機能で指定した時間に自動的に復帰する

「Timer-NX」のタイマー機能を使って、指定した時刻に、自動的に電源が入っている状態に復帰します。



- ・タイマー機能 → 「パソコン探検箱」 「使いこなそう VALUESTAR」 「パソコンの設定をする」

電話やFAXを受信したときに自動的に復帰する(リング機能)

電話やFAXを受信すると、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

■ Timer-NX で設定

「Timer-NX」のリング機能を使用して、電話やFAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。



- ・「Timer-NX」 → 「パソコン探検箱」 「使いこなそう VALUESTAR」 「パソコンの設定をする」

タスク スケジューラで指定した時間に自動的に復帰する

タスク スケジューラ(「マイコンピュータ」-「タスク」)を使うと、指定した時刻に自動的に電源が入っている状態に復帰し、指定したアプリケーションを起動することができます。



- ・タスク スケジューラの使い方 → Windows 98のヘルプ

電源の管理のプロパティで設定する

「電源の管理のプロパティ」で、省電力の設定ができます。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウの表示方法

「コントロールパネル」を起動する。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



この画面は機種によって異なる場合があります。

「電源の管理」をダブルクリック。

「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「電源設定」タブウィンドウでの設定

「電源設定」タブウィンドウでは、スタンバイ状態になるまでの時間や、ディスプレイ、ハードディスクの電源を切るまでの時間を設定したり、電源設定を新しく作成して、保存することができます。

電源の設定

次の設定ができます。設定が終了したら、「OK」をクリックしてください。

✓チェック!!

自動的にスタンバイ状態にならないようにするには、「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。

・システムスタンバイ

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後に本機がスタンバイ状態になり、消費電力を節約することができます。
購入時の状態では「20分後」に設定されています。

・モニタの電源を切る

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの省電力機能が働き、画面が暗くなります(セットのディスプレイの場合、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します)。
購入時の状態では「なし」に設定されています。

・ハードディスクの電源を切る

▼をクリックして、時間を設定します。
時間を設定すると、設定時間経過後にハードディスクドライブの電源が切れます。
購入時の状態では「30分後」に設定されています。

設定するときの注意

ACPIモード時(ご購入時)に、「システムスタンバイ」の設定時間を「モニタの電源を切る」の設定時間よりも長くした場合、「システムスタンバイ」は「モニタの電源を切る」が実行されてからの時間となります。

下記のような設定がされている場合、実際にシステムスタンバイが実行されるのは「モニタの電源を切る」の20分後である35分後となります。

システムスタンバイ : 20分後
モニタの電源を切る : 15分後

20分後にシステムスタンバイするように設定する場合は、下記の例のように設定してください。

例 1 :

システムスタンバイ : 15分後
モニタの電源を切る : 5分後

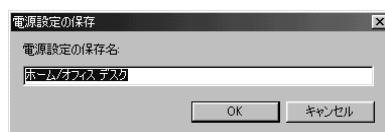
例 2 :

システムスタンバイ : 20分後
モニタの電源を切る : なし

新しい電源設定の作成

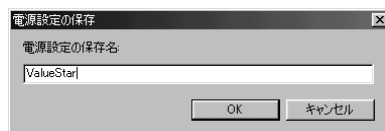
次の手順で、新しい電源設定を作成することができます。

「電源設定」タブウィンドウで「名前を付けて保存」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



新しい名前を付ける。

(例「ValueStar」)



「OK」をクリック。

新しい電源設定が作成されます。



必要に応じて、各電源の設定を行う。

設定が終了したら「OK」をクリック。
新しい電源設定として、保存されます。

✓チェック!!

購入時の状態では、「ホーム/オフィスデスク」に設定されています。この設定では、キーボードやマウスに触れない状態が20分以上続くと、スタンバイ状態になり、スリープランプが点灯します。

スタンバイ状態にするときの注意

スタンバイ状態にするときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、スタンバイ状態にする前の内容が失われたり、スタンバイ状態にする前の内容が復元できないこともあります。

■ スタンバイ状態にできないとき

使用するアプリケーションソフトによっては、スタンバイ状態からの復帰ができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、スタンバイ状態にしないでください。また、使用する周辺機器によっては、スタンバイ状態から復帰できないことがあります。

■ スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態にするときに次のことが起きますと、電源が切れた状態になるため、スタンバイ状態にする前の内容は失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
- ・停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示され、スキャンディスクが実行されます。画面の指示に従ってください。

■ スタンバイ状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、スタンバイ状態にする前の内容は保証されません。

- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMを入れ替えたとき
- ・スタンバイ状態にする前の内容の記憶中、または復元中に本機の環境を変更したとき
- ・スタンバイ状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にしても、スタンバイ状態から復帰後の内容は保証されません。

- ・Windowsの起動中または終了処理中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき

- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMを読み取り中のとき
- ・スタンバイに対応していない周辺機器、拡張ボードを取り付けたとき

■ スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されない場合

次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・アプリケーションソフトが動作しない
- ・スリープボタンを押すまたは、キーボードやマウスを操作しても、スタンバイ状態から復帰しない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、スタンバイ状態にしないでください。万一、スリープボタンを押したり、キーボードやマウスを操作してもスタンバイ状態から復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

■ その他の注意

- ・画面が暗くなっているても本体のスリープランプが点灯していないときは、スリープボタンを押しても復帰しません。
- ・通信ソフトを使用中の場合は、通信ソフトを終了させてからスタンバイ状態にしてください。通信状態のままスタンバイ状態にすることはできません。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰に多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- ・「デバイスマネージャ」でドライバなどの設定をしているときや、「プリンタウィザード」や「ハードウェアウィザード」、「モデムウィザード」実行中は、スタンバイ状態にしないでください。これらの画面を表示しているときに、スタンバイ状態になると、復帰した後、キーボードとマウスを使用することができなくなります。

- ・「CDプレーヤー」または「メディアプレーヤー」で音楽CDを再生しているときにスタンバイ状態にして復帰すると、スタンバイ状態にする前に再生を行っていたトラックの次のトラックから再生が行われず。
- ・「メディアプレーヤー」でビデオCDやMPEGデータを再生しているときは、スタンバイ状態にすることはできません。
- ・VirusScanのVShieldが常駐していると、自動的にスタンバイ状態になりません。自動的にスタンバイ状態にしたい場合は、VShieldの常駐を解除してください。
- ・FAX-NXが起動していると、自動的にスタンバイ状態になりません。自動的にスタンバイ状態にしたい場合は、FAX-NXを終了してください。FAX-NXを起動しているときにスタンバイ状態にしたい場合は、スリープボタンを押してください。

サウンド機能

本機は、FM 音源機能、PCM 録音 / 再生機能を備えています。

概要

PCM 録音 / 再生機能

PCM録音/再生機能は、マイクロホンから入力した音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換しているような処理を加える機能です。人の音声などを、原音に近い音で再現できます。

インストールされているWindowsのサウンド機能を使えば、ソフトに含まれる音声データを再生したり、入力した音声を編集したり、文書などに貼り付けたりできます。

MIDI

MIDIは、Musical Instruments Digital Interfaceの頭文字をとったもので、楽器同士を接続して、演奏情報や音色情報をやり取りするための規格です。

MIDIでは、音程や音色などの演奏に関する情報のほか、設定を切り替えるための情報、テンポをコントロールするための情報などのさまざまな情報をやり取りできるので、表現力豊かな演奏ができます。

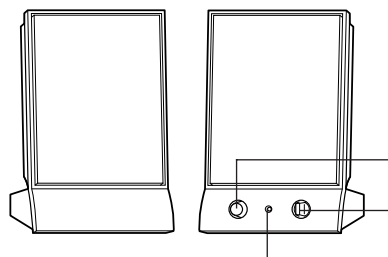
スピーカ

外付けスピーカの各部の名称

本機には外付けスピーカが添付されています。本機の音量を調節する場合は、外付けスピーカのボリュームつまみを使います。右に回すと大きく、左にまわすと小さくなります(本体前面のボリュームつまみは、ヘッドホンの音量調節に使います)。

前面

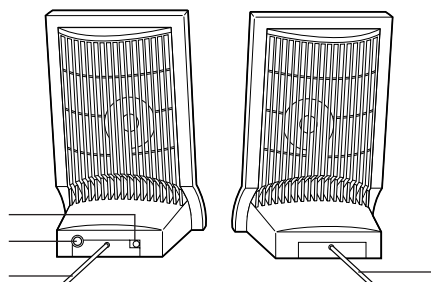
スピーカ(L) スピーカ(R)



電源スイッチやボリュームがついている方がスピーカ(R)です。

背面

スピーカ(R) スピーカ(L)



電源スイッチ(①)

スピーカの電源を入れたり切ったりするスイッチです。1回押すと電源が入り、もう1回押すと電源が切れます。

音量ボリューム(㊦)

スピーカの音量を調整します。右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

電源ランプ

スピーカの電源が入っているときは緑色に点灯します。

スピーカケーブル

本体とスピーカを接続するためのケーブルです。

出力コネクタ(㊦)

左右のスピーカを接続するためのコネクタです。

電源コネクタ(DC IN6V)

添付のACアダプタを接続するためのコネクタです。

スピーカケーブル

左右のスピーカを接続するためのケーブルです。スピーカ(R)の出力コネクタ(㊦)に接続します。

ボリュームコントロール

「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を通じて再生される音声の量や、内蔵音源を通じて録音するときの入力レベルをコントロールすることができます。

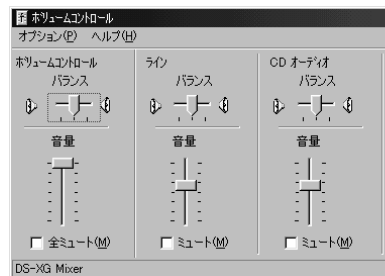
各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音割れ(音が途切れる現象)があるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリック。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウ

「ボリュームコントロール」ウィンドウのメニューバーから「オプション」を選んで、「プロパティ」をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、「再生」「録音」「その他」のどれが選ばれているかにより、表示される項目を切り替えることができます。表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次のようになります。

項目名	音量調節の種類			説明
	再生	録音	その他	
ボリュームコントロール				スピーカから出力される全ての音量を調整します。
レコーディングモニター				録音時の音声をスピーカから出力する際の音量を調整します(録音の音声は、音量の調整の「録音」で選択しているもので調整します)。
テレフォン				FAXボードからの入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
マイクフォン				マイクホン端子に接続されているマイクホンから入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
ライン				LINE IN端子に接続されているオーディオ機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
CD オーディオ				CDから出力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
ビデオ				TVまたは音声入力端子に接続されている機器から入力される音をスピーカから出力するときの音量を調整します。
AUX				DVD再生の音をスピーカから出力するときの音量を調整します。
ステレオ アウト				スピーカから出力される全ての音声を録音するときの音量を調整します。
Wave アウト				WAVEデータなどのPCM音源を使用して出力されるの音量を調整します。
Midi アウト				MIDIデータなどのMIDI音源を使用して出力されるの音量を調整します。
Mono アウト				FAXモデムボードへ出力する音の音量を調整します。
3Dワイド				3Dワイドステレオの効果の広がりを設定します。

■ マイクロホンの音量調整

別売のマイクロホンを接続したときは、次のように、音量を調節します。

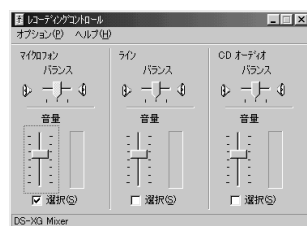
「音量の調整」欄の「録音」を選ぶ。

「録音」の前にチェックマークがつき、「表示するコントロール」欄の項目も変わります。



「OK」をクリック。

「レコーディングコントロール」ウィンドウが表示されます。



「マイクフォン」の音量つまみの部分をドラッグしてボリュームを調節する。

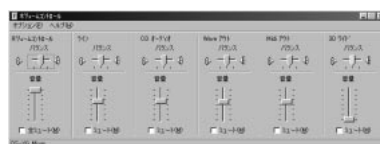
調節が終わったら、 をクリックして、このウィンドウを閉じる。

ハウリング抑止

接続するマイクロホンによっては、マイクロホンのボリュームを最小にしてもハウリングを起こすことがあります。このようなときは、次の手順でマイクロホンのボリュームを調整してください。

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」→「ボリュームコントロール」をクリック。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



メニューバーで「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。

「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



「再生」をクリック。

「マイクロホン」のチェックボックスをチェックする。



「OK」をクリック。

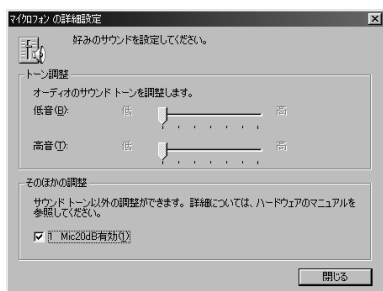
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。



「オプション」→「トーン調整」をクリック。
「トーン」ボタンが追加表示されます。



「トーン」をクリック。
「ボリュームコントロールの詳細設定」ウィンドウが表示されます。



「その他の調整」の「Mic 20dB 有効」のチェックボックスのチェックを外す。
なお、本機では「トーン調整」は使えません。

設定が終わったら、「閉じる」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウの画面に戻ります。

をクリックして、ウィンドウを閉じる。
トーン調整が完了です。

ヤマハ DS-XG 設定

シンセサイザーや3Dサウンドの設定をすることができます。

コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

「ヤマハ DS-XG 設定」アイコンをダブルクリック。
ヤマハ DS-XG 設定が起動します。



詳しい使い方は、ヘルプを参照してください。

サウンド全般についての注意

スピーカを使用するときの注意

⚠注意



感電注意

添付のスピーカ専用ACアダプタを使用してください。



発火注意

添付以外の AC アダプタを使用すると、感電、発煙、発火の原因となります。



発火注意

AC アダプタのケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げないでください。

壁に押しつけて曲がった状態など、ケーブルのつけ根部分を圧迫するような状態で使用すると、発煙、火災の原因となります。

ボリュウムコントロールを使用するときの注意

・ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの低解像度の場合、「ボリュウムコントロール」ですべての音源コントロールが表示されない、または右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。

この場合には、ディスプレイの解像度を変更するか、「プロパティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコントロールが表示されるよう変更してください。

なお、「ボリュウムコントロール」の表示が一部欠けた状態で解像度の切り替えを行っても、「ボリュウムコントロール」の表示は変更されません。一度、「ボリュウムコントロール」を終了し、もう一度「ボリュウムコントロール」を起動してください。

・CDまたはTVの音を録音し、そのデータを再生したとき、音が小さく感じられる場合があります。これはCD/TVの録音の音量は、CD/TVの出力ボリュウムの大きさに依存するためです。したがって、CDまたはTVの録音を行うときにはあらかじめ「ボリュウムコントロール」を使用し、CD/TVの音量を大きくしておいてください。

サウンド機能を使用するときの注意

・本機では、本体内蔵のサウンド機能や周辺機器を増設して、Windows 98上でマルチメディア機能を利用することができます。

利用できるマルチメディアの各機能、必要な周辺機器については次の通りです。

ウェーブフォーム データの録音・再生	MIDIデータの演奏	MIDIデータの記録
-----------------------	------------	------------

×

○：本体内蔵のサウンド機能で利用することができます。

FAX モデムボード

本機に標準で内蔵されている FAX モデムボードには、ファクシミリ通信機能、データ通信機能などがあります。また市販の電話機を接続するためのコネクタがついています。



参照

・Aロマンドについて→付録「AT コマンド」

概要

ここでは、FAX モデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にセットアップ/添付されている次のデータ通信ソフトウェアを使用することにより、インターネットやパソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

- ・Microsoft Windows 98 のハイパーターミナル
- ・BIGLOBE インターネット接続ツール
- ・インターネット無料体験
- ・AOL
- ・ニフティサーブでインターネット
- ・インターネットエクスプローラ
- ・JustView 3.0 (一太郎モデルのみ)

その他のソフトウェアでは正常に動作しない可能性があります。

FAX 通信機能

本機のデータをダイレクトに FAX に送信できます。また、本機で FAX を受信でき、効率的に FAX 送受信をサポートします。

FAX モデムボードの FAX 通信機能は、本機にインストールされている次の FAX ソフトウェアでの動作を保証しています。

- ・FAX-NX

その他の FAX ソフトウェアでは正常に動作しない可能性があります。

FAX テスト交信サービス

「FAX-NX」を使用して、FAX の送受信のテストができます。



参照

- ・FAX-NX の使い方→「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「FAX を送る、電話番号を調べる」

最高 56000bps までの各種通信

電話回線を利用して最高 56000bps の全二重データ通信と最高 14400bps の半二重 FAX 通信ができます。

・コンパクトタイプの場合

送受信: 300/1200/2400/4800/7200
9600/12000/14400/16800
19200/21600/24000/26400
28800/31200/33600bps

受信のみ: 28000/29333/30666/32000
33333/34000/34666/36000
37333/38000/38666/40000
41333/42000/42666/44000
45333/46000/46666/48000
49333/50000/50666/52000
53333/54000/54666
56000bps

FAX: 300/2400/4800/7200/9600/
12000/14400bps

・ミニタワータイプの場合

送受信: 300/1200/2400/4800/7200
9600/12000/14400/16800
19200/21600/24000/26400
28800/31200/33600bps

受信のみ: 28000/29333/30667/32000
33333/34000/34667/36000
37333/38000/38667/40000
41333/42000/42667/44000
45333/46000/46667/48000
49333/50000/50667/52000
53333/54000/54667
56000bps

FAX: 300/2400/4800/7200/9600
12000/14400bps

FAX モデムボードを使用するときの注意

✓チェック!!

標準で取り付けられている FAX モデムボードは、ご購入時に取り付けられていたスロットで使用してください。

適用電話回線について

FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、FAX モデムボードやパソコン本体等を破損する場合があります。

送信レベルについての注意

通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- ・キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。キャッチホン というサービスを利用すれば、通信が切れることはありません。キャッチホン についてはNTTにご相談ください。
- ・FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要です(→付録「AT コマンド」)。加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときはNTTに確認してください。
- ・コードレスホンや親子電話、構内回線など、公衆回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- ・FAX モデムボードはFAX 通信網には対応していません。

・FAX モデムボードに接続できる回線は2線式のみです。

・本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。

・FAX モデムボードに接続できる電話機は2線式の内線用のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信 / 受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。

・データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア (RTS/CTS) (購入時の設定) に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。

・FAX を送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。

・回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。

・K56flex およびITU-T V.90 の最大受信速度 56000bpsは、理論値であり、加入電話回線での通信速度とは異なります。

・電話局の交換機の種類によっては、14400bps でFAXの通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9600bps以下にしてください。

・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。

■ポート番号を変更する

購入時の状態では、内蔵 FAX モデムボードのポート番号はCOM2 になっています。

コンパクトタイプの内蔵 FAX モデムボードのポート番号は変更できません。

ミニタワータイプの内蔵 FAX モデムボードのポート番号を変更するには、次のようにしてください。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、次の手順を行うことができません。次の手順を行う場合は、「アドバンスモード」に変更してください。

変更方法はPART1「Windows 98 の利用環境の変更 CyberTrio-NX 」をご覧ください。

ポート番号を変更すると、通信アプリケーションによっては、動作しなくなる場合があります。通信アプリケーション側でポートの設定を変更できる場合は、変更したポート番号に合わせてください。

■ ミニタワータイプの場合

「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

「システム」をダブルクリック。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。

「モデム」の「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice(BEBB)」を選んで、「プロパティ」をクリック。

「リソース」タブをクリックして、「自動設定を使う」のチェックをはずす。

「基にする設定」の値を変更する。

COM3 の場合: 「基本設定 0002」

COM4 の場合: 「基本設定 0003」または
「基本設定 0004」

COM2 に戻す場合: 「基本設定 0001」

リソースが競合していないことを確認してください。

競合している場合、ポートの変更はできません。

「OK」をクリック。

プロパティの画面に戻ります。

「OK」をクリック。

「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されます。

「はい」をクリック。

しばらく時間がかかります。

画面が元に戻ったら、「システムのプロパティ」で
「OK」をクリック。

Windows を再起動する。

シリアルコネクタ

本機に標準で内蔵されているシリアルコネクタには、外付けモデムやターミナルアダプタなどを接続することができます。

概要

シリアルコネクタは、周辺機器を接続するためのコネクタです。通信を行うときに必要な機器（モデムやISDNターミナルアダプタ）やデジタルカメラなどを接続します。

ミニタワータイプには、シリアルコネクタは2つあり、それぞれシリアルコネクタ（チャンネル1）シリアルコネクタ（チャンネル2）とといいます。

シリアルコネクタ（チャンネル1）は、購入時の状態ですぐ使えるようになっています。

しかし、シリアルコネクタ（チャンネル2）は、購入時の状態では、使えないように設定されています。シリアルコネクタ（チャンネル2）を使う場合には、まず使えるように設定します。

✓チェック！

コンパクトタイプには、シリアルコネクタは1つあり、購入時の状態ですぐ使えるようになっています。

シリアルコネクタの名称の違い

シリアルコネクタは、「BIOS セットアップメニュー」やWindows 98の「デバイスマネージャ」では別の名称になっていますが、すべて同じものを指します。

この本	シリアルコネクタ（チャンネル1、2）
「BIOS セットアップメニュー」	シリアルポート A、B
「デバイスマネージャ」	通信ポート

シリアルコネクタ（チャンネル2）を使用する（ミニタワータイプの場合）

シリアルコネクタ（チャンネル2）を使えるようにするには、「BIOS セットアップメニュー」で次の設定をします。

本機の電源を入れ、「NEC」ロゴ画面で「< F2 > キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、すぐに【F2】を押す。

「セットアップを起動します。…」と表示された後、BIOS セットアップメニューが起動します。

【→】を1回押す。

メニューバーの「詳細」が反転表示されます。

【↓】を押して「周辺機器設定」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。

「周辺機器設定」のサブメニューが表示されます。

【↓】を押して「シリアルポート B」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。

設定内容の選択肢が表示されます。

【↓】を押して「自動」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。

【F10】を押す。

「セットアップ確認」ウィンドウに「設定を保存して終了しますか？」と表示されます。

「はい」にカーソルを合わせた状態であることを確認して【Enter】を押す。

設定の変更を保存してBIOSセットアップメニューを終了し、自動的に再起動します。また、メニューバーの「終了」でBIOS セットアップメニューを終了することもできます。

■ 正常に動作しない場合

上記の設定をしても、シリアルコネクタ（チャンネル2）が使えない場合は、「割り込み要求（IRQ）」が競合している可能性があります。

次の手順で確認してください。

「CyberTrio-NX」のモードを「アドバンスモード」に変更する。

（「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go to アドバンスモード」）

「コントロールパネル」を起動する。

（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

「システム」をダブルクリック。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

「コンピュータ」をダブルクリック。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで「設定」の「03」に「通信ポート」以外のデバイスが設定されていないか確認してください。

「通信ポート」以外のデバイスが設定されている場合は、そのデバイスの割り込みを他の割り込みに変更してください。

 参照

・割り込みを変更する手順 → PART 4 「デバイスマネージャ」の「PCIが使用する割り込みを変更する」

デバイスマネージャ

デバイスマネージャとは、プラグ&プレイ準拠のデバイス管理ソフトです。本機に接続されるデバイスの状態確認のほか、ドライバやリソースの設定/変更などができます。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、デバイスマネージャでの設定はできません。「アドバンスモード」に変更して、設定をしてください。

📖 参照

・モードの変更→PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX 」

起動

コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



画面は機種によって異なる場合があります。

「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!!

CyberTrio-NXの警告画面が表示されたら「アドバンスモードに変更」をクリックしてから、もう一度「システム」をダブルクリックしてください。



「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。



機種によって画面の内容は異なる場合があります。

✓チェック!!

「PS/2 互換マウスポート」に黄色い「！」がついていますが、異常ではありません。

デバイスドライバの変更

ここでは、例としてプリンタドライバを変更してみます。

「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」)



「ポート (COM/LPT)」をダブルクリック。
「ポート (COM/LPT)」フォルダの内容が表示されます。



「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
「プリンタポート (LPT1)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「ドライバ」タブをクリック。
「ドライバ」タブのウィンドウが表示されます。



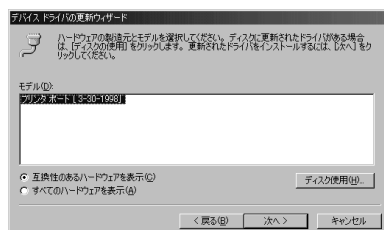
「ドライバの更新」をクリック。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。



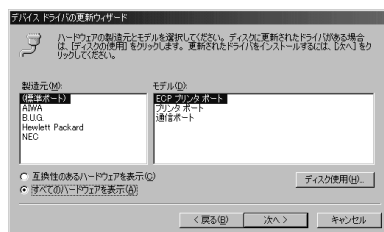
「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選んで、「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「すべてのハードウェアを表示」を選ぶ。
「モデル」の欄に、デバイスドライバの一覧が表示されます。



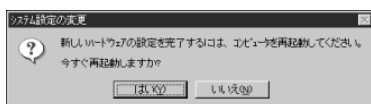
必要なデバイスドライバを選んで、「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



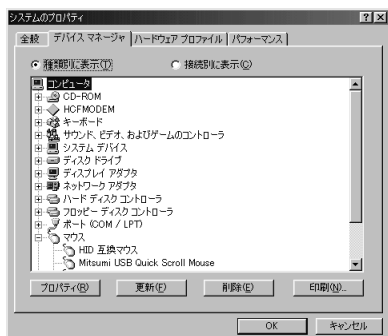
「はい」をクリック。
コンピュータの再起動が始まります。
以上で、デバイスドライバの変更操作は終了です。

デバイスのリソース設定の変更

通常、プラグ&プレイ準拠のデバイスは、デバイスマネージャによって調停されています。つまり、別々のデバイスが、同じリソースを要求する場合、設定変更は自動的に行われます。したがって、どうしても必要な場合を除いては、リソース設定は基本的に変更する必要はありません。しかし、リソース設定固定のデバイスを使用して、他のデバイスと競合する場合は、次のようにしてリソース設定を変更します。

ここでは、プリンタポートのリソースを変更してみます。

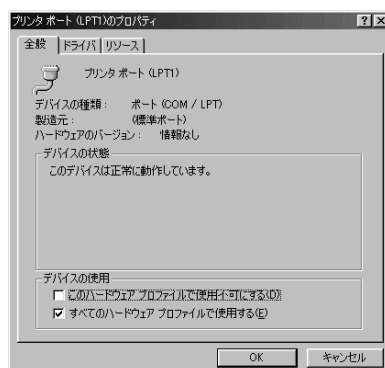
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」)



「ポート (COM/LPT)」をダブルクリック。
「ポート (COM/LPT)」フォルダの内容が表示されます。



「プリンタポート (LPT1)」をダブルクリック。
「プリンタポート (LPT1) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



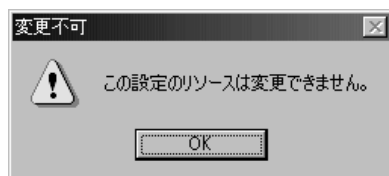
「リソース」タブをクリック。
「リソース」タブのウィンドウが表示されます。



「自動設定を使う」のチェックをはずす。
「設定の変更」ボタンが濃い表示になり、有効になります。



ここで、「リソースの種類」から変更したい「I/O の範囲」または「割り込み要求」をクリックして、「設定の変更」をクリックすると、リソースの変更ができます。ただし、次のようなメッセージが表示されたデバイスは、リソースの変更はできません。



✓チェック!!

デバイスによっては、readmeファイル(「はじめにお読みください」)に、変更方法が記載されていることがあります。

PCI が使用する割り込みを変更する

PCI デバイスが使用する割り込みを変更する場合は、「BIOS セットアップメニュー」を使用します。

📖 参照

・「BIOS セットアップメニュー」→ PART5「BIOS セットアップメニュー」

電源を入れ、「NEC」ロゴ画面で「< F2 > キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、すぐに【F2】を押す。

「セットアップを起動します。…」と表示された後、BIOS セットアップメニューが起動します。

「詳細」メニューで「PCI 設定」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。

設定したい割り込みラインにカーソルを合わせ【Enter】を押す。

設定したい割り込みレベルにカーソルを合わせ【Enter】を押す。

PCIが使用する割り込みレベルの設定ができるようになります。

【F10】を押す。

「セットアップ確認」ウィンドウに「設定を保存して終了しますか?」と表示されます。

「はい」にカーソルを合わせて【Enter】を押す。

設定の変更を保存してBIOSセットアップメニューを終了し、自動的に再起動します。また、メニューバーの「終了」でBIOS セットアップメニューを終了することができます。

✓チェック!!

IRQ14 と IRQ15 は選ばないでください。ハードディスクやIDEインターフェイスが使用できなくなり、本機が起動できなかったり、動作がおかしくなります。

CD-ROM などの取り扱い

DVD-ROM モデルではDVD-ROM ドライブが、CD-ROM モデルではCD-ROM ドライブが標準で装備されています。各種ドライブで使用できるメディアの取り扱いについて説明します。

概要

- ・CD-ROM ドライブ(CD-ROM モデルの場合)
本機には、CD-ROM ドライブが標準で搭載されています。

本機のCD-ROM ドライブでは、CD-ROM やCD-R メディア、音楽CD、ビデオCDなどを読み取ることができます。CD-ROM は、1 枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。

- ・DVD-ROM ドライブ(DVD-ROM モデルの場合)
本機には、DVD-ROM ドライブが標準で搭載されています。

本機のDVD-ROM ドライブでは、CD-ROM やDVD-ROM(DVD VIDEO ディスク)、CD-R メディア、音楽CD、ビデオCDなどを読み取ることができます。CD-ROM は、1 枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などのような大量のデータを扱うことができます。DVD-ROM は、CD-ROM よりさらに多くの記憶容量があります。

各種メディアの取り扱いの注意

■ ディスクの取り扱いの注意

ディスクを壊さないよう、次の点に注意して大切に取扱いってください。

- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・ケースの中央を押しながら取り出してください。

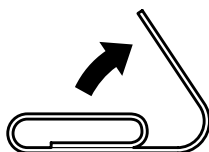
- ・文字の書かれている面を上にして、ディスプレイにいないに置いてください。
- ・ディスクの上にものをのせたり曲げたりしないでください。
- ・ラベルなどを貼らないでください。
- ・キズをつけたり字などを書いたりしないでください。
- ・落として強い衝撃を与えたり、キズをつけたりしないでください。
- ・指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際は、CD 専用のクリーナーを使用してください。
- ・レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使用しないでください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ・使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。

非常時のメディアの出し方

停電やソフトウェアの暴走などにより、CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブからCD-ROMなどのメディアが取り出せなくなったときに、強制的にメディアを取り出す方法です。

取り出す準備

太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm以上(指でつまむ部分を除く)の針金を用意してください。
大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。



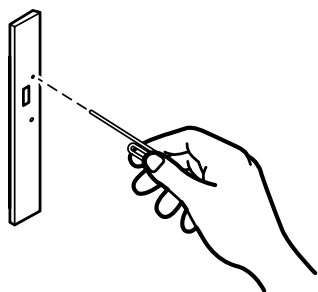
取り出す方法

取り出す方法はモデルにより異なります。

コンパクトタイプの場合

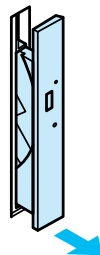
本機の電源を切る。

ディスクトレイの直径2mm程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

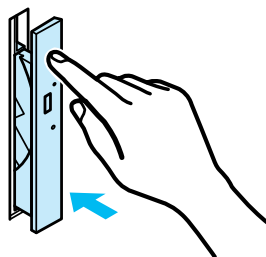


ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。



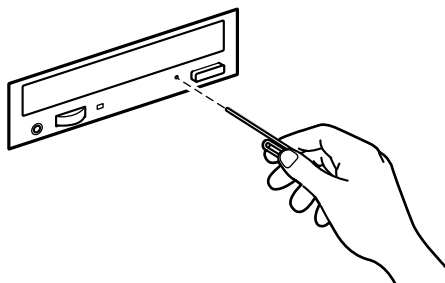
ディスクトレイの前面を、イジェクトボタンを押さないようにディスクトレイが元通りに収納されるまで押し込む。



■ ミニタワータイプの場合

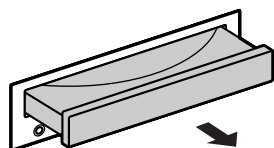
本機の電源を切る。

ディスクトレイの下に直径2mm程度の穴に、上記の「取り出す準備」で用意した針金を差し込み、強く押し込む。

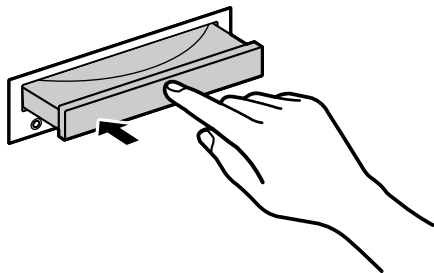


ディスクトレイが15mmほど飛び出します。

ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す。



ディスクトレイの前面を、ディスクトレイが元通りに収納されるまで押し込む。



エラーメッセージについて

CD-ROM から起動しているプログラムを実行中に、CD-ROM を取り出すと、次のようなメッセージが表示されます。

ドライブX : のCD-ROM読み取りエラー
シリアル番号 XXXX-XXXXのCD-ROM ****を、
ドライブ : に入れてください。
CD-ROMが入っている場合は、クリーニングが必要です。
OKはEnter、キャンセルはEscキーを押してください。 : OK

この場合は、取り出したCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

P A R T

5

本機の設定を変更する

-
- BIOS セットアップメニュー
 - 割り込みレベルと DMA チャンネル
 - 電源管理モードについて

BIOS セットアップメニュー

「BIOS セットアップメニュー」ではハードウェア環境の確認と変更、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

✓チェック!!

BIOS セットアップメニューは画面上では「Phoenix BIOSセットアップユーティリティ」と表示されます。

BIOS セットアップメニューを使ってできること

次のような設定ができます。

- ・現在の日付と時間の設定
- ・BIOS セットアップメニューで使用する言語の選択
- ・ハードウェア環境の確認と変更
- ・セキュリティの設定
- ・省電力管理の設定
- ・起動の設定

BIOS セットアップメニューを使う

BIOS セットアップメニューの起動とメイン画面

電源を入れ、「NEC」ロゴの画面で「< F2 > キーを押すと、セットアップを起動します。」と表示されたら、すぐに【F2】を押す。
「セットアップを起動しています。…」と表示された後、BIOS セットアップメニューが起動します。

✓チェック!!

Windows が起動した場合は、Windows を終了して電源を切り、もう一度手順 からやり直してください。

Phoenix BIOS セットアップユーティリティ			
メイン	詳細	セキュリティ	省電力管理
システム時刻: システム日付: 言語: フロッピーディスクA: ▶ プライマリマスタ ▶ プライマリスレーブ ▶ セカンダリマスタ ▶ セカンダリスレーブ ▶ キーボード機能 起動時の自己診断画面 システムメモリ: 拡張メモリ: BIOS リビジョン	[XX:XX:XX] [XXXX/XX/XX] [日本語 (JP)] [1.44/1.25Mb 3.5"] [XXXXMB] [なし] [CD-ROM] [なし] [使用しない]		
F1 ヘルプ Esc 終了	↑ ↓ 項目の選択 → ← メニューの選択	+/− 値の変更 Enter サブメニューの選択	F9 デフォルトの設定 F10 保存して終了

メニューバー

パラメータ

キーステータスバー

BIOS セットアップメニューの終了

変更した設定を有効にして終了する場合

【F10】を押す。
「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」を選んで【Enter】を押す。
設定値が CMOS に保存され、BIOS セットアップメニューが終了します。また、メニューバーの「終了」でも BIOS セットアップメニューを終了することができます。

起動前の設定のまま終了する場合

【←】【→】でメニューバーの「終了」を選ぶ。

【↓】を押して「変更を保存せずに終了する」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。
「設定が保存されていません！保存してから終了しますか？」と表示されます。

【→】を押して「いいえ」にカーソルを合わせ【Enter】を押す。

BIOS セットアップメニューを起動する前の設定のまま（設定の変更を行った場合はすべて無効にして）BIOS セットアップメニューが終了します。

デフォルト値の設定

【F9】を押す。
「セットアップ確認」ウィンドウが表示されます。

「はい」を選んで【Enter】を押す。
デフォルト値を CMOS から読み込みます。また、メニューバーの「終了」でもデフォルト値の設定ができます。

次にメニューバーで選択された各画面について説明します。

BIOS セットアップメニューの基本操作

- ・操作はキーボードで行います。
- ・【←】、【→】でメニューバーのカーソルを選択し、【↑】、【↓】で設定項目を選択します。
- ・設定内容(例: システム時計の時、分、秒)のカーソル移動は【Tab】で選択します。設定内容の値は【+】、【-】で変更します。
- ・▶印がついた設定項目は【Enter】でサブメニューを表示し、【Esc】で元の画面に戻ります。

メインの設定

■ システム時刻

現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。時間については24時間形式で入力します。

■ システム日付

日付を「年/月/日」で入力します。ただし、言語を英語に設定しているときは、「月/日/年」で入力します。

■ 言語

BIOS で使用する言語を設定します。日本語または英語を選べます。

■ フロッピーディスク A

フロッピーディスクドライブのモードを選びます。表中の  は購入時の設定です。

設定項目	設定内容
フロッピーディスクA	使用しない
	360Kb 5.25"
	1.2Mb 5.25"
	720Kb 3.5"
	1.44/1.25Mb 3.5"
	2.88Mb 3.5"

■ プライマリマスタ

現在接続されているIDEデバイスが表示されます。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面になります。

【Esc】を押すと元の画面に戻ります。

表中の  は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
タイプ	自動	BIOSが自動的にシリンダ、ヘッド、セクタを設定します。
	/なし/CD-ROM/ 取外し可能IDE/ 取外し可能ATAPI/ Other ATAPI/ユーザ	
32ビットI/O	使用しない/使用する	32ビットIDEデータ転送を使用するかどうかを設定します。

■ プライマリスレーブ

プライマリマスタの設定と同様です。

■ セカンダリマスタ

プライマリマスタの設定と同様です。

■ セカンダリスレーブ

プライマリマスタの設定と同様です。

■ キーボード機能

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニュー設定画面になります。

【Esc】を押すと元の画面に戻ります。

表中の  は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
Num lock	自動/オン/オフ	システム起動時にNum Lockをオンにするかどうかを設定します。
キークリック	使用しない/使用する	キークリックを使用するかどうかを設定します。
キーボード自動リポート間隔	30/秒、26.7/秒、21.8/秒 18.5/秒、13.3/秒、10/秒 6/秒、2/秒	キーリポート間隔を設定します。
キーボード自動リポート待ち時間	1/4秒、1/2秒、3/4秒 1秒	キーリポートが開始されるまでの待ち時間を設定します。
USBレガシー機能	使用する/使用しない	「使用する」を選択するとUSBレガシー機能を有効にします。

■ 起動時の自己診断画面

起動時に自己診断画面を表示するかどうかを設定します。「使用しない」(購入時)に設定すると起動時間が短くなります。

■ システムメモリ

搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

■ 拡張メモリ

搭載されている拡張メモリを表示します。

■ BIOS リビジョン

BIOS のリビジョンを表示します。

詳細の設定

■ プラグ&プレイ O/S

プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合には、「はい」(購入時)を選びます。

■ 設定値の初期化

システムの設定値を初期化したい場合には、「する」を選びます。購入時には「しない」に設定されています。

■ PCI 設定

各 PCI デバイスの割り込み番号 (IRQ) を設定します。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面になります。

表中の  は購入時の設定です。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
PCI IRQ line 1	使用しない / 自動選択 /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 1 で使用する IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 2	使用しない / 自動選択 /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 2 で使用する IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 3	使用しない / 自動選択 /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 3 で使用する IRQ 番号を設定します。
PCI IRQ line 4	使用しない / 自動選択 /3/4/5/7/9/10/ 11/12/14/15	PCI IRQ line 4 で使用する IRQ 番号を設定します。

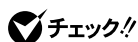
PCI デバイスは ISA デバイスが使用している割り込み番号を使用することはできません。割り込み番号が重複しないように設定する必要があります。通常は、「自動選択」に設定してください。

■ キャッシュメモリ

この項目の設定は変更しないでください。

■ 周辺機器設定

各種周辺機器の設定を行います。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面になります。



コンパクトタイプの場合、「シリアルポート B」の項目はありません。

表中の  は購入時の設定です。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
シリアルポート A	使用しない	シリアルポート A は使用できません。
	使用する	ユーザが I/O ベースアドレスと割り込み番号を設定することができます。
	自動	BIOS が I/O ベースアドレスと割り込み番号を自動的に設定します。
	PnP OS	プラグ & プレイに対応した OS が I/O ベースアドレスと割り込み番号を自動的に設定します。
I/O ベースアドレス	3F8/2F8/3E8/2E8	シリアルポート A に I/O ベースアドレスを設定します。
割り込み	IRQ3 / IRQ4	シリアルポート A に割り込み番号を設定します。
シリアルポート B		シリアルポート A と同様です。購入時には「使用しない」に設定されています。
パラレルポート	使用しない	パラレルポートは使用できません。
	使用する	ユーザがパラレルポートのモード、I/O ベースアドレス、割り込み番号を設定することができます。
	自動	BIOS が自動的にパラレルポートの設定を行います。
	PnP OS	プラグ & プレイに対応した OS が自動的にパラレルポートの設定を行います。
モード	出力のみ / 双方向 / ECP	パラレルポートにモードを設定します。
I/O ベースアドレス	278/3BC / 378	パラレルポートに I/O ベースアドレスを設定します。
割り込み	IRQ5 / IRQ7	パラレルポートに割り込み番号を設定します。
フロッピーコントローラ	使用しない / 使用する / 自動	オプションのフロッピーディスクを使用する場合は「使用する」に設定します。
I/O ベースアドレス	プライマリ / セカンダリ	オプションのフロッピーディスクの I/O ベースアドレスを設定します。

■ 大容量ディスクアクセスモード

この項目の設定は変更しないでください。

■ ローカルバス IDE アダプタ

内蔵の IDE アダプタを使用するかどうかを設定します。購入時には「両方」に設定されています。

■ ビデオ詳細設定

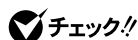
ビデオに関する各種設定を行います。

■ クイックブート

「使用する（購入時）」に設定した場合、システム起動時の一部のテストをスキップします。システム起動時間が短縮されます。

■ サウンド

サウンドのリソースを設定します。この項目にカーソルを合わせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面になります。



■ チェック!!

VC33H/5、VC30H/5の場合、この項目はありません。

表中の  は購入時の設定です。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
サウンド	使用しない/ 使用する 	「使用しない」を選択するとサウンドを切り離します。

■ DMI イベントログ

起動時に起きたシステムのイベントログを参照できます。

セキュリティの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。

■ スーパーバイザパスワード

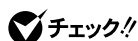
スーパーバイザパスワードの設定状態を表示します。購入時の状態ではパスワードが設定されていないため、「クリア」と表示されます。

設 定	ク リ ア
スーパーバイザパスワードが設定されています。	スーパーバイザパスワードが設定されていません。

■ ユーザパスワード

ユーザパスワードの設定状態を表示します。購入時の状態ではパスワードが設定されていないため、「クリア」と表示されます。

設 定	ク リ ア
ユーザパスワードが設定されています。	ユーザパスワードが設定されていません。



■ チェック!!

スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの設定や入力のしかたについては後述の「パスワードの設定と入力」をご覧ください。

■ スーパーバイザパスワード設定

スーパーバイザパスワードの設定を行います。設定方法については、後述の「パスワードの設定と入力」をご覧ください。

■ ユーザパスワード設定

ユーザパスワードの設定を行います。設定方法については、後述の「パスワードの設定と入力」をご覧ください。

■ 起動時のパスワード

システム起動時にスーパーバイザパスワードやユーザパスワードの入力を行うかどうかの設定を行います。購入時には「使用しない」に設定されています。

■ ハードディスク起動セクタ

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかどうかの設定を行います。書き込み禁止にすると起動セクタをウイルスから保護します。購入時には「通常動作」に設定されています。

■ フロッピーアクセス

「スーパーバイザ」に設定するとスーパーバイザ以外フロッピーディスクドライブに対してアクセスできなくなります。購入時には「スーパーバイザ」に設定されています。

■ ウィルスチェック警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは「使用しない」「毎日」「毎週（月曜日）」「毎月（1日）」の中から選びます。購入時には「使用しない」に設定されています。

■ システムのバックアップ警告

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは「使用しない」「毎日」「毎週（月曜日）」「毎月（1日）」の中から選びます。購入時には「使用しない」に設定されています。

省電力管理の設定

システムの省電力管理設定を行います。

■ 省電力

パワーマネジメントモードを選びます。モードを選ぶことによってシステムのパワーマネジメント設定を変更します。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

表中の  は購入時の設定です。

設定項目	設定内容	説明
省電力	使用しない	パワーマネジメント機能を停止します。
	 カスタマイズ	各種タイムアウト時間をユーザ自身で選べます。
	最大省電力	消費電力を最小限におさえることができます。このときのタイムアウト時間は以下のとおりです。 自動サスペンドタイムアウト: 5分 ハードディスクタイムアウト: 1分
	性能優先	電力をより多く消費しますが、性能は最大限に発揮します。このときのタイムアウト時間は以下のとおりです。 自動サスペンドタイムアウト: 60分 ハードディスクタイムアウト: 15分

■ 自動サスペンドタイムアウト

システムが自動的にサスペンドするまでの時間を設定します。購入時には「20分」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、この設定は無効です。

■ ハードディスクタイムアウト

ハードディスクの電源がオフになるまでの、ハードディスクの非アクティブ状態の時間を設定します。購入時には「使用しない」に設定されています。

■ スリープボタン

「オン」に設定すると、スリープボタンが有効になります。購入時には「オン」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ 入力装置によるレジューム

「オン」に設定すると、入力デバイスでレジュームすることができます。購入時には「オン」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ モデムリングによるレジューム

「オン」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信したときに、システムをサスペンド状態から復帰します。購入時には「オフ」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 95 および Windows 98 では、この設定は無効です。

■ 時刻指定によるレジューム

「オン」に設定すると、レジューム時刻の設定時間でシステムをサスペンド状態から復帰します。購入時には「オフ」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ レジューム時刻

「時刻指定によるレジューム」で「オン」に設定した場合、システムを復帰する時刻を設定します。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ IDE デバイス 0 監視

「使用する」に設定すると、IDE デバイス 0 が動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。購入時には「使用する」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ IDE デバイス 1 監視

「使用する」に設定すると、IDE デバイス 1 が動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。購入時には「使用する」に設定されています。

✔チェック!!

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ IDE デバイス 2 監視

「使用する」に設定すると、IDE デバイス 2 が動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。購入時には「使用しない」に設定されています。

● **チェック!**

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ IDE デバイス 3 監視

「使用する」に設定すると、IDE デバイス 3 が動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。購入時には「使用する」に設定されています。

● **チェック!**

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

■ PCI バス監視

「使用する」に設定すると、PCI バスが動作中にサスペンド状態へ遷移しないように監視します。購入時には「使用しない」に設定されています。

● **チェック!**

Windows 98 では、ACPI モード時(購入時の状態)のみ、この設定は無効です。

起動の設定

■ AC 投入時の電源状態

AC 電源が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧するかを設定します。購入時には「オフ」に設定されています。なお、この項目の設定は変更しないでください。

■ PCI デバイスによる電源オン

PCI デバイスによる電源オンを有効にします。購入時には「しない」に設定されています。

起動するデバイスを優先順にしたがってリスト表示します。番号が小さいデバイスからオペレーティングシステムを起動します。オペレーティングシステムが存在しないなど起動に失敗した場合は、次のデバイスから起動します。

起動するデバイスを変更するには【↑】【↓】を使用して変更したいデバイスにカーソルを合わせます。【+】を押すとリストの上側に移動し、【-】を押すとリストの下側に移動します。

■ 複数のデバイスが存在する「ハードディスク」「取り外し可能なデバイス」についてはさらにその中で起動する優先順を設定することができます。

■ 取り外し可能なフォーマット

取り外し可能なドライブに挿入されているメディアのフォーマットを設定します。

● **チェック!**

この項目は、スーパーディスクなどの取り外し可能なデバイスが接続された場合に表示されます。

■ セットアップ情報画面

「使用する」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。購入時には「使用しない」に設定されています。

終了

BIOS セットアップメニューの終了とシステム設定の読み込み / 保存を行います。

■ 変更を保存して終了する

システムの設定を終了して、変更を CMOS に保存します。

■ 変更を保存せずに終了する

設定値を CMOS に保存せずに BIOS セットアップメニューを終了します。

■ デフォルト値をロードする

すべての設定値にデフォルト値を書き込みます。

■ 変更を取り消す

すべての設定項目に対して変更前の値を CMOS から読み込みます。

■ 変更を保存する

設定値を CMOS に保存します。

パスワードの設定と入力

パスワード(スーパーバイザパスワード、ユーザパスワード)を設定すると、BIOS セットアップメニュー起動時に設定したパスワードを入力しないとBIOS セットアップメニューを起動できなくなります。

パスワードの設定

パスワードには、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードがあります。
これらのパスワードを設定することにより、BIOS セットアップメニューで設定できる項目が制限されます。
BIOS セットアップメニュー起動時に、スーパーバイザパスワードを入力すると全項目が設定可能ですが、ユーザパスワードを入力すると設定できる項目が制限されます。

■ パスワードに使用できる文字と記号

半角英数字のみがパスワードとして使用でき、7文字以内でなければなりません。大文字 / 小文字の区別はありません。

■ スーパーバイザパスワードの設定

BIOS セットアップメニューで次の設定を行います。

【←】【→】でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【↑】、【↓】で「スーパーバイザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。

「新しいパスワードを入力して下さい。」と表示されます。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。
「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでスーパーバイザパスワードが設定されました。

■ ユーザパスワードの設定

BIOS セットアップメニューで次の設定を行います。

✓チェック!!

ユーザパスワードは、スーパーバイザパスワードを設定しないと設定できません。

【←】【→】でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【↑】、【↓】で「ユーザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。

「新しいパスワードを入力して下さい。」と表示されます。

パスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。
「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでユーザパスワードが設定されました。

パスワードの変更

✓チェック!!

パスワードが設定されている状態をクリアして、次回BIOSセットアップメニュー起動時からパスワード入力を行わないようにするには、手順 でパスワードを入力しないで【Enter】を押してください。

■ スーパーバイザパスワードの変更

すでにスーパーバイザパスワードが設定されている場合は、次の手順によりパスワードを変更することができます。

【←】【→】でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【↑】、【↓】で「スーパーバイザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。

「現在のパスワードを入力して下さい。」と表示されます。

今まで設定していたパスワードを入力し、【Enter】を押す。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度、手順 と同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでスーパーバイザパスワードが変更されました。

■ ユーザパスワードの変更

すでにユーザパスワードが設定されている場合は、次の手順によりパスワードを変更することができます。

【←】【→】でメニューバーの「セキュリティ」を選ぶ。

【↑】、【↓】で「ユーザパスワード設定」を選ぶ。

【Enter】を押す。

「現在のパスワードを入力して下さい。」と表示されます。

今まで設定していたパスワードを入力し、【Enter】を押す。

新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す。

もう一度、手順 と同じパスワードを入力し、【Enter】を押す。

「変更が保存されました。」と表示されます。

【Enter】を押す。

これでユーザパスワードが変更されました。

BIOSセットアップメニュー起動時のパスワード入力

パスワードを設定すると、次回BIOSセットアップメニュー起動時に、「パスワードを入力して下さい。」と表示されます。

・スーパーバイザパスワードのみを設定している場合
スーパーバイザパスワードを入力して【Enter】を押すと、BIOSセットアップメニューが起動します。

・スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合

スーパーバイザパスワード、またはユーザパスワードを入力して【Enter】を押すと、BIOSセットアップメニューが起動します。

ただし、ユーザパスワードでBIOSセットアップメニューを起動すると、以下の項目が設定できなくなります。

・「メイン」メニュー

- フロッピーディスク A
- プライマリマスタ
- プライマリスレーブ
- セカンダリマスタ
- セカンダリスレーブ
- キーボード機能

・「詳細」メニュー

- 各項目

・「セキュリティ」メニュー

- ユーザパスワード設定、起動時のパスワード以外の項目

・【F9】などによるデフォルトの設定

✓チェック!!

・パスワードの入力を間違えると、「パスワードが正しくありません。」と表示されますので、【Enter】を押してもう一度パスワードを入力してください。

・パスワードを忘れてしまうと本機を起動できなくなります。この場合は、後述の「パスワードの解除」にしたがって、本体内部のストラップスイッチを取り外さなければなりません。パスワードは忘れないようにしてください。

パスワードの解除

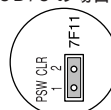
本機では、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れると、本機を起動できなくなります。パスワードを忘れた場合は、本体内部のストラップスイッチを使ってパスワードを解除します。

■ ストラップスイッチ

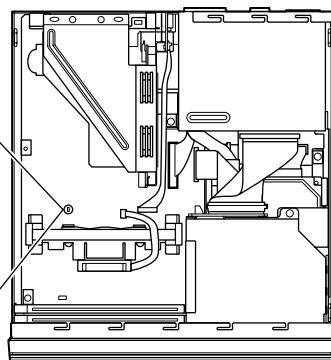
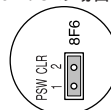
本体内部には、次の図のようなストラップスイッチがあります。このスイッチを取りはずすことでパスワードの解除ができます。

・コンパクトタイプの場合

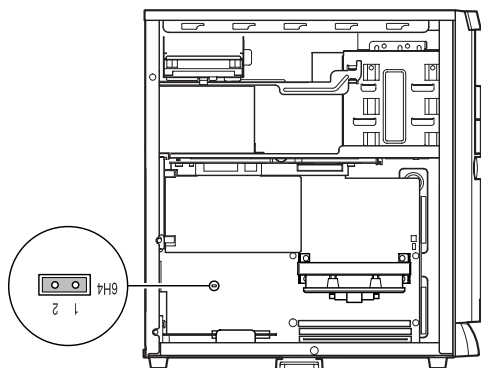
VC40D/5、
VC35D/5、
VE40D/5、
VE35D/5 の場合



VC33H/5、
VC30H/5、
VE30H/5 の場合



・ミニタワータイプの場合



■ パスワードの解除のしかた

⚠ 注意



けが注意

本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



高温注意

このパソコンの使用直後は、CPU や CPU の周辺に触れないでください。

CPU が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから行うことをおすすめします。

・コンパクトタイプの場合

本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

正しい手順でルーフカバーを外す。



参照

・ルーフカバーの開け方→『拡張の手引き』PART5の「本体の開け方と閉め方」

PCI スロットに別売の PCI ボードを取り付けている場合は、取り付けたときと逆の手順で外してください。



参照

・PCI ボード→『拡張の手引き』PART8の「PCI ボードを取り付ける」

ストラップスイッチを上引き抜く。



チェック!!

抜いたストラップスイッチはなくさないようにしてください。

正しい順序でルーフカバーを取り付ける。



参照

・ルーフカバーの閉め方→『拡張の手引き』PART5の「本体の開け方と閉め方」

本体背面から外したケーブルをもとどおり接続して、本機の電源を入れる。

Windows が起動します。

本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

手順 で引き抜いたストラップスイッチを元通りに差し込む。

手順 で PCI ボードを取り外した場合はもとどおりに取り付ける。

正しい手順でルーフカバーを取り付ける。

・ミニタワータイプの場合

本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

正しい手順でレフトカバーをはずす。

チェック!

本体の左面(正面から見て左側)が上になるように、静かに横に倒してください。

参照

・レフトカバーの開け方→『拡張の手引き』PART5の「本体の開け方と閉め方」

ストラップスイッチを取りはずす。

チェック!

取りはずしたストラップスイッチはなくさないようにしてください。

正しい順序でレフトカバーを取り付ける。

参照

・レフトカバーの閉め方→『拡張の手引き』PART5の「本体の開け方と閉め方」

本体背面から外したケーブルをもとどおりに接続して、本機の電源を入れる。

Windows が起動します。

本機の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

正しい手順でレフトカバーをはずす。

ストラップスイッチを元通りに取り付ける。

正しい順序でレフトカバーを取り付ける。

割り込みレベルとDMAチャネル

本機に内蔵されている各種のインターフェイスで使用する「割り込みレベル」「DMAチャネル」について説明します。

概要

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル(IRQ)」「DMA」などがあります。

割り込みレベルのことをWindows 98では「割り込み要求」と呼びます。これは、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを定めるものです。

DMAとはCPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能のことです。ほとんどの周辺機器は、メモリからデータを読み出したり、書き込んだりするときに、CPUへ処理を依頼します。しかし、一度に大量のデータを転送すると、CPUは作業を中断して、データの転送にかかりきりになってしまいます。そこで、CPUの作業を中断することなくデータの転送を行える機能が考えられました。これがDMA(Direct Memory Access)です。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リソースが複数の機器に重複して割り当てられている状態を「リソースの競合」と表現します。リソースが競合していると、機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

Windows 98などのOSでは、ひとつの割り込みレベルを複数の機器で使うことができます。このようにリソースを共用することを「リソースをシェアする」と表現します。この場合は、そのまま機器を利用できます。

✓チェック!!

「CyberTrio-NX」のモードが「ベーシックモード」の場合は、次の手順での設定はできません。「アドバンスモード」に変更して設定してください。

📖参照

・モードの変更方法→PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

リソースの設定状況の確認

割り込みレベル、DMAの設定状況は、次のようにして確認できます。

✓チェック!!

手順中での画面は、機種や周辺機器の接続状況によって異なります。

「コントロールパネル」を開く。

(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)



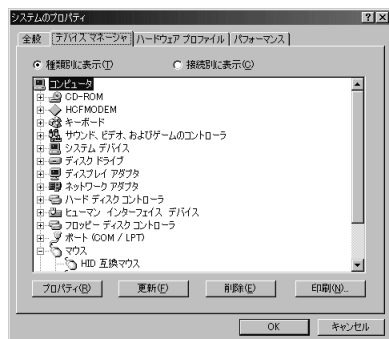
この画面は機種によって異なる場合があります。

「システム」をダブルクリック。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



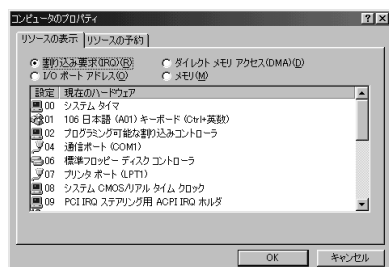
「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。



「コンピュータ」が反転表示されていることを確認してください。

反転表示していないときは、クリックして選んでください。

「プロパティ」をクリック。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



リソースは「割り込み要求 (IRQ)」が選ばれています。

確認したいリソースを選ぶ。

リソースの競合

リソースの競合が最も起きやすいときは、本機に新しい機器を追加接続したときです。また、通常Windows 98 は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合には、ドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。

リソースの競合の発生の確認

リソースの競合の発生は、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」で開くことができる「デバイスマネージャ」ウィンドウで確認できます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに「！」マークか赤い「×」マークが表示されます。このような異常が表示された場合は、まず、その機器を選んで「プロパティ」ボタンをクリックします。「全般」タブのウィンドウの中の「デバイスの状態」の欄で、異常の原因を調べます。異常の原因がリソースの競合である場合は、次の手順で解決してください。
例として、通信ポートに異常があるとします。

「リソース」タブをクリック。
「リソース」のウィンドウが表示されます。



「自動設定」のチェックボックスのチェックマークをはずす。

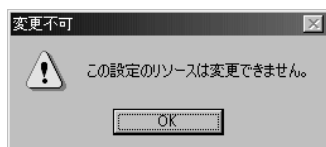


「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリック。

表示されたリソースの設定値を変更する。

✓チェック!!

選んだ機器やリソースの種類によっては、次のようなメッセージが表示されて、設定値を変更できない場合があります。



その場合は、競合しているもう一方の機器の設定値を変更してください。

本機を拡張するときの注意

PCIボードを複数枚取り付けたときに、本機の割り込みレベルが不足することがあります。この場合はデバイスマネージャで、現在使用していないボードのプロパティを開き、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックボックスをチェックして、割り込みレベルを解放してください。

機器によって使用できるリソースが限定される場合があります。ボードなどに添付のマニュアルをご覧ください。なってから機器の取り付けを行ってください。

電源管理モードについて

本機の電源管理のモードである ACPI モードと APM モードについて説明します。

ACPI モードと APM モード

本機には、省電力機能を使うための電源管理のモードとして、ACPI モードと APM モードの 2 つのモードが使用できます。
ご購入時には ACPI モードに設定されています。

ACPI モード

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)を使って、電源管理を行うモードです。ACPI とは、パソコンや周辺機器の電源管理を、本機の OS である Windows 98 で行うためのしくみです。

APM モード

APM(Advanced Power Management)を使って、電源管理を行うモードです。APM とは、パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOS で行うためのしくみです。
次のような場合には、APM モードを使用します。

- ・「Timer-NX」を使って、電源が切れている状態から、時間を指定して電源を入れる場合

モードの確認

本機がどちらのモードで動作しているかは、「Microsoft システム情報」または「デバイスマネージャ」で確認できます。

- Microsoft システム情報で確認する
次の手順で確認します。

「Microsoft システム情報」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「システム情報」)

「コンポーネント」をダブルクリックして、「システム」をクリック。
システムデバイスが表示されます。
表示されたデバイスリストをスクロールして、次のデバイスがあることを確認します。

- ・ACPI モードのとき
「ACPI XXX」など



- ・APM モードのとき
「アドバンスト パワー マネジメント サポート」



5

本機の設定を変更する

■ デバイスマネージャで確認する

✓チェック!

「デバイスマネージャ」は、「CyberTrio-NX」のモードが「アドバンスモード」のときに使用できます。「アドバンスモード」に変更してから、使用してください。

📖 参照

・モードの変更→PART1「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

次の手順でモードを確認します。

「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が起動します。

「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。

「システムデバイス」をダブルクリック。
「システムデバイス」フォルダの内容が表示されます。
このフォルダに次のデバイスがあることを確認します。

・ACPIモードのとき
「ACPI × × ×」など

・APMモードのとき
「アドバンス パワー マネジメント サポート」

モードの切り替え

モードの切り替え時の注意

- ・ACPIモードでは、電源管理用に割り込み要求(IRQ)を1つ使用します。
- ・モードの切り替えは、購入時のセットアップ直後か、再セットアップ直後のみできます。
- ・ACPIモード(購入時)からAPMモードに切り替えた後、APMモードからACPIモードに戻すには再セットアップが必要です。

📖 参照

再セットアップ→『困ったときのQ&A』「PART3 再セットアップするには」

- ・モードの切り替え時にドライバを要求された場合は、画面の指示にしたがって、C: ¥Windows¥Options ¥Cabs よりドライバを組み込んでください。

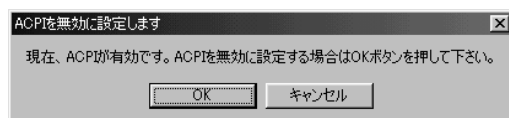
ACPI モードから APM モードに切り替える

「APMモードに必要なデバイスを組み込む」、「ソフトウェアパワーオフ機能を有効にする」、「ディスプレイの表示の設定を元に戻す」の順に設定をしてください。

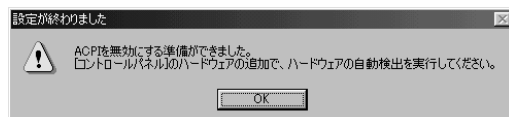
■ APM モードに必要なデバイスを組み込む

「C:¥Modechg」フォルダを開く。
(「マイコンピュータ」→「Windows 98(C:)」→「Modechg」)

「acpi_apm」をダブルクリック。
次の画面が表示されます。



「OK」をクリック。
次の画面が表示されます。



「OK」をクリック。

「ハードウェアの追加」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ハードウェアの追加」)
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリック。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

「完了」をクリック。

「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

640 × 480 16色画面となり、「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」をクリック。

デバイスの組み込みが終了した後、「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です。」と表示されたら「OK」をクリック。

✓チェック!

「OK」をクリックできない場合は、キーボードの【Enter】キーを押してください。

■ソフトウェアパワーオフ機能を有効にする

「ハードウェアの追加」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ハードウェアの追加」)
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。

「デバイスは一覧にない」を選んで、「次へ」をクリック。

「はい」が選ばれていることを確認して、「次へ」をクリック。

「次へ」をクリック。
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

「完了」をクリック。

本機を再起動する。
(「スタート」→「Windows の終了」→「再起動する」→「OK」)

「C:\Modechg」フォルダを開く。
(「マイコンピュータ」→「Windows 98 (C:)」→「Modechg」)

「acpioff2」をダブルクリック。

「C:\MODECHG\ACPIOFF2.REG」の情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。

「C:\MODECHG\ACPIOFF2.REG」の情報が、レジストリに正しく入力されました。」と表示されたら「OK」をクリック。

本機を再起動する。
(「スタート」→「Windows の終了」→「再起動する」→「OK」)

■ディスプレイの表示の設定を元に戻す

「画面のプロパティ」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「画面」)
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「設定」タブをクリック。
「設定」タブのウィンドウが表示されます。

色から「High Color (16 ビット)」を選んで、「OK」をクリック。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
本機が再起動します。

再起動後、「画面のプロパティ」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「画面」)
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「設定」タブをクリック。
「設定」タブのウィンドウが表示されます。

画面の領域から、液晶ディスプレイセットモデルの場合は「1024 × 768」を、その他のモデルの場合は「800 × 600」を選んで「OK」をクリック。
「Windowsはデスクトップのサイズを変更します。これには数秒かかり、画面がちらつく場合もあります。Windows が正しく再表示されない場合は、約 15 秒待つと元の設定に戻ります。」と表示されます。

「OK」をクリック。

「デスクトップのサイズを変更しました。この設定を保存しますか?」と表示されたら「はい」をクリック。
ディスプレイの表示の設定が元の色数、解像度に戻ります。
これで、本機が APM モードになりました。

切り替えた後の注意

- ・APMモードからACPIモードに切り替えるには、再セットアップが必要です。

参照

再セットアップ→『困ったときのQ&A』「PART3 再セットアップするには」

- ・「今後、待機状態にならないようにしますか？」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。

APM モードでタイマー機能を利用する場合の注意

APM モードを使用すると、タイマー機能(「Timer-NX」)を使って、電源が切れている状態から時刻を指定して電源を入れることができます。

Timer-NX を利用するときの注意

- ・電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることができません。
- ・ネットワークの設定をしたり、「コントロールパネル」の「パスワード」や「ユーザー」の設定をしてWindows 98を起動するときに、パスワードやユーザー名を入力する画面が表示されるように設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れても、ユーザ名、パスワードの入力待ちの状態のままになってしまいます。
- ・BIOS セットアップメニューで、「ユーザパスワード」「スーパーバイザパスワード」を設定している場合、「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。
- ・「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしないようにしてください。
- ・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動で電源を入れた場合は、タイマーで起動したものと判断される場合があります(2～3分の誤差があります)。
- ・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合は、Windows の終了時に次回起動予定の曜日が保存されます。このため、手動で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値として表示されます。

- ・設定後に電源を切った状態で、本機の電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合は、設定が無効になります。この場合、もう一度電源を入れ、Windows が起動すると再設定されます。

インターネットアクセスマネージャで、Timer-NX と連携してオートパイロットするときの注意

- ・APMモードを使用すると「Timer-NX」と連携して、オートパイロットの開始時間に電源を入れ、オートパイロット終了後に電源を切ることができます。
- ・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、電源を切ります。

その他の注意

電源スイッチで、電源を切るときの動作

電源スイッチを押して、強制的に電源を切るときの動作は、APM モードの場合と ACPI モードの場合で違います。

APM モードの場合	終了確認のメッセージが表示されます。
ACPIモードの場合(*1)	終了確認のメッセージは表示されず、シャットダウン処理を行い、そのまま電源が切れます。 アプリケーションを使用中の場合は、アプリケーションの終了確認のメッセージ(「保存しますか?」など)が表示されることがあります。

(*1):「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源ボタンが「シャットダウン」に設定されている場合。

付 録

-
- Windows 98 で MS-DOS モードを利用する
 - Windows NT 4.0 の利用
 - 本体の各部の名称(コンパクトタイプ)
 - 本体の各部の名称(ミニタワータイプ)
 - 機能仕様
 - FAX モデムボード機能仕様(コンパクトタイプの場合)
 - FAX モデムボード機能仕様(ミニタワータイプの場合)
 - AT コマンド(コンパクトタイプの場合)
 - AT コマンド(ミニタワータイプの場合)

Windows 98 でMS-DOS モードを利用する

Windows 98 のMS-DOS モードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOS モードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、MS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOS モードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

「MS-DOS モードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリック。

本機がMS-DOS モードで再起動します。

MS-DOS モードを終了する

コマンドプロンプトの画面から、次のように入力。
EXIT【Enter】

Windows 98 が再起動します。

■ MS-DOS モードとMS-DOS プロンプトの違い

MS-DOS を利用するには、「MS-DOS モード」と「MS-DOS プロンプト」とがあります。

「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOS プロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOS プロンプト」を利用するには、次のように操作します。

「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック。

「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されます。

なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOS モード」からは使用できないものや「MS-DOS プロンプト」からは使用できないものがあります。

CD-ROM ドライバ (本機内蔵 CD-ROM ドライブ)

本機は、購入時の状態では、MS-DOS モードでCD-ROM ドライブを使用することはできません。MS-DOS モードで本機内蔵のCD-ROM ドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOS 設定を使う場合

MS-DOS モード上でCD-ROM ドライブを使用するには、次の手順を行ってください。

「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

「MS-DOS モードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機がMS-DOS モードで再起動します。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYSとDOSSTART.BAT に追加されます。

SETCD コマンドを実行する前のCONFIG.SYS とDOSSTART.BAT は、それぞれCONFIG.SCD、DOSSTART.SCD として保存されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力します。

EXIT【Enter】

Windows 98 が再起動します。

「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

本機を再起動します。

「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

「MS-DOS モードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。

MS-DOS モードが起動します。

CD-ROM ドライブがQドライブに設定されます。

新しいMS-DOS 設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

「エクスプローラ」を起動する。
 (「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)
 「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

新しいMS-DOS設定を指定したいMS-DOSプログラム(「COMMAND.COM」)をクリック。
 プログラム名が反転表示されます。

「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック。
 「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック。
 「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける。
 CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

「OK」ボタンをクリック。
 「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

「OK」ボタンをクリック。
 「プロパティ」ウィンドウが閉じます。

「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック。
 MS-DOSモードが起動します。

✓チェック!

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムを全て終了します。続行しますか?」と表示されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライブがCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATに追加されます。

SETCD コマンドを実行する前のCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATは、それぞれCONFIG.SCD、AUTOEXEC.SCDとして保存されます。

コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

EXIT【Enter】

Windows 98 が再起動します。

「エクスプローラ」を起動する。
 (「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)
 「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック。

MS-DOSモードが起動して、CD-ROMドライブがQドライブに設定されます。

Windows NT 4.0 の利用

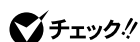
本機で別売の Windows NT Workstation 4.0 (以下、Windows NT 4.0) を利用する場合のセットアップ手順およびアップグレード手順について説明します。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。これと異なるドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

Windows 98がインストールされているドライブおよびWindows NT4.0をインストールするドライブ
Cドライブ
フロッピーディスクドライブ Aドライブ

Windows NT 4.0 をセットアップする前に

次の手順で、本機に Windows NT 4.0 をセットアップし、アップグレードを行います。



- ・Windows NT Server 4.0 は使用できません。

Windows NT 4.0 を利用するための手順

必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップグレードを行ってください。

- ・本体内蔵ハードディスクをFAT16形式で再セットアップ
- ・「Windows NT 4.0 アップデートディスク」・「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」の作成
- ・システム設定の変更
- ・Windows NT 4.0 のセットアップ
- ・Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 のセットアップ
- ・ドライバのアップデート
- ・内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- ・ドライバのコピー
- ・内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- ・内蔵 FAX モデムボードのセットアップ
- ・液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ(液晶ディスプレイセットモデルのみ)

セットアップする前の準備

セットアップを開始する前に、次のことを確認してください。

■ フロッピーディスクの用意

あらかじめ、フロッピーディスクを6枚用意してください。

- ・1.44M バイトでフォーマットしておくこと
- ・フォーマット時にシステムの転送は行わないこと
- ・それぞれの「システム修復ディスク」「Windows NT 4.0 アップデートディスク1～4」「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」と書いたラベルを貼っておくこと

■ README.TXT を読む

最初の手順で作成する「Windows NT 4.0 アップデートディスク」のルートディレクトリにある「README.TXT」には、マニュアルに記載されていない補足事項が書かれています。セットアップを行う前に必ずお読みください。

■ ドライバのインストール

ドライバのインストールを行う場合は、アドミニストレータの権限を持ったユーザーが行ってください。

■ 本体内蔵ハードディスクのフォーマット

本体内蔵のハードディスクは、FAT32 形式でフォーマットされているため、そのままでは Windows NT 4.0 はセットアップできません。

『困ったときのQ&A』「PART3 再セットアップするには」をご覧ください。ハードディスクをFAT16形式のフォーマットになるようにカスタム再セットアップしてください。

Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード

「Windows NT 4.0 アップデートディスク」・「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」の作成

次の手順で、「Windows NT 4.0 アップデートディスク」・「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」を作成します。

内蔵ハードディスクから Windows 98 を起動する。

MS-DOS プロンプトを起動する。

(「スタート」→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」)

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」をフロッピーディスクドライブにセットする。
あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」というラベルを貼ったものです。

フロッピーディスクにファイルをコピーする。
コマンドプロンプトから次のように入力します。
(CDNTUP のあとのフロッピーディスクドライブ名にコロン「:」をつけないこと)

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

・VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 の場合

CDNTUP1 A【Enter】

・VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5 の場合

CDNTUP2 A【Enter】

・VM45D/5、VM40D/5 の場合

CDNTUP3 A【Enter】

あとは画面の指示に従って操作してください。

✓チェック!

液晶ディスプレイセットモデル以外のモデルの場合
は、作成した液晶ディスプレイ調整ツールディスク
は使用しません。

システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム
設定を変更してください。

✓チェック!

この操作は、Windows NT 4.0 を利用する場合のみ
行ってください。

本機の電源を入れる。

「NEC」のロゴ画面で、「< F2 > キーを押すと、セッ
トアップを起動します。」と表示されたら、【F2】を押
す。

「セットアップを起動しています。…」と表示され
た後、BIOS セットアップメニューが起動します。

詳細メニューで、次のように設定する。

・プラグ&プレイ OS : いいえ

・周辺機器の設定

シリアルポート A : 使用する

シリアルポート B : 使用する(ミニタワータイ
プのみ)

パラレルポート : 使用する

「変更を保存して終了する」で BIOS セットアップメ
ニューを終了させて、本機の電源を切る。

Windows NT 4.0 のセットアップ

Windows NT 4.0 添付のマニュアルをご覧になり、
次の手順でセットアップを行ってください。

ただし、次のことに注意してください。

・Windows NT 4.0 のセットアップが正常に終了し
たら、次の「ドライバのアップデート」の手順に進む
こと。

・Windows NT 4.0 のセットアップ中にディスプレ
イの設定画面が表示され、「Vga 互換ディスプレ
アダプタ」が検出されました。」と表示されたら、そ
のまま「OK」をクリックして、処理を続行すること。

「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」を、フロッピー
ディスクドライブにセットして本機の電源を入れる。

画面の指示にしたがってセットアップを行う。
セットアップの途中で、「キーボードの種類の選択」
ウィンドウが表示されます。

106 日本語キーボードを選択する(【半角 / 全角】を
押す)。

「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェア
があります。」と表示されます。

【↑】で「キーボード:」の「106 日本語キーボード」
を選んで、【Enter】を押す。

「インストールするキーボードの種類を変更します。」
と表示されます。

【↓】で「その他(ハードウェア メーカー提供のディス
クが必要)」を選んで、【Enter】を押す。

「次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入
してください。」と表示されます。

フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0
アップデートディスク 1」をセットし【Enter】を押
す。

「ハードウェア メーカーから提供されたキーボードを
インストールします。」と表示されます。

「USB Keyboard with Mouse(USB 109 日本語
キーボード(JIS 配列))」が選ばれていることを確認
して、【Enter】を押す。

「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェア
があります。」のウィンドウに戻ります。

「キーボード」が「USB Keyboard with Mouse
(USB 109 日本語キーボード(JIS 配列))」になっ
ていることを確認し、【Enter】を押す。

後は画面の指示に従って、Windows NT 4.0 のセットアップを続行する。

Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 のセットアップ

本機で Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」(以下 Service Pack 3) を利用する場合は、必ず次の手順を行ってください。

✓チェック!

ドライバをアップデートする前に Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」をセットアップしておいてください。

Service Pack 3 の「README.TXT」を読む。

Service Pack 3 のセットアップを行う。

✓チェック!

ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。

本機の再起動後、ドライバのアップデートを行う。
次に「ドライバのアップデート」の手順を行ってください。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順で Windows NT 4.0 のドライバをアップデートします。

コマンドプロンプトを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「コマンドプロンプト」)

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」をフロッピーディスクドライブにセットする。

アップデートを実行する。
コマンドプロンプトから次のように入力します。

```
A【Enter】  
CD ¥【Enter】  
UPDATE【Enter】
```

次のウィンドウが表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリック。
ファイルのコピーが開始されます。



次のウィンドウが表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック。



フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」を取り出し、Windows NT 4.0 を再起動する。

以上でドライバのアップデートは完了です。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

Windows NT 4.0 を起動する。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック。

「画面」をダブルクリック。

「ディスプレイの設定」タブをクリック。

「ディスプレイの種類」をクリック。

「変更」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。

ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」をフロッピーディスクドライブにセットする。

「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。

```
・VC40D/5、VC35D/5、VE40D/5、VE35D/5、  
VM45D/5、VM40D/5 の場合  
A:¥Riva128
```

・VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 の場合
A:¥RAGE2

「ディスプレイ」のリストから次のものを選び、「OK」をクリック。

・VC40D/5、VC35D/5、VE40D/5、VE35D/5、
VM45D/5、VM40D/5 の場合
「Nvidia Riva 128」

・VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 の場合
「ATI 3D RAGE IIC AGP」

ドライバ組み込み確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリック。

ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「閉じる」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリック。
自動的に Windows NT 4.0 が再起動されます。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

ドライバのコピー

ドライバを利用するために、ドライバを「Windows NT 4.0 アップデートディスク」からハードディスクにコピーします。
以下のフロッピーディスクを用意しておいてください。

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1、3、4」

「スタート」メニュー→「プログラム」→「コマンドプロンプト」で次のように入力します。

C:【Enter】
CD NT40【Enter】
DRVCOPY【Enter】

画面の指示通りに操作してください。ドライバがハードディスクの中にコピーされます。

コピーが終了したらコマンドプロンプトを終了する。
コマンドプロンプトから次のように入力します。

EXIT【Enter】

以上でドライバがハードディスクにコピーされました。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンド機能を利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック。

「マルチメディア」をダブルクリック。

「デバイス」タブをクリック。

「追加」をクリック。

ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、「OK」をクリック。

次のようにドライブ名とディレクトリ名を指定して、「OK」をクリック。

C:¥NT40¥YMF740

ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選んで、「OK」をクリック。

パラメータの設定画面が表示されるので、「OK」をクリック。

再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」をクリック。
自動的に Windows NT が再起動されます。

以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。

内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

コンパクトタイプの場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」を開く。

「追加」をクリック。

「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ。
「COM ポートの番号」は必ず「2」を選択してください。「I/O ポートアドレス」は「割り込み番号 (IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。

「OK」をクリック。

「システム設定の変更」画面で「再起動しない」をクリック。

「閉じる」をクリック。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」を開く。

「新しいモデムのインストール」が起動するので、「モデムの一覧から選択するので検出しない」をチェックして、「次へ」をクリック。

「ディスク使用」をクリック。

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」をフロッピーディスクドライブにセットする。

「配布ファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリック。

A:¥LTMODEM

次のモデムを選択し、「次へ」をクリック。

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)」

「選択したポート」をクリックし、「COM2」を選択して「次へ」をクリック。

「所在地情報」が表示されたら、所在地情報を入力して「次へ」をクリック。

チェック!!

「所在地情報」のウィンドウは、1回目のモデムセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」ウィンドウが表示されないことがあります。

「モデムは正常にセットアップされました」というメッセージが表示されるので、「完了」をクリック。

「モデムのプロパティ」が表示されるので「閉じる」をクリック。

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは完了しました。

■ ミニタワータイプの場合

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで次のように入力して「OK」をクリック。

C:¥NT40¥MODEM¥SETUP

「モデム ボード インストール ウィザード」が起動するので「次へ」をクリック。

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice (BEBB)」と表示されることを確認して「次へ」をクリック。

「完了」をクリック。

「閉じる」をクリック。

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは完了しました。

液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ(液晶ディスプレイセットモデルのみ)

液晶ディスプレイセットモデルをお使いの場合は、液晶ディスプレイ調整ツールを使用するため、次の手順でセットアップしてください。

「液晶ディスプレイ調整ツールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック。

A:¥SETUP

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック。

インストールが始まります。

インストール画面が終了したらフロッピーディスクを取り出す。

これでインストールは完了です。

チェック!!

液晶ディスプレイ調整ツールを起動するには、「スタート」→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール」をクリックします。

参照

液晶ディスプレイの画面調整→液晶ディスプレイ添付のマニュアル

本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意

- ・本機に添付されている Windows NT 4.0 のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・リモートアクセスサービスを設定する場合は、「内蔵 FAX モデムボードのセットアップ」の手順で FAX モデムボードをセットアップした後、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動して行ってください。リモートアクセスサービスの設定については、Windows NT 4.0 のマニュアルやオンラインヘルプをご覧ください。
- ・Windows NT 4.0 は、NEC 製のキーボード、USB ハブ内蔵液晶ディスプレイ以外の USB 機器をサポートしていません。
- ・Windows NT 4.0 実行中にキーボードの抜き差しはしないでください。
- ・省電力機能(スタンバイ)で問題が発生する場合は、省電力機能(スタンバイ)を無効にしてください。「コントロールパネル」の「電源の管理」で次のように設定します。

システムスタンバイ : なし

モニタの電源を切る : なし

ハードディスクの電源を切る : なし

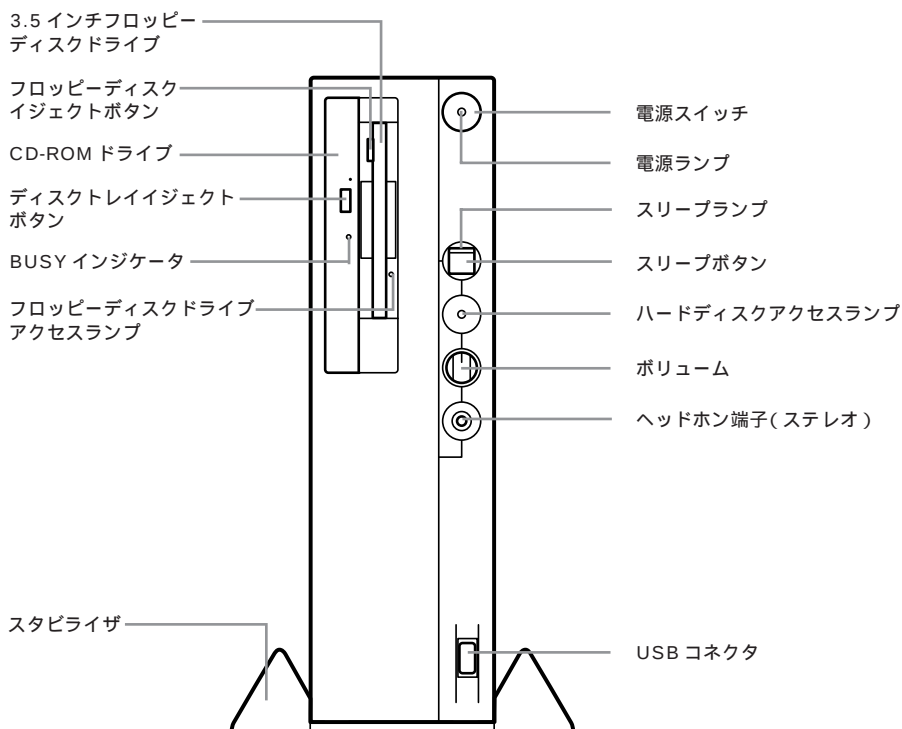
また、BIOS セットアップメニューでは、「省電力管理」を次のように設定します。

スリープボタン : オフ

本体の各部の名称(コンパクトタイプ)

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



電源スイッチ(①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98の「スタート」メニューで「Windowsの終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

✓チェック!!

ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

スリープボタン(🔄)

本機をスタンバイ状態にするボタン。

電源が入っている状態で1回押すとスタンバイ状態(省電力状態)になり(スリープランプが点灯)。もう1回押すと通常の状態に復帰します。

スリープランプ

スタンバイ状態を表示するランプ。スタンバイ状態のときに点灯します。

ハードディスクアクセスランプ(💿)

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

ボリューム

ヘッドホンの音量を調節するつまみ。

右にまわすと音量が大きくなり、左にまわすと小さくなります。

ヘッドホン端子 (ステレオ X)

市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

USB コネクタ ()

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。

Windows 98でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 でも使用できます。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ

3.5 インチサイズのコピーディスクを入れるところ。

フロッピーディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ

フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

CD-ROM ドライブ

CD-ROM や音楽 CD を入れるところ。

なお、CD-ROMドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。

ディスクトレイイジェクトボタン

ディスクをのせるディスクトレイを出し入れするためのボタン。

BUSY インジケータ

データを読み出しているときに点灯します。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROM を取り出したりしないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

スタビライザ

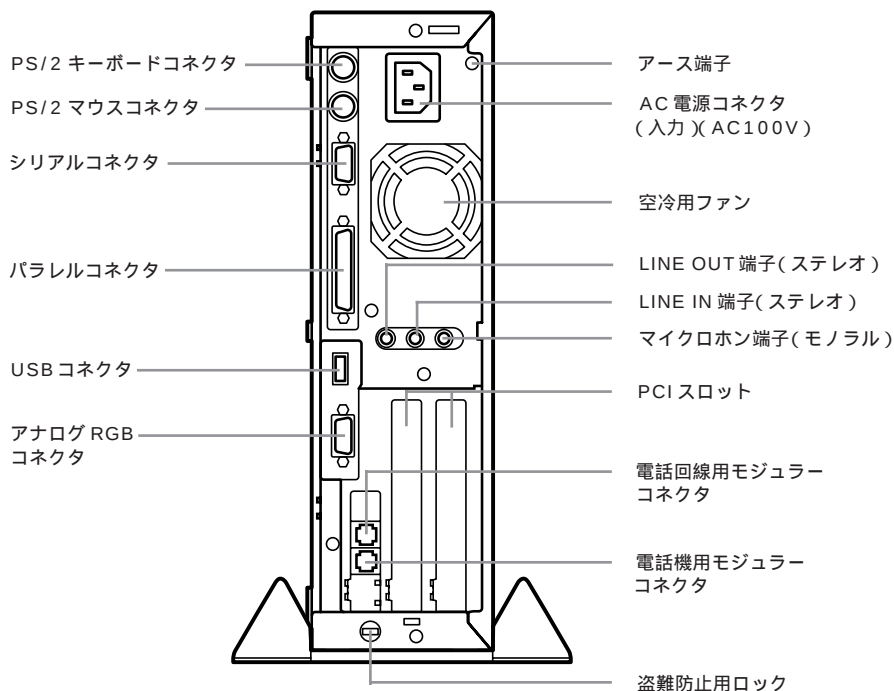
本体を安定して設置するための足。

チェック!!

スタビライザは必ず付属のネジで本体に固定してください。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



AC 電源コネクタ (入力) (AC100V)

ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。本体添付の電源ケーブルは、ACコンセント側が普通の2ピン、本体側が特殊な3ピンになっています。

空冷用ファン

本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。

アース端子 (⏏)

アース線を接続するための端子。

LINE OUT 端子 (ステレオ) (⏏)

添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器などに、音声信号 (ステレオ) を出力するためのミニジャック端子。

LINE IN 端子 (ステレオ) (⏏)

市販のオーディオ機器などから、音声信号 (ステレオ) を本体に入力するためのミニジャック端子。

マイクロホン端子 (モノラル) (⏏)

市販のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

PCI スロット

本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。PCI スロットは、左から順に PCI スロット #1、#2 と呼びます。

電話回線用モジュラーコネクタ (⏏)

電話回線を接続するためのコネクタ。

電話機用モジュラーコネクタ (⏏)

電話機を接続するためのコネクタ。

PS/2 キーボードコネクタ (⏏)

PS/2 コネクタに対応したキーボードを接続するためのコネクタ。

✓ チェック!!

- ・添付のキーボードはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 キーボードと USB キーボードを同時に使用することはできません。

- ・PS/2 キーボード使用時は、BIOS セットアップメニューの「USB レガシー機能」を「使用しない」に設定してください。
- ・PS/2 キーボード使用時は、電話などのリングでスタンバイ状態から復帰させることはできません（ACPI モードのみ）。
- ・PS/2 キーボードを抜き差しするときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

PS/2 マウスコネクタ()

PS/2 コネクタに対応したマウスを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

- ・添付のマウスはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 マウスを抜き差しするときは本体の電源を切った状態で行ってください。

シリアルコネクタ

(チャンネル 1/ )

周辺機器を接続するためのコネクタ。

通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓チェック!!

- ・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- ・シリアルコネクタと、パラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける必要がある場合は、必ず RS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)とプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使用してください。変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

パラレルコネクタ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

- ・PC-9800 シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
- ・シリアルコネクタと、パラレルコネクタの両方に変換コネクタを取り付ける必要がある場合は、必ず RS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)とプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使用してください。変換コネクタどうしがぶつかるのを避けられます。

USB コネクタ()

USB 対応機器を接続するためのコネクタ。

Windows 98 でのみ使用可能。USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使えるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

✓チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT 4.0 でも使用できます。

アナログ RGB コネクタ()

アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

盗難防止用ロック()

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington 社製)などを接続できます。

盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。

✓チェック!!

盗難防止用ロックは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。
(1998 年 11 月現在)

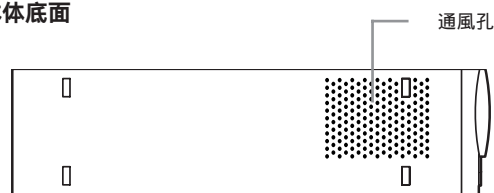
日本ボラロイド株式会社
電子映像営業課

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号
第30森ビル

Tel : 03-3438-8879

Fax : 03-5473-1630

本体底面



通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔。

底面にスタビライザを取り付けることで、通風孔をふさがない状態になります。

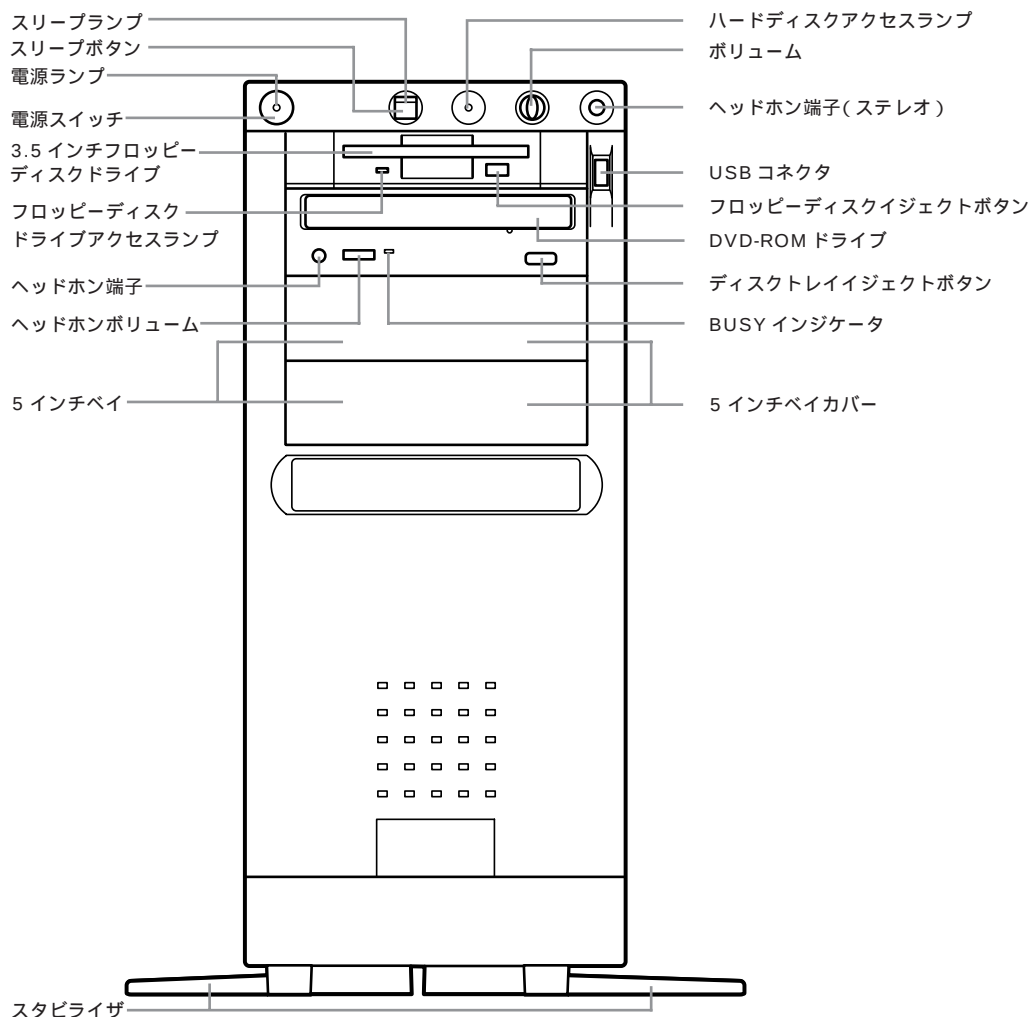
✓チェック!!

パソコン本体を横置きにする場合は、通風孔をふさがないようにしてください。

本体の各部の名称(ミニタワータイプ)

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



電源スイッチ (①)

電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 98 の「スタート」メニューで「Windows の終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチの切る / 入れるの操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

チェック!

- ・ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約 4 秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。
- ・停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源は入りません。

電源ランプ

電源の入/切状態を表示するランプ。電源を入れると点灯します。

スリープボタン()

本機をスタンバイ状態にするボタン。

電源が入っている時に1回押すとスタンバイ状態(省電力状態)になり(スリープランプが点灯)、もう1回押すと通常の状態に復帰します。

スリープランプ

スタンバイ状態を表示するランプ。スタンバイ状態で点灯します。

ハードディスクアクセスランプ()

ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

ボリューム

ヘッドホンの音量を調節するつまみ。

ヘッドホン端子(ステレオ)()

市販のオーディオ用ヘッドホンなどで接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

USBコネクタ()

USB対応機器を接続するためのコネクタ。Windows 98でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使えるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

✓チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT4.0でも使用できます。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ

3.5インチサイズのフロッピーディスクを出し入れするところ。

フロッピーディスクドライブアクセスランプ

フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

✓チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

フロッピーディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

DVD-ROMドライブ

DVD-ROM、CD-ROM や音楽CDを入れるところ。DVD-ROMドライブ各部の位置や形状は、図と多少異なることがあります。

ヘッドホン端子

市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

ヘッドホンボリューム

ヘッドホンの音量を調節するつまみ。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

ディスクトレイイジェクトボタン

ディスクをのせるディスクトレイを出し入れするためのボタン。

BUSY インジケータ

データを読み出しているときに点灯します。

✓チェック!!

点灯中は電源を切ったり、DVD-ROM、CD-ROM を取り出したりしないでください。DVD-ROMドライブの故障の原因となります。

5 インチベイ

5 インチベイ用オプション機器を取り付けるスロット。

5 インチベйкаバー

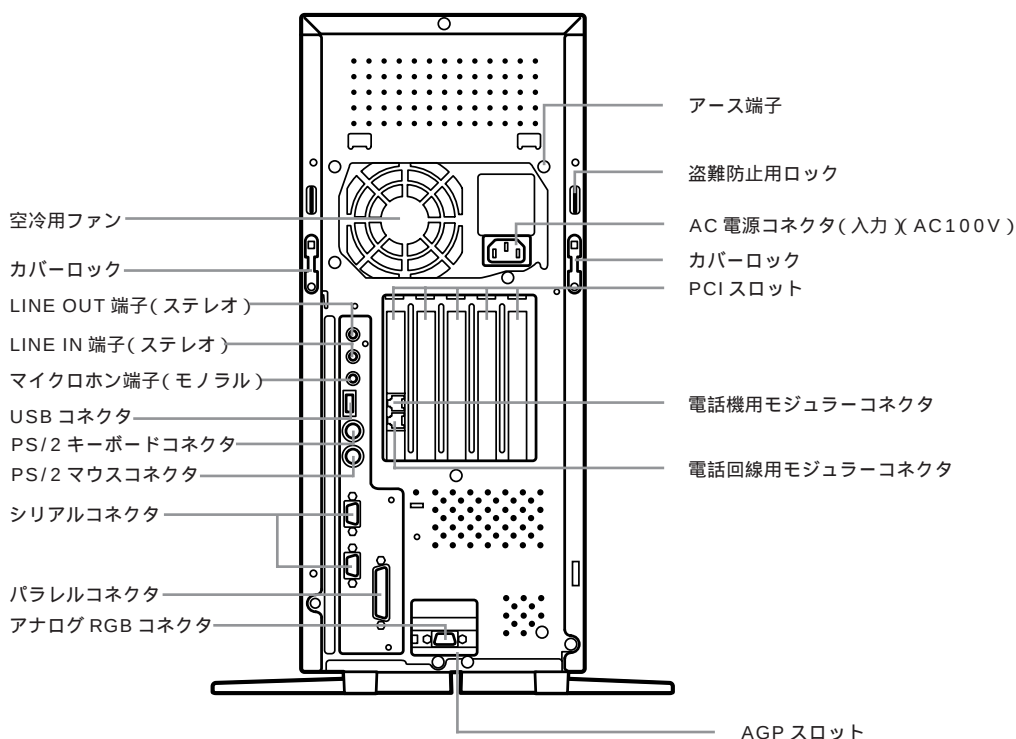
5 インチベイを使用するときは、このカバーを取り外します。

スタビライザ

本体を安定して設置するための足。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



AC 電源コネクタ(入力 X AC100V)
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続する。
本体添付の電源ケーブルは、AC コンセント側が普通の 2 ピン、本体側が特殊な 3 ピンになっています。

空冷用ファン
本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。

カバーロック
ライトカバー、レフトカバーを本体に固定するためのロック。

LINE OUT 端子(ステレオ) ()
添付の外付けスピーカや市販のオーディオ機器などに、音声信号(ステレオ)を出力するためのミニジャック端子。

LINE IN 端子(ステレオ) ()
市販のオーディオ機器などから、音声信号(ステレオ)を本体に入力するためのミニジャック端子。

マイクロホン端子(モノラル) ()
市販のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

USB コネクタ ()
USB 対応機器を接続するためのコネクタ。Windows 98 でのみ使用可能。
USB コネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

✓チェック!!

添付のキーボードとマウスは、Windows NT4.0 でも使用できます。

PS/2 キーボードコネクタ ()
PS/2 コネクタに対応したキーボードを接続するためのコネクタ。

✓チェック!!

- ・添付のキーボードはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 キーボードと USB キーボードを同時に使用することはできません。

- ・PS/2 キーボード使用時は、BIOS セットアップメニューの「USB レガシー機能」を「使用しない」に設定してください。
- ・PS/2 キーボード使用時は、電話などのリングでスタンバイ状態から復帰させることはできません（ACPI モードのみ）。
- ・PS/2 キーボードを抜き差しするときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

PS/2 マウスコネクタ()

PS/2 コネクタに対応したマウスを接続するためのコネクタ。

✓チェック!

- ・添付のマウスはこのコネクタには接続できません。
- ・PS/2 マウスを抜き差しするときは、本体の電源を切った状態で行ってください。

シリアルコネクタ

(チャンネル1、2 /  )

周辺機器を接続するためのコネクタ。通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

✓チェック!

- ・チャンネル2は、購入時には使用できないように設定されています。
- ・PC-9800 シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)が必要です。
- ・RS-232C 変換アダプタ(PK-CA102)は、チャンネル1 のみで使用できます。
- ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

パラレルコネクタ()

プリンタなどを接続するためのコネクタ。

✓チェック!

- ・PC-9800 シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
- ・このコネクタには、D-Sub25 ピンのシリアル機器を接続しないでください。

アナログ RGB コネクタ()

アナログ RGB 対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

AGP スロット

AGP に対応したボードを取り付けるためのスロットです。標準でウィンドウアクセラレータボードが取り付けられています。

アース端子()

アース線を接続するための端子。

盗難防止用ロック()

添付のロックプレートを取り付けると、市販の錠などを取り付けられます。

盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクや RAM サブボードなどの盗難を予防できます。ロックプレートの取り付け方は後述の「ロックプレートの取り付け方」をご覧ください。

PCI スロット

本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。

高速なデータ転送ができる PCI バスに対応。

左から順にスロット #1、#2、#3、#4、#5 になります。#1 は標準で取り付けられている FAX モデムボード専用です。

#2 にはハーフサイズ、#3 ~ 5 にはフルサイズの PCI ボードが取り付けられます。

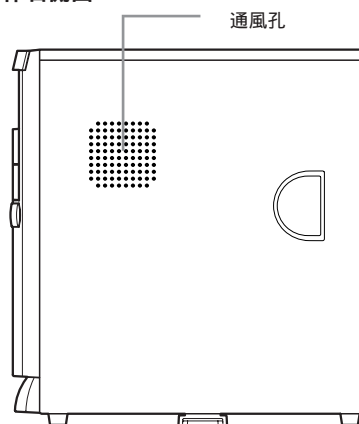
電話機用モジュラーコネクタ()

電話機を接続するためのコネクタ。

電話回線用モジュラーコネクタ()

電話回線を接続するためのコネクタ。

本体右側面



通風孔

本体内部の熱を逃がすための孔。

壁やスピーカなどでふさがないように注意してください。

ロックプレートの取り付け方

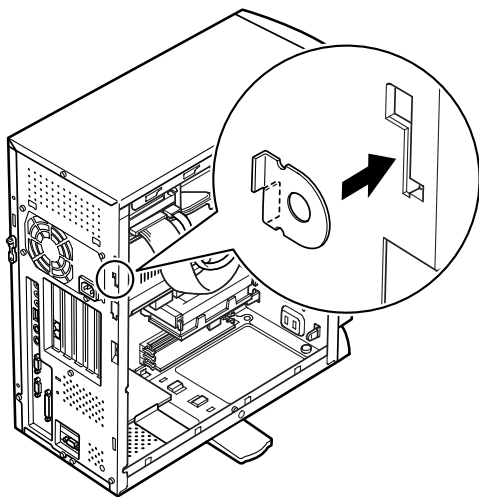
本体の電源を切り、電源ケーブルや背面に接続されたケーブルをすべて抜く。

正しい手順でレフトカバーを外す。

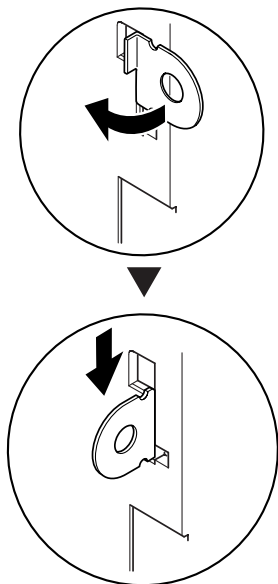
 参照

レフトカバーの開け方→『拡張の手引き』PART5の「本体の開け方と閉め方」

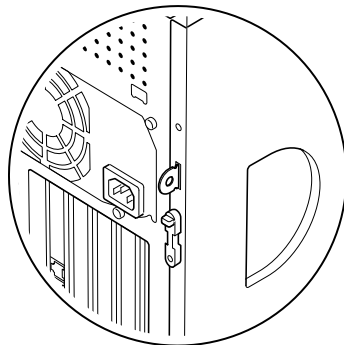
ロックプレートを本体の穴に差し込む。



プレートのツメを起こして、穴にそって下へずらす。



レフトカバーを取り付ける。



取り付けが終了したらロックプレートの穴にワイヤロック、南京錠などを通してロックしてください。

機能仕様

VC40D/5、VC35D/5、VE40D/5、VE35D/5(コンパクトタイプ)

モデル		VC40D/5GC1 VC40D/5GD1 VE40D/57C VE40D/57D		VC35D/5YC1 VC35D/5YD1 VC35D/5YC2 VC35D/5YD2		VE35D/57C VE35D/57D	
CPU		Pentium®II プロセッサ (400MHz)			Pentium®II プロセッサ (350MHz)		
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト (CPUに内蔵)					
メモ リ	BIOS ROM		512Kバイト、プラグ&プレイ対応				
		メインRAM	64Mバイト (最大256Mバイトまで増設可能) *ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大255.6Mバイト)				
	RAM 1		DIMMスロット×2 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)				
	ビデオRAM		4Mバイト				
表 示 機 能	グラフィックアクセラレータ		STMicroelectronics社製RIVA128搭載				
	グラフィック表示		640×480ドット 16色/256色/32,768色/1,677万色				
			800×600ドット 256色/32,768色/1,677万色				
			1,024×768ドット 256色/32,768色/1,677万色				
			1,280×1,024ドット 2 256色/32,768色				
入 力 装 置	キーボード		JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 USBバスパスワードハブ (2ポート) 付き (マウスにより1ポート使用)				
	マウス		スクロール機能付きマウス標準装備(添付のキーボードに接続)				
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスク ドライブ		3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能				
	ハードディスク		約6.4Gバイト				
			Microsoft Windows 98をインストール済				
	5インチベイ		最大24倍速 (平均17倍速) CD-ROMドライブ標準搭載				
PCIスロット			2スロット				
サ ウ ン ド 機 能 3	サウンドチップ		YAMAHA製 YMF740				
	音源		FM音源20和音 PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 5～48KHz ウェーブテーブルシンセサイザー機能搭載 (XG、GM演奏モード対応)				
	サラウンド		エンハンスドステレオ対応				
	スピーカ		ステレオスピーカ添付				
通信機能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5					
	FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1					

VC40D/5、VC35D/5、VE40D/5、VE35D/5(コンパクトタイプ)

モデル		VC40D/5GC1 VC40D/5GD1 VE40D/57C VE40D/57D	VC35D/5YC1 VC35D/5YD1 VC35D/5YC2 VC35D/5YD2	VE35D/57C VE35D/57D
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)		
	オーディオ 入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB		
		ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン - 6dB		
	出力	ヘッドホン出力(ステレオ) 出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33Ω)		
		ライン出力(ステレオ) 出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47kΩ)		
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)		
	シリアル	最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)		
	PS/2ポート	キーボード、マウス各1ポート(ミニDIN6ピン)		
USB 4	本体	2ポート内蔵		
	キーボード	2ポート内蔵		
カレンダー時計		電池によるバックアップ		
電源		AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件		10～35℃、20～80% RH (ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	86(W)×320(D)×300(H)mm (スタビライザ取り付け時 161(W)×320(D)×306(H)mm)		
	キーボード	471(W)×178(D)×39(H)mm		
重量	本体	約6.9kg		
	キーボード	約1.2kg		
消費電力		標準構成時 約32W		
		内蔵オプション最大接続時 約115W		
		スタンバイモード時 約18W		

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 本機にセットの液晶ディスプレイでは表示できません。
- 3 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 4 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 5 18～28℃、45～75% RH での使用を推奨します。

VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 (コンパクトタイプ)

モデル		VC33H/5XC1 VC33H/5XD1 VC33H/5XC2 VC33H/5XD2		VC30H/5XC1 VC30H/5XD1 VC30H/5XC2 VC30H/5XD2		VE30H/57C VE30H/57D VE30H/55C VE30H/55D	
CPU		Celeron™ プロセッサ (333MHz)			Celeron™ プロセッサ (300AMHz)		
		キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ128Kバイト (CPUに内蔵)					
メモ リ	BIOS ROM		512Kバイト、プラグ&プレイ対応				
		メインRAM	64Mバイト (最大256Mバイトまで増設可能) *ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大255.6Mバイト)				
	RAM 1		DIMMスロット×2 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)				
	ビデオRAM		4Mバイト				
表 示 機 能	グラフィックアクセラレータ		ATI Technologies社製RAGE IIC搭載				
	グラフィック表示		640×480ドット 16色/256色/65,536色/1,677万色 800×600ドット 256色/65,536色/1,677万色 1,024×768ドット 256色/65,536色/1,677万色 1,280×1,024ドット 2 256色/65,536色				
	キーボード		JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 USBバスパワーハブ (2ポート) 付き (マウスにより1ポート使用)				
	マウス		スクロール機能付きマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)				
	フロッピーディスク ドライブ		3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能				
補 助 記 憶 装 置	ハードディスク		約6.4Gバイト		約4.3Gバイト		
			Microsoft Windows 98をインストール済				
	5インチベイ		最大24倍速 (平均17倍速) CD-ROMドライブ標準搭載				
PCIスロット		2スロット					
サ ウ ン ド 機 能 3	サウンドチップ		YAMAHA製 YMF740				
	音源		FM音源20和音 PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 5～48KHz ウェーブテーブルシンセサイザー機能搭載 (XG、GM演奏モード対応)				
	サラウンド		エンハンスドステレオ対応				
	スピーカ		ステレオスピーカ添付				
通信機能	モデム		データ転送速度 最大送信33.6Kbps / 最大受信56Kbps、V.90、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5				
	FAX		データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御 CLASS 1				

VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5(コンパクトタイプ)

モデル		VC33H/5XC1 VC33H/5XD1 VC33H/5XC2 VC33H/5XD2	VC30H/5XC1 VC30H/5XD1 VC30H/5XC2 VC30H/5XD2	VE30H/57C VE30H/57D VE30H/55C VE30H/55D
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン)		
	オーディオ 入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB		
		ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン - 6dB		
	出力	ヘッドホン出力(ステレオ) 出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33Ω)		
		ライン出力(ステレオ) 出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47kΩ)		
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)		
	シリアル	最大115,200bps(D-Sub 9 ピン)		
	PS/2ポート	キーボード、マウス各1ポート(ミニDIN6ピン)		
USB 4	本体	2ポート内蔵		
	キーボード	2ポート内蔵		
カレンダー時計		電池によるバックアップ		
電源		AC 100V±10%、50/60Hz		
温湿度条件		10～35 、20～80% 5(ただし結露しないこと)		
外形寸法	本体	86(W)×320(D)×300(H)mm (スタビライザ取り付け時 161(W)×320(D)×306(H)mm)		
	キーボード	471(W)×178(D)×39(H)mm		
重量	本体	約6.8kg		
	キーボード	約1.2kg		
消費電力		標準構成時 約27W		標準構成時 約26W
		内蔵オプション最大接続時 約109W		内蔵オプション最大接続時 約109W
		スタンバイモード時 約19W		スタンバイモード時 約19W

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 本機にセットの 15 インチ CRT ディスプレイ (DV15A2) および液晶ディスプレイでは表示できません。
- 3 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 4 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 5 18 ～ 28 、45 ～ 75% での使用を推奨します。

VM45D/5、VM40D/5(ミニタワータイプ)

モデル		VM45D/5GC VM45D/5GD VM45D/5ZC VM45D/5ZD	VM40D/57C VM40D/57D
CPU		Pentium® プロセッサ (450MHz)	Pentium® プロセッサ (400MHz)
		キャッシュメモリ32Kバイト、セカンドキャッシュメモリ512Kバイト (CPUに内蔵)	
メモ リ	BIOS ROM	512Kバイト プラグ&プレイ対応	
	メイン RAM	64Mバイト (最大384Mバイトまで増設可能) ユーザーズメモリ63.6Mバイト (最大383.6Mバイト)	
	RAM 1	DIMMスロット×3 (うち1スロットに64Mバイトメモリを取り付け済)	
	ビデオRAM	4Mバイト	
表 示 機 能	グラフィックアクセラレータ	STMicroelectronics社製 RIVA128搭載	
	グラフィック表示	640×480ドット	16色/256色/32,768色/1,677万色
		800×600ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,024×768ドット	256色/32,768色/1,677万色
		1,280×1,024ドット 2	256色/32,768色
入 力 装 置	キーボード	JIS標準配列 (英数、カナ)、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー アプリケーションキー付セパレートタイプ、USBコネクタに接続 USBバスパワーハブ (2ポート) 付き (マウスにより1ポート使用)	
	マウス	スクロール機能付きマウス標準装備 (添付のキーボードに接続)	
補 助 記 憶 装 置	フロッピーディスク ドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能	
	ハードディスク	約16.8Gバイト	約8.4Gバイト
		Microsoft Windows 98をインストール済	
	内蔵3.5インチベイ	1台内蔵可能	
	5インチベイ	DVD-ROMドライブ標準搭載 DVD-ROM読み込み最大5倍速 CD-ROM読み込み最大24倍速相当	
PCIスロット		5スロット 3 (うち1スロットはFAXモデムボードで占有済)	
AGPスロット		1スロット (グラフィックアクセラレータボードで占有済)	
サ ウ ン ド 機 能	サウンドチップ	YAMAHA製 YMF740	
	音源	FM音源20和音	
		PCM録音/再生機能 PCM 8/16ビット 5~48KHz ウェーブテーブルシンセサイザー機能搭載 (XG、GM演奏モード対応)	
	サラウンド	エンハンスドステレオ対応	
4	スピーカ	ステレオスピーカ添付	
通 信 機 能	モデム	データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps V.90、K56flex、V.34、V32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応	
	FAX	データ転送速度 最大14.4Kbps (V.17)、FAX制御CLASS 1	

VM45D/5、VM40D/5(ミニタワータイプ)

モデル		VM45D/5GC VM45D/5GD VM45D/5ZC VM45D/5ZD	VM40D/57C VM40D/57D
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニ-D-Sub 15ピン)	
	オーディオ	入力	マイク入力(モノラル) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB ライン入力(ステレオ) 入力インピーダンス 10KΩ 入力レベル最大2Vrms ゲイン - 6dB
		出力	ヘッドホン出力(ステレオ) 出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33Ω) ライン出力(ステレオ)、出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47kΩ)
	プリンタ	パラレルインターフェイス(D-Sub25ピン)	
	シリアル	チャンネル1	最大115,200bps(D-Sub 9ピン)
		チャンネル2	最大115,200bps(D-Sub 9ピン)
	PS/2ポート	キーボード、マウス各1ポート(ミニDIN6ピン)	
	USB 5	本体	2ポート内蔵
		キーボード	2ポート内蔵(マウスにより1ポート使用)
	カレンダー時計	電池によるバックアップ	
電源		AC 100V±10%、50/60Hz	
温湿度条件		10~35℃、20~80%RH(ただし結露しないこと)	
外形寸法	本体	192(W)×434(D)×462(H)mm	
	キーボード	471(W)×178(D)×39(H)mm	
重量	本体	約13.2kg	
	キーボード	約1.2kg	
消費電力		標準構成時 約37W	標準構成時 約36W
		内蔵オプション最大接続時 約219W スタンバイモード時 約22W	内蔵オプション最大接続時 約219W スタンバイモード時 約22W

- 1 利用 OS により、使用可能なメモリ容量は異なります。
- 2 セットの液晶ディスプレイでは表示できません。
- 3 PCIスロット #1 は、標準の FAX モデムボード専用です。
- 4 サウンド機能を利用したアプリケーションソフトのうちハードウェアを直接制御しているものは、一部使用できないものがあります。
アプリケーションソフト購入に際しては、発売元に確認してください。
- 5 Windows 98 でのみサポート。接続する周辺機器の使用可否については、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
- 6 18 ~ 28℃、45 ~ 75%RHでの使用を推奨します。

セットのスピーカの機能仕様

	フラットパネルスピーカ
最大定格出力	1.2W+1.2W
外形寸法	約108(W)×71(D)×178.5(H)mm(片側)
重量	約660g(ケーブル、ACアダプタ含む)

FAX モデムボード機能仕様(コンパクトタイプの場合)

■ 機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス(Ver 2.1) 16550A相当(I/Oアクセス、割り込み)
NCU部	・回線接続切り替え機能 ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット - V.90 - K56flex - V.34 - V32bis - V.32、V.22bis、V.22、V.21 - V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 - V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 - V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット - AT - Sレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

■ FAX 機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ データモデム 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送 受 信: 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600 7200/4800/2400/1200/300bps 受信のみ: 56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666 34000/33333/32000/30666/29333/28000bps
通信規格	K5.6flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM: 56000/54666/54000/53333/52000/50666/50000/49333/48000/46666/46000 45333/44000/42666/42000/41333/40000/38666/38000/37333/36000/34666 34000/33600/33333/32000/31200/30666/29333/28800/28000/26400/24000 21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM: 9600/7200bps DPSK: 4800/2400/1200bps FSK: 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-9~-15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10~-40dBm
制御コマンド	HayseATコマンド

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ NCU 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信 / 自動着信型) MA(手動発信 / 自動着信型) MM(手動発信 / 手動着信型) AM(自動発信 / 手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT(CLASS 1)

FAX モデムボード機能仕様(ミニタワータイプの場合)

■ 機能概要

CPU I/F	PCIローカルバスインターフェイス(Ver 2.1)
NCU部	・回線接続切り替え機能 ・ダイヤルパルス送出機能 ・リング検出機能 ・外付け電話フックオフ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット - V.90 - K56flex - V.34 - V32bis - V.32、V.22bis、V.22、V.21 - V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 - V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 - V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット - AT - スレジスタ ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・最高115.2Kbpsの自動フォーマット / スピード検出 ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング(DTMFトーン、ダイヤルパルス制御)

■ FAX 機能

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM : 14400/12000/9600/7200bps DPSK : 4800/2400bps FSK : 300bps
送信レベル	-6 ~ -15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS 1)

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ データモデム 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送 受 信: 33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600 7200/4800/2400/1200/300bps 受信のみ: 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/48000/46667/46000 45333/44000/42667/42000/41333/40000/38667/38000/37333/36000/34667 34000/33333/32000/30667/29333/28000bps
通信規格	K5.6flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM: 56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/48000/46667/46000 45333/44000/42667/42000/41333/40000/38667/38000/37333/36000/34667 34000/33600/33333/32000/31200/30667/29333/28800/28000/26400/24000 21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps QAM: 9600/7200bps DPSK: 4800/2400/1200bps FSK: 1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-6 ~ -15dBm(出荷時 -15dBm)
受信レベル	-10 ~ -40dBm
制御コマンド	HayseATコマンド

回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

■ NCU 機能

項 目	規 格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
NCU形式	AA(自動発信 / 自動着信型) MA(手動発信 / 自動着信型) MM(手動発信 / 手動着信型) AM(自動発信 / 手動着信型)
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT(CLASS 1)

AT コマンド(コンパクトタイプの場合)

ATコマンドとは、電話回線に対してDTE(パソコンなどの端末機器)からのコマンドにより自動発着信を行うために米国 Hayes 社が開発したコマンド体系で“ AT ”で始まることからこのように呼ばれています。

コマンドの構成

ATコマンドセット(A/コマンドを除く)では、DTEが送る各コマンドラインはキャラクターシーケンスATで始まり、キャリッジリターンで終了しなければなりません。ATシーケンスは、いくつものコマンドをその次に続けることができます。ただし、Z、D、Aのようなコマンドは除きます。コマンドラインの最大キャラクタ数は60です。もしコマンドラインのどこかで構文エラーが見つかった場合には、ラインの残りは無視されます。

A	T	コマンド列	CR
---	---	-------	----

コマンド一覧

■基本 AT コマンド

種 類	ATコマンド	機 能
アンサーモードで回線接続	A	アンサーモードで回線に接続し、通信状態になる。自動応答にしていけない状態で、応答する場合に使用する。
コマンドの再実行	A/	直前に実行したコマンドを再実行する。このコマンドの値には「AT」はつけない。また、最後の□もつけない。
ダイヤルの実行	D	指定された電話番号にダイヤルし、接続する。 P パルスダイヤル(ダイヤル回線)。 T トーンダイヤル(プッシュ回線)。 W 第2ダイヤルトーンを検出する (DDX等のダイヤルトーンを検出する)。 @ 5秒間の無音状態を検出する。検出できない場合は「NO ANSWER」を返す。 , S8レジスタで指定された時間、ダイヤルを待つ。 構内交換機、ゼロ発信等でダイヤルを待つ場合に使用する。 0-9,*,# ... 相手の電話番号をダイヤルする。 ダイヤル番号を見やすくするために、スペース 「-」「()」「[]」等が使用できる。なお、「*」「#」はトーンダイヤルのみ使用できる。 ; ダイヤル後コマンドモードに戻る。 ! 0.5秒間、回線をオンフック(回線断)する。 S=n &Znで登録した電話番号にダイヤルする。 L 最後にかけた番号にリダイヤルする。 ^ V.25コーリングトーンをディセーブルにする。
コマンドエコー有無の設定	E	DTE(パソコン側)から送られたコマンドのエコー(文字をそのまま送り返す)の有無を指定する。 E0 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返さない。 E1 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返す(初期値)。
回線の接続 / 切断	H	H0 回線を切断(オフフック)する。 H1 回線を接続(オフフック)する。
識別コード表示	I	モデムの識別コードを表示する。 I0 デフォルトスピード、コントローラF/Wバージョンの表示 I1 ROMのチェックサムコードを表示する。 I2 ROMのチェックを実行する。 I3 I0と同じ。

AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
モニタースピーカ最大音量設定	L	FAXモデムボードの内蔵スピーカの音量を設定する。 L0 音量小。 L1 音量小。 L2 音量中。(初期値) L3 音量大。
モニタースピーカの動作設定	M	内部モニタースピーカのON/OFFのタイミングを指定する。 M0 スピーカを常にOFFにする。 M1 キャリアを検出するまでONにする(初期値)。 M2 スピーカを常にONにする。 M3 ダイヤル終了からキャリア検出までONにする。
自動モードの設定	N	相手モデムとの通信速度決定の方法を指定する。 N0 相手モデムとの通信速度決定を自動で行わない。 N1 相手モデムとの通信速度決定を自動で行う。(初期値)
オンラインモードに戻る	O	オンラインモード中にエスケープコマンド(++)によってコマンドモードになったときに、再びオンラインモードに戻るのに使用する。 O0 オンラインモードに戻る。 O1 トレーニングを再度実行して、オンラインモードに戻る。 O3 ネゴシエーション後にオンラインモードに戻る。
パルス回線(ダイヤル回線)モードの設定	P	ダイヤルをパルスで行うモードに設定する。
リザルトコードの設定	Q	リザルトコードをDTE(パソコン側)に返すか、返さないかのモードを指定する。 Q0 リザルトコードをパソコンに返す(初期値)。 Q1 リザルトコードをパソコンに返さない。
Sレジスタの読み出し	Sr?	Sレジスタの内容を読み出す。ATS0? [] でレジスタの内容を読み出す。
Sレジスタの設定	Sr=n	Sレジスタを設定する。 ATSr=n [] でrに設定したいレジスタの番号nにレジスタの値を10進数で設定する。 ATS2=43 [] でS2レジスタに43(10進数)を設定する。
トーン回線(プッシュ回線)モードの設定	T	ダイヤルをトーンで行うモードに設定する。
リザルトコードタイプの設定	V	ATコマンドのリザルトコードの形式を指定する。 V0 リザルトコードを数字表示に設定する。 V1 リザルトコードを文字表示に設定する(初期値)。
接続リザルトコード拡張(エラー訂正)の設定	W	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 W0 接続時にDTEスピードのみを返す。(例CONNECT19200) W1 接続時にエラー訂正プロトコル、DTEスピードの順に返す。 W2 接続時にエラー訂正プロトコル、DCEスピードの順に返す(初期値)。
接続時のリザルトコードの設定	X	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 X0 拡張リザルトコード表示なし。ダイヤルトーン・話中音検出なし。 X1 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン・話中音検出なし。 X2 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン検出あり。話中音検出なし。 X3 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン検出なし。話中音検出あり。 X4 拡張リザルトコード表示あり。ダイヤルトーン・話中音検出あり(初期値)。
ブレイク信号の動作指定	Y	ブレイク信号に関する動作を指定する。 Y0 ブレイク信号を受信しても、回線を切断しない(初期値)。

AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
モデムの初期化	Z	モデムを不揮発性メモリの保存内容で初期化する。 Z0 不揮発性メモリのプロファイル0の保存内容で初期化する。 Z1 不揮発性メモリのプロファイル1の保存内容で初期化する。 プロファイル0と1は同じプロファイルです。
キャリア検出信号(CD)の動作	&C	CD信号(DCD)の動作を指定する。 &C0 CD信号を常にONにする。 &C1 CD信号はキャリアが検出されるとONになる(初期値)。
データ端末レディ	&D	DTR信号がONからOFFに変化した場合の動作を指定する。 &D0 DTR信号は無視し、常にONとして扱う。 &D1 DTR信号がOFFになると、コマンドモードになる。 &D2 DTR信号がOFFになると、回線を切断しコマンドモードになる(初期値)。 &D3 DTR信号がOFFになると、回線を切断し初期化される。 (ATZコマンド実行状態になる)。
パラメータの初期化	&F	各種パラメータを工場出荷時の設定に戻す。
ガードトーンの設定	&G	モデムのガードトーンの有無を指定する。 &G0 ガードトーンなし(初期値)。 &G1 550Hzガードトーンあり。 &G2 1800Hzのガードトーンあり。
DTEのフロー制御	&K	DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS XON/XOFF)を指定する。 &K0 フロー制御しない。 &K3 RTS/CTSフロー制御をする(初期値)。 &K4 XON/XOFFフロー制御をする。
通信モードの設定	&M	通信モードを指定する(&Qの一部コマンドと同様)。 &M0 ダイレクト非同期モードで接続する。
ダイヤルパルススピードの設定	&P	ダイヤルパルスのスピードを指定する。 &P1 ダイヤルパルスを10PPSにする(初期値)。 &P2 ダイヤルパルスを20PPSにする。
通信モードの設定	&Q	通信モードを指定する。 &Q0 ダイレクト非同期モードで接続する。 &Q5 エラー訂正プロトコルで接続する(初期値)。 &Q6 ダイレクト非同期モードで接続する。 &Q8 MNPエラー訂正プロトコルで接続する。 &Q9 V.42またはMNPエラー訂正プロトコルで接続する。
データセットレディ(DSR)の制御	&S	DSR信号の動作を指定する。 &S0 DSR信号は常にON(初期値)。 &S1 DSR信号が回線接続中にONになる。
モデムの設定状況の表示	&V	コマンドおよびSレジスタの設定状況を表示する。
パラメータの書き込み	&W	現在の設定されている状態を、不揮発性メモリに書き込む。 &W0 不揮発性メモリのプロファイル0に書き込む。 この値は、電源をオンしたとき、またはATZnコマンドで初期化したときに使われる。各々のコマンドを参照。
プロファイルの設定	&Y	電源立ち上げ時のプロファイル読み込みを設定する。 &Y0 プロファイル0を指定する。
電話番号の保存	&Z	ATDS=(n)コマンドでダイヤルする場合の電話番号を指定する。&Zn=XXXXXXX n=0-3 XXXXは電話番号(40桁以下) (例)AT&Z2=03-1234-5678 ダイヤル番号バッファ2に指定の番号を保存する。 電話番号として使用できるのは、ATDコマンドの電話番号のうち「 ; 」 「 S = n 」以外のコマンド。

種 類	ATコマンド	機 能
データ圧縮の指定	%C	データ圧縮の方法を指定する。 %C0 データ圧縮をしない。 %C1 V.42bis / MNP5のデータ圧縮を行う(初期値)。
リトレーニング等の自動再実行	%E	回線の状態を監視して、状態が変化した場合や悪い場合に、トレーニングシーケンスの再実行(リトレーニング)、回線速度を変更するかどうかの指定をする。 %E0 リトレーニングを自動で再実行しない。 %E1 %E0と同じ。 &E2 リトレーニングを自動で再実行する。 データエラーが多い場合のリトライ動作を指定するものではない。
最大ブロックサイズの設定	¥A	MNPで接続するときのブロックサイズを設定する。 ¥A0 最大ブロックサイズ64。 ¥A1 最大ブロックサイズ128。 ¥A2 最大ブロックサイズ192。 ¥A3 最大ブロックサイズ256(初期値)。
ブレイク信号を送信	¥B	n×100msのブレイク信号を送信する。n=1-9
ブレイク信号の動作	¥K	ブレイク信号を受けたときの動作を指定する。 ・オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時にパソコンからブレイク信号を受けた。 ¥K0 コマンドモードになる。相手モデムにはブレイクを送らない。 ¥K1 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K2 ¥K0と同じ。 ¥K3 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K4 ¥K0と同じ。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ・オンラインコマンドモード時にパソコンから¥Bコマンドによるブレイクを受けた。 ¥K0 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K1 データバッファを空にして、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K2 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K3 バッファのデータより優先して相手モデムにブレイクを送る。 ¥K4 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、相手モデムにブレイクを送る。 ・オンラインモード(V.42/ノーマルモード)時に相手モデムからブレイクを受けた。 ¥K0 データバッファを空にして、パソコンにブレイクを送る。 ¥K1 データバッファを空にして、パソコンにブレイクを送る。 ¥K2 バッファのデータより優先してパソコンにブレイクを送る。 ¥K3 バッファのデータより優先してパソコンにブレイクを送る。 ¥K4 バッファのデータを送った後で、パソコンにブレイクを送る。 ¥K5 バッファのデータを送った後で、パソコンにブレイクを送る。
通信モードの設定	¥N	エラー訂正プロトコルの動作を設定する。 ¥N0 ノーマルモードで通信する。V.42,MNPは使用しない。 ¥N1 ダイレクトモードで通信する。 ¥N2 MNPモードで接続する。 相手モデムがMNPモードでない場合は接続しない。 ¥N3 V.42,MNPモードで接続する(初期値)。相手モデムがV.42,MNPでない場合は、ノーマルモードで接続する。 ¥N4 V.42モードで接続できる。 相手モデムがV.42でない場合は、接続しない。 ¥N5 ¥N3と同じ。 ¥N7 ¥N3と同じ。 V.42,MNPの場合は、V.42-MNPの順に相手モデムとの接続を試す。 &M &Qコマンドも参照。

種 類	ATコマンド	機 能
DTEのフロー制御	¥Q	DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS XON/XOFF)を指定する。 ¥Q0 フロー制御をしない。 ¥Q1 XON/XOFFフロー制御をする。 ¥Q3 RTS/CTSフロー制御を行う(初期値)。 &Kコマンドを参照。
拡張リザルトコードの指定	¥V	拡張リザルトコードを指定する。 ¥V0 拡張リザルトコードを使用しない。 ¥V1 拡張コードにエラー訂正の表示をする。 ¥V2 ¥V1と同じ。
V90のイネーブル/ディセーブルと下り通信速度の設定	-V90=	-V90=0 V90のディセーブル -V90=1 相手モデムとの通信速度決定を自動で行う。(初期値) -V90=2 通信速度を28000bpsに設定する。 -V90=3 通信速度を29333bpsに設定する。 -V90=4 通信速度を30666bpsに設定する。 -V90=5 通信速度を32000bpsに設定する。 -V90=6 通信速度を33333bpsに設定する。 -V90=7 通信速度を34666bpsに設定する。 -V90=8 通信速度を36000bpsに設定する。 -V90=9 通信速度を37333bpsに設定する。 -V90=10 通信速度を38666bpsに設定する。 -V90=11 通信速度を40000bpsに設定する。 -V90=12 通信速度を41333bpsに設定する。 -V90=13 通信速度を42666bpsに設定する。 -V90=14 通信速度を44000bpsに設定する。 -V90=15 通信速度を45333bpsに設定する。 -V90=16 通信速度を46666bpsに設定する。 -V90=17 通信速度を48000bpsに設定する。 -V90=18 通信速度を49333bpsに設定する。 -V90=19 通信速度を50666bpsに設定する。 -V90=20 通信速度を52000bpsに設定する。 -V90=21 通信速度を53333bpsに設定する。 -V90=22 通信速度を54666bpsに設定する。 -V90=23 通信速度を56000bpsに設定する。 -V90=? 現在の設定値を表示する。 -V90=? 設定値の範囲(0~23)を表示する。
エスケープ	+++	オンラインモードのとき、パソコンから前後1秒間(S12レジスタで設定可能)の時間をあけて、「+++」のコマンドが入力されると、回線を切断することなく、コマンドモードに移る。 「+++」の前後に他の文字が入力されるとエスケープコマンドと判断されないで「  」等は入力しないこと。

✓チェック!

相手FAXが音声応答FAXの場合、接続できない可能性があります。その場合は以下のコマンドによりBUSYトーン検出をOFFにしてください。

コマンド構文: ATXO

✓チェック!

外付け電話機使用中に以下に示すATコマンドを実行すると回線が切り替わります。

コマンド構文: ATD、ATH1、ATA

■ リザルトコード

数 字	文 字	内 容
0	OK	コマンドラインの実行確認
1	CONNECT	接続
2	RING	リングング検出
3	NO CARRIER	キャリア 及び リングバック検出せず
4	ERROR	コマンド構文ちがい 及び 存在しないコマンド
5	CONNECT 1200 EC	1200bpsのポートまたはモデム速度で接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン検出せず
7	BUSY	BUSYトーン検出
8	NO ANSWER	S7タイマーが切れるまで連続的にリングバックを検出
10	CONNECT 2400 EC	2400bpsで接続
11	CONNECT 4800 EC	4800bpsで接続
12	CONNECT 9600 EC	9600bpsで接続
13	CONNECT 14400 EC	14400bpsで接続
14	CONNECT 19200 EC	19200bpsで接続
24	CONNECT 7200 EC	7200bpsで接続
25	CONNECT 12000 EC	12000bpsで接続
86	CONNECT 16800 EC	16800bpsで接続
40	CONNECT 300 EC	300bpsで接続
55	CONNECT 21600 EC	21600bpsで接続
56	CONNECT 24000 EC	24000bpsで接続
57	CONNECT 26400 EC	26400bpsで接続
58	CONNECT 28800 EC	28800bpsで接続
59	CONNECT 31200 EC	31200bpsで接続
60	CONNECT 33600 EC	33600bpsで接続
28	CONNECT 38400 EC	38400bpsで接続
18	CONNECT 57600 EC	57600bpsで接続
70	CONNECT 32000 EC	32000bps(K56flexまたはV.90)で接続
71	CONNECT 34000 EC	34000bps(K56flex)で接続
72	CONNECT 36000 EC	36000bps(K56flexまたはV.90)で接続
73	CONNECT 38000 EC	38000bps(K56flex)で接続
74	CONNECT 40000 EC	40000bps(K56flexまたはV.90)で接続
75	CONNECT 42000 EC	42000bps(K56flex)で接続
76	CONNECT 44000 EC	44000bps(K56flexまたはV.90)で接続
77	CONNECT 46000 EC	46000bps(K56flex)で接続
78	CONNECT 48000 EC	48000bps(K56flexまたはV.90)で接続
79	CONNECT 50000 EC	50000bps(K56flex)で接続
80	CONNECT 52000 EC	52000bps(K56flexまたはV.90)で接続
81	CONNECT 54000 EC	54000bps(K56flex)で接続
82	CONNECT 56000 EC	56000bps(K56flex)で接続
87	CONNECT 115200 EC	115200bpsで接続
88	DELAYED	接続は延期された。
89	BLACKLISTED	再ダイヤル規制によりダイヤルを実行できない。

数 字	文 字	内 容
100	CONNECT 28000 EC	28000bps(V.90)で接続
101	CONNECT 29333 EC	29333bps(V.90)で接続
102	CONNECT 30666 EC	30666bps(V.90)で接続
103	CONNECT 33333 EC	33333bps(V.90)で接続
104	CONNECT 34666 EC	34666bps(V.90)で接続
105	CONNECT 37333 EC	37333bps(V.90)で接続
106	CONNECT 38666 EC	38666bps(V.90)で接続
107	CONNECT 41333 EC	41333bps(V.90)で接続
108	CONNECT 42666 EC	42666bps(V.90)で接続
109	CONNECT 45333 EC	45333bps(V.90)で接続
110	CONNECT 46666 EC	46666bps(V.90)で接続
111	CONNECT 49333 EC	49333bps(V.90)で接続
112	CONNECT 50666 EC	50666bps(V.90)で接続
113	CONNECT 53333 EC	53333bps(V.90)で接続
114	CONNECT 54666 EC	54666bps(V.90)で接続

✓チェック!!

ECは拡張リザルトコードオプションが有効の時に出現します。また、ECは使用されるエラー制御方法によって、以下のシンボルのいずれかに置き換わります。

- V.42bis : V.42 エラー訂正と V.42bis データ圧縮
- V42 : V.42 エラー訂正のみ
- MNP5 : MNP4 エラー訂正と MNP5 データ圧縮
- MNP4 : MNP4 エラー訂正のみ
- NoEC : エラー訂正なし

■ S レジスタ

Sレジスタ	範 囲	単 位	初期値	機 能
S0	0-15	回	0	自動着信のリングの回数
S1	0-255	回	0	受信しているリングの回数
S2	0-255	ASCII	43	エスケープ・シーケンスのコード
S3	0-127	ASCII	13	キャリッジリターン・コード
S4	0-127	ASCII	10	ラインフィード・コード
S5	0-32,127	ASCII	8	バックスペース・コード
S6	4-255	秒	4	ダイヤルトーン検出時間
S7	35-59	秒	50	相手モデムと接続するまでの許容時間
S8	2-65	秒	2	ダイヤル時の"i"によるポーズ時間
S10	1-255	1/10秒	20	キャリア・ロス検出時間
S11	70-150	1ミリ秒	95	PBTーン・スピード
S12	0-255	0.02秒	50	エスケープシーケンスのガードタイム
S28	0-255	-	1	V.34のイネーブル/ディセーブル S28=0 :V.34のディセーブル S28=1-255 :V.34のイネーブル
S35	0-1	-	0	データ・コーリング・トーン データ・モデム接続のコーリング・トーン(1300Hz0.5秒オン2秒オフ)の イネーブル/ディセーブル S35=0 :ディセーブル S35=1 :イネーブル
S37	(ビットマップ)	-	0	V.34接続スピード S37=0 :最大モデムスピード S37=1 :予約済み S37=2 :1200/75bit/s S37=3 :300bit/s S37=4 :予約済み S37=5 :1200bit/s S37=6 :2400bit/s S37=7 :4800bit/s S37=8 :7200bit/s S37=9 :9600bit/s S37=10 :12000bit/s S37=11 :14400bit/s S37=12 :16800bit/s S37=13 :19200bit/s S37=14 :21600bit/s S37=15 :24000bit/s S37=16 :26400bit/s S37=17 :28800bit/s S37=18 :31200bit/s S37=19 :33600bit/s

Sレジスタ	範 囲	単 位	初期値	機 能
S38	0-14	-	1	K56flexのイネーブル/ディセーブルと下り通信速度 S38=0 :K56flexディセーブル S38=1 :最大モデムスピード S38=2 :32000bit/s S38=3 :34000bit/s S38=4 :36000bit/s S38=5 :38000bit/s S38=6 :40000bit/s S38=7 :42000bit/s S38=8 :44000bit/s S38=9 :46000bit/s S38=10 :48000bit/s S38=11 :50000bit/s S38=12 :52000bit/s S38=13 :54000bit/s S38=14 :56000bit/s
S89	0,5-255	秒	10	スリープモードタイマー スタンバイ・モードに入るまでの非活動時間(DTEからデータが来ないこと、かつ、リング信号が検出されない事)を規定します。 S89=0 :スタンバイモードには、入りません。 S89=5 - 255 :5 - 255秒間の非活動が検出された後で、スタンバイモードに入ります。

☑チェック!

S0 レジスタを 0 以外の値でバックアップすると ,通信用アプリケーションの起動状態によらずに設定された呼び出し回数で着信します。

AT コマンド(ミニタワータイプの場合)

ATコマンドとは、電話回線に対してDTE(パソコンなどの端末機器)からのコマンドにより自動発着信を行うために米国 Hayes 社が開発したコマンド体系で“AT”で始まることからこのように呼ばれています。

コマンドの構成

ATコマンドセット(A/コマンドを除く)では、DTEが送る各コマンドラインはキャラクターシーケンスATで始まり、キャリッジリターンで終了しなければなりません。ATシーケンスは、いくつかのコマンドをその次に続けることができます。ただし、Z、D、Aのようなコマンドは除きます。コマンドラインの最大キャラクタ数は48です。もしコマンドラインのどこかで構文エラーが見つかった場合には、ラインの残りは無視されます。

A	T	コマンド列	CR
---	---	-------	----

コマンド一覧

■基本 AT コマンド

種 類	ATコマンド	機 能
アンサーモードで回線接続	A	アンサーモードで回線に接続し 通信状態になる。自動応答にしていないう状態で 応答する場合に使用する。
コマンドの再実行	A/	直前に実行したコマンドを再実行する。このコマンドの前には「AT」はつけない。また 最後の「 ☐ 」もつけない。
ダイヤルの実行	D	指定された電話番号にダイヤルし 接続する。 P.....パルスダイヤル(ダイヤル回線)。 T.....トーンダイヤル(プッシュ回線)。 W.....S6レジスタで指定された時間 ダイヤルトーンを待つ。 @.....5秒間の無音状態を検出する。検出できない場合は「NO ANSWER」を返す。S8レジスタで指定された時間 ガーズを置く。構内交換機 ゼロ発信等でダイヤルを待つ場合に使用する。 0~9、*、.....相手の電話番号をダイヤルする。ダイヤル番号を見やすくするために、スペース、 「-」、「()」、「{ }」等が使用できる。なお「*」、「」はトーンダイヤルのみ使用できる。 ;.....ダイヤル後コマンドモードにもどる。 !.....S29レジスタで指定された時間 回線をオンフックする(フラッシュダイヤルモディファイ)。 L.....最後にかけたダイヤルにリダイヤルする。
コマンドエコー有無の設定	E	DTE(パソコン側)から送られたコマンドのエコー(文字をそのまま送り返す)の有無を指定する。 E0 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返さない。 E1 コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返す(初期値)。
回線の接続 / 切断	H	H0 回線を切断(オフフック)する。 H1 回線を接続(オフフック)する。
識別コード表示	I	モデムの識別コードを表示する。 I0 製品コードを表示する。 I3 F/Wのバージョンを表示する。 I4 モデムの名称を表示する。
モニタースピーカの 最大音量設定	L	FAXモデムボードの内蔵スピーカの音量を設定する。 L0 音量小。 L1 音量小(初期値)。 L2 音量中。 L3 音量大。

AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
モニタースピーカの動作設定	M	内部モニタースピーカのON、OFFのタイミングを設定する。 M0 スピーカを常にOFFにする。 M1 キャリアを検出するまでONにする(初期値)。 M2 スピーカを常にONにする。 M3 ダイアル終了からキャリア検出までONにする。
オンラインモードに戻る	O	オンラインモード中にエスケープコマンド(++)によってコマンドモードになったときに再びオンラインモードに戻るのに使用する。 O0 オンラインモードに戻る。 O1 トレーニングを再度実行して、オンラインモードに戻る。
パルス回線(ダイアル回線)モードの設定	P	ダイアルをパルスで行うモードに設定する。
リザルトコードの設定	Q	リザルトコードをDTE(パソコン側)に返すか返さないかのモードを指定する。 Q0 リザルトコードをパソコンに返す(初期値)。 Q1 リザルトコードをパソコンに返さない。
Sレジスタの読み出し	Sr?	Sレジスタrの内容を読みだす。ATS0? [] でS0レジスタの内容を読みだす。
Sレジスタの設定	Sr=n	Sレジスタrを設定する。 ATSr=n [] でrに設定したいレジスタの番号r、nにレジスタの値を10進数で設定する。 ATS2=43 [] でS2レジスタに43(10進数)を設定する。
トーン回線(プッシュ回線)の設定	T	ダイアルをトーンで行うモードに設定する(初期値)。
リザルトコードタイプの設定	V	ATコマンドのリザルトコードの形式を指定する。 V0 リザルトコードを数字表示に設定する。 V1 リザルトコードを文字表示に設定する(初期値)。
接続時のリザルトコードの設定	X	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 X0 リザルトコードの拡張は行わない。 X1 リザルトコードに接続時のスピードを付加する。 X2 X1に加えて、ダイアル時にダイアルトーンの検出を行う。ダイアル時に5秒以内にダイアルトーンを検出できなかったら「NO DIAL TONE」を表示する。 X3 X1に加えて ビジートン(話中音)の検出を行う。ビジートーンを検出したら「BUSY」と表示する。 X4 X2、X3をあわせて表示、または検出する(初期値)。

AT&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
モデムの初期化	Z	モデムを&Wコマンドで保存した内容で初期化する。
キャリア検出信号(CD) の動作	&C	CD信号(DCD)の動作を指定する。 &C0 CD信号を常にONにする。 &C1 CD信号はキャリアが検出されるとONになる(初期値)。
データ端末レディ(DR) の動作	&D	DTR信号がONからOFFに変化した場合の動作を指定する。 &D0 DTR信号は無視し、常にONとして扱う。 &D1 DTR信号がOFFになると、コマンドモードになる。 &D2 DTR信号がOFFになると、回線を切断しコマンドモードになる(初期値)。
パラメータの初期化	&F	各種パラメータを工場出荷時の設定に戻す。
ダイヤルパルススピード の設定	&P	ダイヤルパルスのスピードを指定する。 &P0 ダイヤルパルスを10PPSにする。 &P1 ダイヤルパルスを10PPSにする(初期値)。 &P2 ダイヤルパルスを20PPSにする。 &P3 ダイヤルパルスを20PPSにする。
モデムの状態表示	&V	現在設定されているコマンドの一覧と、&Wコマンドで保存されている内容を表示する。
パラメータの保存	&W	現在の設定されている状態を保存する。
リトレーニング時の 自動再実行	%E	回線の状態を監視して、状態が変化した場合や悪い場合に、トレーニングシーケンスの再実行(リトレーニング)の指定をする。 %E0 リトレーニングを自動で再実行しない。 %E1 リトレーニングを自動で再実行する(初期値)。
リザルトコード のデータ圧縮 プロトコル表示	+DR	リザルトコードのデータ圧縮プロトコル表示を選択する。 +DR=0 データ圧縮プロトコルを表示しない(初期値)。 +DR=1 データ圧縮プロトコルを表示する。
データ圧縮 プロトコルの設定	+DS	データ圧縮の有無を設定する。 +DS=0 データ圧縮を行わない。 +DS=3 データ圧縮を行う(初期値)。
リザルトコードの エラー訂正 プロトコル表示	+ER	リザルトコードのエラー訂正プロトコル表示を選択する。 +ER=0 エラー訂正プロトコルを表示しない(初期値)。 +ER=1 エラー訂正プロトコルを表示する。
通信モードの設定	+ES=x,y,z	エラー訂正プロトコルの動作を設定する。 x=1: ノーマルモードで接続する。 =2自動モードを使わずにV.42モードで接続する。 =3自動モードを使用してV.42モードで接続する(初期値)。 =4MNPモードで接続する。 発呼時の接続動作を設定する。 y=0: 相手がV.42、MNP、ノーマルモードのどれでも相手のモードに合わせて接続する(初期値)。 =2相手がV.42、MNPの場合、相手のモードに合わせて接続する。 =3相手がV.42の場合、接続する。 =4: 相手がMNPの場合、接続する。 着信時の接続動作を設定する。 z=0相手がノーマルモードの場合、接続する。 =2相手がV.42、MNP、ノーマルモードのどれでも相手のモードに合わせて接続する(初期値)。 =3相手がV.42、MNPの場合、相手のモードに合わせて接続する。 =4相手がV.42の場合、接続する。 =0相手がMNPの場合、接続する。

A&Wでバックアップ可能

種 類	ATコマンド	機 能
フロー制御	+IFC	フロー制御(RTS/CTS XON/XOFF)を指定する。 +IFC=1 1 XON/XOFFフロー制御をする。 +IFC=2 2 RTS/CTSフロー制御をする(初期値)。
リザルトコード のスピード表示	+MR	リザルトコードのスピード表示を選択する。 +MR=0 DTEスピードを表示する(初期値)。 +MR=1 変調方式と回線速度(送信, 受信)を表示する。
変調方式の指定	+MS	+MS= (変調方式)(自動モード)(送信最低スピード)(送信最高スピード)(受信最低スピード), (受信最高スピード) 相手モデムとの通信方式、手順、スピード等を指定する。 変調方式 V21:V.21 300bpsで接続される。 V22V.22 1200bpsで接続される。 V22B/V.22bis 2400/1200bpsで接続される。 V32V.32 9600/4800bpsで接続される。 V32B/V.32bis 14400 ~ 4800bpsで接続される。 V34/V.34 33600 ~ 2400bpsで接続される。 K56K56flex 56000 ~ 32000(受信), 33600 ~ 2400(送信)で接続される。 V90V.90 56000 ~ 28000(受信), 33600 ~ 2400(送信)で接続される。 自動モード、接続時の自動ネゴシエーションの指定を行う。 (自動モード(V.8)を使用しない。 1:自動モード(V.8)を使用する。 送信最低スピード 接続時、送信側の最低の変調速度を指定する。 300,600,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,33600 送信最高スピード 接続時、送信側の最高の変調速度を指定する。 300,600,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,33600 受信最低スピード 接続時、受信側の最低の変調速度を指定する。 300,600,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600, 24000,26400,28000,28800,29333,30667,31200,32000,33333,33600,34000, 34667,36000,37333,38000,38667,40000,41333,42000,42667,44000,45333, 46000,46667,48000,49333,50000,50667,52000,53333,54000,54667,56000 受信最高スピード 接続時、受信側の最高の変調速度を指定する。 300,600,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600, 24000,26400,28000,28800,29333,30667,31200,32000,33333,33600,34000, 34667,36000,37333,38000,38667,40000,41333,42000,42667,44000,45333, 46000,46667,48000,49333,50000,50667,52000,53333,54000,54667,56000
エスケープ	+++	オンラインモードの時、パソコンから前後1秒間(S12レジスタで設定可能)の時間をあけて、「+++」 のコマンドが入力されると、回線を切断することなく、コマンドモードに移る。「+++」の前後に他の 文字が入力されるとエスケープコマンドと判断されないので ☐ 等は入力しないこと。

AT&Wでバックアップ可能

☑チェック!

相手FAXが音声応答FAXの場合、接続できない可能性があります。その場合は以下のコマンドによりBUSYトーン検出をOFFにしてください。

コマンド構文: ATXO

☑チェック!

外付け電話機使用中に以下に示す AT コマンドを実行すると回線が切り替わります。

コマンド構文: ATD、ATH1、ATA

■ リザルトコード

数 字	文 字	内 容
0	OK	コマンドラインの実行確認
1	CONNECT	接続
1	CONNECT <DTEスピード>	DTE速度を表示して接続 <DTE速度> は600～115200
2	RING	リングング検出
3	NO CARRIER	キャリア及びリングバック検出せず
4	ERROR	コマンド構文違い及び存在しないコマンド
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン検出せず
7	BUSY	ビジートーン検出
8	NO ANSWER	S7タイマーが切れるまで連続的にリングバックを検出
	+MCR:<変調モード>	接続時の変調モード表示 <変調モード> V21 V.21で接続 V22 V.22で接続 V22B V.22bisで接続 V32 V.32で接続 V32B V.32bis で接続 V34 V.34で接続 K56 K56flexで接続 V90 V.90で接続
	+MRR:<送信スピード>,<受信スピード>	接続スピードの表示 <送信スピード>は300～33600 <受信スピード>は300～56000
	+ER: NONE	エラー訂正プロトコル無し
	+ER: ALT	MNPエラー訂正プロトコルで接続
	+ER: LAPM	V.42 訂正プロトコルで接続
	+DR: NONE	データ圧縮無し
	+DR: ALT	MNP5データ圧縮で接続
	+DR: V42B	V.42bis データ圧縮で接続

■ S レジスタ

Sレジスタ	機 能	説 明
S0	自動着信する呼び出し回数設定	呼び出し音(リング)の何回目で自動着信するかを設定。 S0=0 自動着信しない(初期値)。 S0=1~255 n回目の呼び出しを受けると自動着信。
S1	呼び出し回数のカウント	呼び出し音の回数をカウント。呼び出し音が検出されると、S1レジスタの値が+1される。 なお 呼び出し音が止まってから8秒たつとS1は0になる。 S0が0の場合は、S1は+1されない。初期値はS1=0。
S2	エスケープコードの文字設定	エスケープコードに使うキャラクタコードを0~127の値の間で設定。 初期値はS2=43(キャラクタ「+」)。
S3	復帰(キャリッジリターン)コードの文字設定	復帰コードのキャラクタコードを0~127の値で設定。 初期値はS3=13(16進数で0D)。
S4	改行(ラインフィード)コードの文字設定	改行コードのキャラクタコードを0~255の値で設定。 初期値はS4=10(16進数で0A)。
S5	バックスペースコードの文字設定	バックスペースコードのキャラクタコードを設定。 コマンドの1文字訂正に使用。0~32および127が設定可能。 このレジスタには表示可能なコード(33~126)は設定できない。 初期値はS5=8(16進数で08)。
S6	ダイヤル開始までの待ち時間	オンフックしてからダイヤルするまでの待ち時間を設定。 Xコマンドがダイヤルトーンを検出しない場合(X0,1,3)に有効。 ダイヤルトーンを検出する場合(X2,4)はS6レジスタの値は無効。 4~12の値を秒単位で指定。初期値はS6=4(4秒)。
S7	接続待ち時間の設定	ダイヤルしてから接続されるまでの接続待ち時間を0~58の間で秒単位で設定。 設定した時間内に接続されないとき「NO CARRIER」がパソコンに返される。 初期値はS7=50(50秒)。
S8	ポーズコマンドの時間設定	ダイヤル時のポーズコマンド「,」の待ち時間を2~7の値で秒単位で設定。 初期値はS8=2(2秒)。
S10	キャリア断検出の時間設定	回線の接続中に 設定した時間以上連続してキャリアが検出できない場合にキャリア断として回線を切断。0~255の値を0.1秒単位で設定。 S10=255の場合はキャリア断を無視(キャリアが切れても回線を切断しない)。 初期値はS10=14(1.4秒)。
S12	エスケープコードのガードタイムの設定	エスケープコマンド(+++)の前後のガード時間を設定。 エスケープコマンドの前後には 設定されたガード時間以上データのない時間が 必要であり+と+の間はこの時間より短くしなければならない。 0~255の値を1/50秒単位で設定。初期値はS12=50(1秒)。
S29	フラッシュダイヤルモディファイ時間	ダイヤル時に、フラッシュダイヤルモディファイを受け取ったときにオンフックになる時間を設定。

AT&Wでバックアップ可能

☑チェック!

相手端末の応答を自動的に確認する場合で応答の確認ができない場合、選択信号送出終了後直流回線を解放するまでの時間は、AT コマンドの S7 レジスタにて 0 ~ 58 秒に設定可能ですが、小さい値を設定すると回路が接続される前に切れてしまう可能性があります。また、交換機へも悪影響を与えますので、30 秒以上に設定してください。

☑チェック!

S0 レジスタを 0 以外の値でバックアップすると、通信用アプリケーションの起動状態によらずに設定された呼び出し回数で着信します。

索 引

英数字

3.5インチフロッピーディスクドライブ	117,179,183
5インチベイ	183
5インチベイカバー	183
ACPIモード	165
AC電源コネクタ	180,184
Adobe Acrobat Reader	69,88
AGPスロット	185
A将棋	61,70
Angel Line for Windows	84,89
AOL	51,70,89
APMモード	165
BIGLOBE インターネット接続ツール	70,89
BIOSセットアップメニュー	152
BUSYインジケータ	179,183
CD-ROMドライバ	170
CD-ROMドライブ	148,179
CDランチ	71,89
CyberCoach-NX	71,90
CyberTrio-NX	4,71,90
CyberWarner-NX	9,71,90
DMAチャネル	162
Draw 98	83,101
DVDタイトル	60
DVD-ROMドライブ	148,183
Excel 97	65,84,100
FAX-NX	72,90
FAXモデムボード	139
FrontPage Express	43
Hatch inside	35,72,91
LINE IN端子	180,184
LINE OUT端子	180,184
MAGIC FLIGHT	72,91
MapPlayer-NX	73,92
MS-DOSモード	170
NIFTY MANAGER	64,73
NIFTY SERVE	51
Outlook 98	65,83,101
PC-9800シリーズのキーボード	111
PCIスロット	180,185
PCM	134

PictureStudio Light	73,92
PS/2キーボードコネクタ	180,184
PS/2マウスコネクタ	181,185
ScreenScan	13
ThumbsStudio	74,92
Timer-NX	74,92
URL	35
USBコネクタ	179,183,184
VirusScan	12,74,93
VirusScan コンソール	13
VShield	12
Web発行ウィザード	49
Windows NT 4.0	172
Windows起動ディスク	118
Word 98	65,83,100

ア行

アース端子	180,185
アナログRGBコネクタ	181,185
アプリケーションCD-ROM	87
アルバム工房Light	75,93
一太郎9パック（一太郎モデルのみ）	66,80,99
インターネットアクセスマネージャ	23,85,94
インターネット無料体験	75,94
ウイルスの検査と駆除	12
宇宙戦艦ヤマト（DVD-ROMモデルのみ）	63,81
駅すばあと	81,97
エンカルタ98（DVD版） （DVD-ROMモデルのみ）	75,102
オートパイロット	27
オフラインホームページシアター	32

カ行

階層	17
解像度	123
カラオケキング	76,94
簡易解像度切り替え機能	124
キーの名称	107
キーボードのプロパティ	109
キッズモード	6
空冷用ファン	180,184

グローバルヘキサイト	62,85
競馬道3	62,81
ゲーム	60

サ行

サウンド機能	134
削除の準備	69
ジェットサーファ	16,76,95
省電力機能(スタンバイ)	128
省電力管理の設定	156
ショートカットアイコンの削除	68
シリアルコネクタ	142,181,185
スーパバイザパスワード	155
スキップセクタ	113
スキャンディスク	112
スクロールボタン	104
スタンバイ状態	128
スタビライザ	179,183
スピーカ	134
スリープボタン	178,183
スリープランプ	178,183
セキュリティの設定	155
ソリティア デラックス	62,77

タ行

ダイヤルアップネットワーク	53
ダブルクリックの速度	105
短縮記号	36
追加の準備	88
通信サービス	51
通風孔	181,185
ディスククリーンアップ	114
ディスクトレイジェクトボタン ..	179,183
ディスプレイ	121
テキストリーダ	63,77
てきばき家計簿マム 2 Plus	77,95
デジタルブックビュー	76,95
デバイスドライバ	144
デバイスマネージャ	144
デフラグ	114
テレフォニー	57
電源スイッチ	178,182
電源の管理のプロパティ	130

電源ランプ	178,183
電話回線用モジュラーコネクタ	180,185
電話機用モジュラーコネクタ	180,185
電話料金	26,33
盗難防止用ロック	181,185
ドライブコンバータ (FAT32)	116

ナ行

ニフティサーブでインターネット ..	51,64,78
ニフティサーブへようこそ	78,95

ハ行

バーチャファイター2	61,78
ハードディスク	112
ハードディスクアクセスランプ	178,183
ハウリング	136
パスワード	157
パスワードの解除	159
パソコン大学一年生	79,98
パソコン探検箱	79,96
パソコン用語集	76,95
バックアップ	117
バックアップファイル	10
パラレルコネクタ	181,185
左きき用	105
表示色	123
筆ぐるめ	82,97
不良セクタ	113
プレーヤ-NX	80,96
フロッピーディスク	117
フロッピーディスクアクセスランプ	179,183
フロッピーディスクイジェクトボタン	179,183
プロバイダ料金	26,33
文豪DP/LANシリーズコンバータ	65,82
分析範囲	17
ベーシックモード	5
ヘッドホン端子	179,183
ヘッドホンボリューム	183
ホームページスクラップブック	86,96
ホームページを作る	43
ボリューム	179,183

ボリュームコントロール	135
翻訳アダプタ CROSSROAD	82,98

マ行

マイクロホン端子	180,184
マウスのプロパティ	105
右きき用	105
メンテナンスウィザード	115
モード	4

ヤ・ラ・ワ行

ヤマハDS-XG	137
ユーザパスワード	155
ユーザー名	24
ランチ-NX	80,97
ランチ-NXのショートカットアイコンの削除	68
リアルタイム料金計算	33
リソース設定	146
リソースの競合	163
利用環境	24
料金	26
ロックプレート	185,186
割り込みレベル	162

VALUESTAR



PC98-**NX** SERIES

VALUESTAR NX

2版 1998年11月
NEC
P

808-883863-005-A*

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

